令和8年習志野市教育委員会第10回定例会

日時：令和8年10月28日（水） 午後3時00分

場所：市庁舎3階大会議室

日　程			審議順
1　会議録の承認			（予定）
2　報告事項			
（1）	令和8年習志野市議会第3回定例会一般質問等について	（教育総務課）	1
（2）	習志野市立習志野高等学校魅力向上アンケート結果報告について	（学校教育課）	2
（3）	令和8年度全国学力・学習状況調査の結果報告について	（学習指導課）	3
（4）	秋津サッカー場及び秋津野球場のネーミングライツパートナーの決定について	（生涯スポーツ課）	4
3　議決事項			
議案第36号	令和8年度末及び令和9年度習志野市立幼稚園教職員人事異動方針の制定について	（学校教育課）	5
議案第37号	令和8年度末及び令和9年度習志野市立小学校及び中学校教職員人事異動方針の制定について	（学校教育課）	6
議案第38号	令和8年度末及び令和9年度習志野市立高等学校教職員人事異動方針の制定について	（学校教育課）	7
※議案第39号	令和8年度教育費予算案（12月補正）について	（教育総務課）	9
※議案第40号	習志野市育英資金給与条例を廃止する条例の制定について	（学校教育課）	10
※議案第41号	習志野市立高等学校授業料等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	（学校教育課）	11
※議案第42号	習志野市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	（生涯スポーツ課）	12
※議案第43号	指定管理者の指定について（習志野市立東習志野図書館、習志野市立新習志野図書館及び習志野市立谷津図書館）	（中央図書館）	13
※議案第44号	鷺沼小学校用地取得に係る土地売買契約締結について	（教育総務課）	14
4　協議事項			
協議第1号	次回教育委員会定例会の期日について 令和8年11月18日（水）午後3時00分		8
5　その他			

※は非公開の見込み

報 告 事 項（1）

令和8年習志野市議会第3回定例会一般質問等について

令和8年習志野市議会第3回定例会における一般質問等について、別紙のとおり報告する。

令和8年10月28日報告

習志野市教育委員会
教育長　小　熊　　隆

令和8年第3回定例会一般質問一覧表　教育委員会

日程	通告No.	議員名（会派名）	通告内容	担当課	質問時間	頁
9月4日	1	央　重則 （環境みらい）	3. 藤崎小学校の旧幼稚園跡地（施設）の有効活用について ～地域コミュニティの拠点化と防災・避難機能の拡充を目指して～	教育総務課	80	1
	2	市角　雄幸 （環境みらい）	該当なし		60	
	3	金子　友之 （真政会）	1. 災害への備えについて （2）市立学校に設置してある避難器具について 避難器具の点検状況について伺う。 2. 市立小中学校の教職員について （1）専科教員の人員数について （2）時間外勤務時間の把握方法について	教育総務課 学校教育課 学校教育課 学校教育課	60	1
	4	宮内　一夫 （市民の会）	1. 習志野市の歴史について 図説習志野市の歴史の制作の経過について伺う	社会教育課	80	3
9月7日	5	関根　洋幸 （元気な習志野をつくる会）	該当なし		60	
	6	田中　慶子 （公明党）	該当なし		60	4
	7	寺川　貴隆 （環境みらい）	該当なし		80	
	8	木村　　孝 （民意と歩む会）	4. こどもの学びと教育格差の是正について （2）家庭の経済状況に左右されない学習機会の確保と支援の在り方について （3）放課後子供教室の実施状況、放課後児童クラブ（学童保育）との連携、及び指導員確保について	学習指導課 社会教育課	80	5
9月8日	9	大宮　こうた （明日の習志野）	3. こどもにやさしい街について （1）こどもの学びの質につながる教材デジタル化 ①AI型教材の見直し状況と今後の方向性 児童・生徒、保護者、教職員向けアンケート結果を踏まえた見直し状況、今後の改善策について伺う。 （2）小学校を教育・交流・防災の拠点とする取組 ①増加する余裕教室の利活用に関する取組と今後の方向性 少子高齢化によって市内小・中学校における余裕教室が増加しているが、現状の利活用の状況、「多彩で豊かな交流が広がるまち」の実現に向けた今後の活用に関する取り組みと課題について伺う。	学習指導課 教育総務課	80	6
	10	布施　孝一 （公明党）	該当なし		60	
	11	三代川　雄哉 （真政会）	該当なし		60	7
	12	金井　宏志 （公明党）	5. 記録映像など （1）総合教育センターが保管する記録のデジタル化と活用について 総合教育センターに保管されているアナログの映像の保存管理状況とデジタル化の取り組みについて伺う。	総合教育センター	60	8

令和8年第3回定例会一般質問一覧表　教育委員会

日程	通告No.	議員名（会派名）	通告内容	担当課	質問時間	頁
9月9日	13	丸山　秀雄 （公明党）	該当なし		60	9
	14	平川　博文 （都市政策研究会）	2. 宮本泰介市長＆荒木勇前市長の人事権を考える。懲役1年執行猶予3年の市役所公務員が普通退職している。懲戒免職処分ではない、なぜなのか。令和7年9月6日の読売新聞報道では、習志野市のいじめ重大事態の再調査委員会の後藤弘子千葉大学副学長の調査結果報告が掲載された。これまでの小熊教育長答弁では、教育委員会職員、教職員の処分を精査するとしていた。懲戒処分は、行われたのか。令和8年8月13日夕方から14日未明にかけて千葉県内で記録的豪雨による被害が広がった。市役所公務員はどのように緊急配置されたのか。	教育総務課 学校教育課	80	9
	15	荒原　ちえみ （日本共産党）	1. 学校教職員の健康管理について。 （1）教職員100人超高ストレス者への健康支援体制を整えることを求める。 習志野市の学校教職員の高ストレス者、令和６年度は１３％と１００人を超えている。教育委員会の高ストレス者への健康管理体制を整え、職員の健康を守る対策を求める。 2. こどもの権利の保障について （1）就学援助制度の位置づけについて 「経済的な理由でお困りの方」を「認定となる所得基準額に該当する方」に変更を求める。	学校教育課 学校教育課	80	10
	16	田中　真太郎 （元気な習志野をつくる会）	該当なし		60	
9月10日	17	佐野　正人 （民意と歩む会）	該当なし		60	
	18	鴨　哲登志 （民意と歩む会）	該当なし		60	12
	19	佐藤　まり （市民の会）	該当なし		70	
	20	入沢　としゆき （日本共産党）	7. 菊田公民館の昇降機設置について 市内の公民館やコミュニティーセンターで唯一エレベーターが設置されていない菊田公民館に誰もが使えるようにするために昇降機の設置をもとめるがいかがか。	社会教育課	80	12
9月11日	21	谷岡　　隆 （日本共産党）	2. 小中学校におけるAI型デジタル教材（ドリル、ワーク、テスト）の推進について （1）学習におけるデジタル媒体と紙媒体の使い分けについて、習志野市立学校副教材在り方検討委員会で保護者代表の委員から出された要望に基づいて改善することを求める。 （2）学習におけるAI（人工知能）とHI（人間知性）の使い分けでは、「漢字判定の厳しさ」が指摘されるなど、現在のAI型教材に能力不足等の問題があるのではないか。 3. 部活動の外部コーチ、地域部活動の指導員について （1）習志野市立中学校休日地域クラブ活動管理運営等業務委託では、安全管理やコンプライアンスなどが基本仕様に明記されているが、従来からの部活動コーチや地域部活動指導員については安全管理やコンプライアンス等の研修はされているか。特に個人情報保護、ハラスメント・いじめ・性暴力等の防止など、こどもの人権に関する部分について伺う。	学習指導課 総合教育センター 学習指導課	80	13

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	1	央　重則	環境みらい	学校教育部	教育総務課	学校教育について	3			本答弁	藤崎小学校の旧幼稚園跡地(施設)の有効活用について ～地域コミュニティの拠点化と防災・避難機能の拡充を目指して～	現在、旧藤崎幼稚園については、放課後子供教室などとして有効活用をしている。藤崎小学校については、老朽化した校舎の長寿命化改修を行うべく、実施設計を行っているところであり、設計の中においては、地域利用を見据え、学校部分と地域利用可能部分との動線を分けるため、外部から直接出入りできる出入口を設けること、地域で活用できるスペースを設けることなど、地域の方の利用を想定した設計としているところである。また、このスペースについては、災害時において学校に避難所が開設された場合、体育館で避難生活が困難な方が避難できる場所としても活用することも想定している。学校は教育の場としてのみならず、地域との交流や防災の拠点として有効に活用していくことは重要であり、教育振興基本計画にも掲げている、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいく。	学校は教育の場としてのみならず、地域との交流や防災の拠点として有効に活用していくことは重要であり、教育振興基本計画にも掲げている、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいく。	未
R8/3	1	央　重則	環境みらい	学校教育部	教育総務課	学校教育について	3			再質問1	旧藤崎幼稚園部分について有効活用しているとのことだが、現在、どのような活用をしているのか伺う。	旧幼稚園部分の活用については、使用できる部屋として6部屋あるが、放課後子供教室として3部屋、PTA会議室、授業での使用も含めた図工、音楽備品室として各1部屋を使用している。	－	－
R8/3	1	央　重則	環境みらい	学校教育部	教育総務課	学校教育について	3			再質問2	教育長の答弁で、長寿命化改修の実施設計中とのことであった。また、地域利用を想定した設計とのことで、良い計画であると思うが、この改修はいつまでの予定で工事をするのか伺う。	長寿命化改修工事については、現在、令和12年度末までを予定している。	－	－
R8/3	1	央　重則	環境みらい	学校教育部	教育総務課	学校教育について	3			再質問3	長寿命化改修工事は令和12年度末とのことである。この工事期間中においては、地域での活用などはできないのか伺う。	長寿命化改修工事においては、仮設校舎を建設したうえで、現在の校舎と仮設校舎を使用し、教室を移動させながら行う。このように、改修工事を行う個所の教室を本校舎内で移動させたり、本校舎から仮設校舎に移動させたりしながら一時的に別の場所に移動させ全体の工事を行いますことから、外部への貸し出しスペースは確保することが難しい状況である。	－	－
R8/3	3	金子　友之	真政会	学校教育部	教育総務課 学校教育課	防災対策について	1	(2)		本答弁	1.災害への備えについて (2)市立学校に設置してある避難器具について 避難器具の点検状況について伺う。	本市の市立学校においては、児童・生徒の安全確保を最優先に、災害時に迅速かつ安全に避難できる体制の整備に努めている。市立学校における避難器具については、校舎の2階以上で学習する児童・生徒が、災害時にベランダ等から直接校舎の外へ避難できるよう、救助袋等の避難器具を設置している。これらの避難器具については、消防法に基づき、消防設備士または消防設備点検の資格を有する専門事業者に委託し、年1回の総合点検及び6か月ごとの機器点検を実施している。点検の結果、現時点で使用不可となっている学校は無いが、一部の学校において、老朽化が進んでいることが確認されており、点検事業者から交換を推奨されているところがある。これらの学校については、今後、計画的に避難器具の交換を進めていく。また、避難器具の設置場所に樹木が繁茂し、伐採が必要との指摘を受けた学校があったが、当該指摘を受けて速やかに対応し、既に樹木伐採を完了した。一方、避難器具を扱った避難訓練については、避難器具点検の際に教職員による避難器具の組み立てや、代表児童・生徒による地上に降りる訓練を専門業者等の指導、立ち合いのもと実施している。昨年度から今年度9月1日までに、児童・生徒が地上に降りる訓練を実施した学校は24校中4校、点検の際に組み立て方の指導を受けた学校は24校中11校である。近年実施していない学校含め、全ての市立学校で訓練を実施するよう指示した。今後においても、災害時において児童・生徒が安全かつ円滑に避難ができるよう、避難器具の適切な管理と定期的な点検の継続に努めていく。	点検事業者から交換を推奨されている避難器具は、今後、計画的に交換を進めていく。	未
R8/3	3	金子　友之	真政会	学校教育部	学校教育課	学校教育について	1	(2)		再質問1	学校現場の教職員に対し、避難器具の取り扱いについてどのように教育を行っているのか伺う。	学校現場における避難器具の取り扱い方法の習得につきましては、令和4年度以降、年間計画に沿った避難訓練を通じて実施している。具体的には、職員による避難器具の組立訓練や、点検時における代表職員の立ち会いと指導を行い、実践的な技能習得に努めている。また、市内全小中学校の避難訓練では、防災士に参加依頼をし、訓練の実施状況を専門的視点から評価・指導いただくことで、より質の高い訓練体制の構築に役立てている。さらに、全校での実施を推進するため、7月の校長会議において、避難器具の扱いについての訓練を全校で実施するよう指導し、防災体制の充実強化を図っている。	－	－
R8/3	3	金子　友之	真政会	学校教育部	学校教育課	学校教育について	1	(2)		要望	避難器具の取り扱いを含めた避難訓練を学校の年間計画に取りいれ毎年実施することを要望する	－	各学校に年間計画に取り入れるよう検討をお願いする。	済
R8/3	3	金子　友之	真政会	学校教育部	学校教育課	学校教育について	1	(2)		再質問2	北区の小学校で起きた火災を受けて、習志野市にて校内で火災を発生させない取組や、火災が発生した際の対応について新たに行った取組について伺う。	北区の小学校火災を受けて、防火・防災予防の観点から、市内全小・中・高等学校に対して緊急点検を依頼し、全校で点検・確認を実施しました。点検項目につきましては、火災予防に必要な電気配線やコンセント、ストーブ等の暖房器具の安全確認、廊下や避難口、防火扉周囲の障害物の有無、消火器の使用期限や設置状況並びに避難経路の管理状況など、火災発生のリスク要因を総合的に確認しました。加えて、火災発生時の迅速かつ安全な避難体制を強化するため、避難器具を使用した訓練を実施し、教職員及び児童生徒が正しく使用できるように進めております。今後も、児童生徒の安全確保を最優先として、火災予防と緊急時の体制整備に取り組んでいく。	－	－

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	3	金子　友之	真政会	学校教育部	学校教育課	学校教育について	2	(1)		本答弁	2. 市立小中学校の教職員について (1)専科教員の人員数について	中学校におきましては、従前より教科担任制を採用しており、教科ごとに必要な人数の教員が配置されている。一方、小学校におきましては、文部科学省が令和4年度より高学年を中心に教科担任制の本格導入を進める中、千葉県教育委員会においても専門性の高い教科指導の充実と、複数の教員で関わることによる多面的な児童理解、中学校への円滑な接続や担任教員の負担軽減を図る観点から、専科教員の配置に取り組んでいる経緯がある。この取り組みを進める中で、基本は学級担任が各教科を指導していますが、音楽は全ての小学校に、理科、外国語等の教科は学校の実態に応じて専門に担当する専科教員が配置されている。専科教員は、県の配置基準による教職員定数に加えて、学校現場や市教育委員会の要望を確認しつつ、県教育委員会が配置するものであります。ご質問の、本市小学校の専科教員につきましては、音楽17人、理科10人、外国語13人、書写3人、算数2人、家庭科1人、図工2人、体育1人の合計49人が配置されております。本市教育委員会といたしましては今後も県教育委員会へ、必要な人員配置について要望していく。	－	－
R8/3	3	金子　友之	真政会	学校教育部	学校教育課	学校教育について	2	(1)		再質問1	教育長答弁にて「専科教員は、県の配置基準による教職員定数に加えて、学校現場や市教育委員会の要望を確認しつつ、県教育委員会が配置する」とあるが、「学校現場の要望を確認」というのは、どういった方法で要望を吸い上げているのか、また、最前線で働く教職員の要望も含まれているのか伺う。	県教育委員会では、毎年度、各学校に対して加配要望を提出していただく仕組みを設けている。具体的には、各学校の校長からその学校の実情に応じて、必要な教職員配置について加配要望を市教育委員会に提出しそれをもとに県教育委員会へ要望している。この学校の実情には、学級規模や児童生徒数の推移、特別支援が必要な児童生徒の状況、教科指導の充実の必要性といった児童生徒に関する事項に加えて、教職員の勤務実態や負担軽減の必要性といった教職員の実情も含まれている。このため、学校現場で働く教職員の声も校長を通じて加配要望に反映されているものと認識している。一方で、県から配置される加配には数に限りがあり、すべての要望が叶うわけではないことも事実としてある。学校現場と教職員の声をしっかり受け止め、より充実した教職員配置の実現に向けて、県教育委員会へ積極的に要望していく。	－	－
R8/3	3	金子　友之	真政会	学校教育部	学校教育課	学校教育について	2	(1)		要望	学校現場の実態に応じて、理科や書写等の専科を今後も要望してほしい。	－	より充実した教職員配置の実現に向けて、県教育委員会へ積極的に要望していく。	済
R8/3	3	金子　友之	真政会	学校教育部	学校教育課	学校教育について	2	(2)		本答弁	2. 市立小中学校の教職員について (2)時間外勤務時間の把握方法について	本市では校務支援システムにより出退勤管理を実施し勤務時間の把握をしている。教育委員会といたしましては、勤務時間内に業務を終わらせることができるよう、校務支援システムの導入による文書管理の効率化や校務デジタル機器の整備、授業で活用する教材の共有などの環境整備に取り組んでいるところである。今後も教職員の心身の健康管理の観点から各学校の校長が職員の勤務実態を把握し、過度な時間外勤務が生じないよう指導・相談体制の充実に努めていく。	－	－
R8/3	3	金子　友之	真政会	学校教育部	学校教育課	学校教育について	2	(2)		再質問1	残業して行う校務を自宅等学校外に持ち帰って行う場合のルールについて伺う。	持ち帰り等の学校外での業務につきましては、基本的に個人情報を含む公文書の持ち出しは認めておらず、やむを得ず持ち出す場合は管理職の許可を得ることとしている。文部科学省が令和2年1月に策定した「公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員の服務を監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する指針」第2章　第4節(2)に「本来、業務の持ち帰りは行わないことが原則であり、上限時間を遵守することや実施計画に定める目標を達成することのみを目的として自宅等に持ち帰って業務を行う時間が増加することは、厳に避けなければならない。」と示されている。本市教育委員会といたしましては、当該指針に則り、教職員が個人的に教科書や指導案を持ち帰り、翌日の授業の準備を行うといった場合については、「在校等時間」には含まないとしている。教職員が勤務時間内に業務を終わらせるように業務の効率化と適切な業務配分に取り組み、教職員の業務負担の軽減と適切な勤務時間管理に努めているところである。	－	－
R8/3	3	金子　友之	真政会	学校教育部	学校教育課	学校教育について	2	(2)		再質問2	自宅等学校外で残業した場合に、時間外業務時間は把握しているのか、把握しているのであれば、どの様にしているのか伺う。	自宅等学校外での時間外勤務時間につきましては、把握いたしていない。これまで申し上げましたとおり、本市では業務の持ち帰りを基本的に認めておらず、教職員が勤務時間内に業務を終わらせることができるよう、校務支援システムの導入による文書管理の効率化や校務デジタル機器の整備、授業で活用する教材の共有などの環境整備に取り組んでいるところである。本市教育委員会としては、引き続き、教職員が勤務時間内に業務を終わらせられるよう、業務の効率化と適切な業務配分に取り組み、教職員の業務負担の軽減と適切な勤務時間の管理に努めていく。	－	済
R8/3	3	金子　友之	真政会	学校教育部	学校教育課	学校教育について	2	(2)		要望	教師が行うべき業務と教師以外が行うべき業務について、更に検討を進めてほしい。	－	－	済
R8/3	3	金子　友之	真政会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	4			再質問1	「公民館、スポーツ施設につきましても、キャッシュレス決済のこれまでの取組を踏まえ、早期の導入に向けて具体的な手法等について検討を進めているところであります。」とあったが、詳細を伺う。	公民館、スポーツ施設のキャッシュレス決済については、令和9年度からの導入に向けて、具体的な検討を進めている。導入手法については、大きく3つを想定している。まず、公民館、スポーツ施設共通の手法として、施設予約システムにおけるカード決済等の導入、次に、公民館においては、リース期間が経過している券売機の更新に合わせ、キャッシュレス決済対応機種を導入すること、そして、スポーツ施設については、受付におけるキャッシュレス端末の導入を考えている。現在、予算要求の時期を前に、各施設の状況に応じた最適な手法について、関係部署と調整を進めており、令和9年度からの導入に向け、具体的な検討を進めていく。	令和9年度からの導入に向け、具体的な検討を進めていく。	未

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	3	金子　友之	真政会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	4			要望	予約システムが利用料前払いの場合、キャンセルした場合の払い戻しが手間とならないよう検証が必要である。導入にあたっては、利用者の利便性の他、行政側も効率が高まるようにしてほしい。	－	検証していく。	済
R8/3	4	宮内　一夫	市民の会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	1			本答弁	1.習志野市の歴史について 図説習志野市の歴史の制作の経過について伺う。	習志野市の歴史については、これまで習志野市史として平成6年度に通史編、平成15年度に別編民俗を刊行したほか、全3巻の史料編を刊行するなど、体系的にまとめてきた。また、平成16年度には、市史をより分かりやすくコンパクトにまとめた「新版習志野－その今と昔」を刊行した。この「新版習志野－その今と昔」の刊行から約20年が経過し、この間に東日本大震災や奏の杜のまち開き、新市庁舎のオープン、コロナ禍など、本市にとって大きな出来事が数多くあった。また、埋蔵文化財発掘調査の成果など、調査・研究の進展により、明らかになった史実もある。こうした状況を踏まえ、現在に至る本市の歴史をより正確に伝え、理解と関心をさらに深めることができるよう、市史編さん委員会の御意見を伺いながら「新版習志野－その今と昔」の内容を全面改訂したものが、本年刊行した「図説 習志野市の歴史」である。本書は146ページ、全ページカラーで構成しており、図や表、写真をこれまでよりも豊富に用いることで、幅広い世代の方々にとって親しみやすく、より読みやすい書籍となっている。今後については、「図説 習志野市の歴史」を活用し、市民が習志野市の歴史に愛着や興味、郷土に誇りを持てるような取り組みを推進していく。	「図説 習志野市の歴史」を活用し、市民が習志野市の歴史に愛着や興味、郷土に誇りを持てるような取り組みを推進していく。	済
R8/3	4	宮内　一夫	市民の会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	1			再質問1	市史編さん委員の役割及び報酬及び事業費の使途について伺う。	市史編さん委員会は、市史編さんに関する基本的かつ総合的な方針に関する事項を調査審議することを目的として習志野市附属機関設置条例により設置しており、委員は、市史に関する調査・研究の進捗状況について、確認・検証する役割を担っている。委員に対する報酬は、「習志野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例」第2条により、日額9,000円となっている。市史編さん委員会費の使途については、委員報酬及び委員会の出席にかかる旅費となっている。なお、令和8年3月31日時点の委員及び委員年数については、学識経験者として、上山 和雄委員が35年10ヶ月、石山 秀和委員が11年10ヶ月、小倉 博委員が19年11ヶ月、野元 啓子委員が8年5ヶ月、東 秀行委員が11ヶ月、市職員として、長谷川 信二委員が11ヶ月、高瀬 哲委員が11ヶ月である。	－	済
R8/3	4	宮内　一夫	市民の会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	1			再質問2	図説習志野市の歴史の制作過程で開催された習志野市史編さん委員会が一部非公開となったのはなぜか。	令和7年3月25日に開催された令和6年度習志野市史編さん委員会では、「図説 習志野市の歴史」の原稿案について報告をしたが、掲載写真の著作権等の確認中であったため、習志野市情報公開条例第8条第5号の規定により、市が行う事業に関する情報であって、公開することにより、当該事業の性質上、当該事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるものとして、当議題を非公開にすべきと会議で決定したものである。	－	済
R8/3	4	宮内　一夫	市民の会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	1			再質問3	習志野の地名の由来について「篠原に習え」の説が間違っていたと広く周知すべきではないか。	「習志野」という地名は、明治6年に明治天皇が近衛兵の演習を実施したのちに「習志野原」と名づけ、陸軍の演習場とするよう命じたことによる。「図説 習志野市の歴史」では、この命名について宮内省の官僚が発案したという証言を紹介した。一部報道で新説として取り上げられたが、この説は、平成19年の「広報習志野」に掲載した「新ならしの散策 習志野の地名1 諸説ある習志野の由来」で、すでに紹介している。一方、「習志野原」の名の由来を、演習を指揮した篠原国幹少将の働きが見事だったので「篠原に習え」から「習志野原」としたとする説については、「図説 習志野市の歴史」で記載したように、当時の歴史資料や当事者の証言は、確認できていないものの、広く伝えられている説であり、この説を否定する証拠もない。従って、習志野という地名の由来としては、諸説があるものと認識している。	－	済
R8/3	4	宮内　一夫	市民の会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	1			再質問4	今後、市の刊行物で「篠原に習え」の説を取り上げてはいけないのではないか。	習志野の名前が「篠原に習え」に由来する説については、当時の歴史資料や当事者の証言は確認できないものの、この説を否定する証拠もない。従って、習志野の地名の由来としては、諸説があると認識しており、このことを踏まえたうえで、市の刊行物にそのひとつの説を取り上げることは問題ないと考えている。	－	済
R8/3	4	宮内　一夫	市民の会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	1			再質問5	習志野の地名の由来について、今回の図説習志野市の歴史で紹介された説を正当なものとして進めていくという考えであるのか。	習志野地名の由来については、諸説があると認識しており、今後、調査研究を行う中で新たな説が発見できれば、市民にお知らせしていく。どれか1つに決めるということではなく、諸説があるとご理解いただきたい。	－	済

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	4	宮内　一夫	市民の会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	1			再質問6	習志野市の名前の由来について裏付ける根拠を精査すべきである。	「篠原に習え」の説に関してはこれまでも取り上げており、「図説 習志野市の歴史」の中でも諸説があると紹介している。所管する教育委員会としては、今までの説が間違っており、大きく変えることとは捉えていない。	－	済
R8/3	4	宮内　一夫	市民の会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	1			再質問7	鷺沼城がなかったということであれば、鷺沼城址公園という名称はそのまま使ってよいのか。古墳公園、源太塚のほうがよいのではないか。	鷺沼城跡は、「図説　習志野市の歴史」の55ページにおいて、「城跡と推定できるだけの遺構や遺物がこれまでの調査では見つかっていない」と記載している。これは、城跡であることを裏付ける資料がこれまでの調査でまだ確認されていないという事実を述べたものであり、鷺沼城跡の存在を否定しているものではない。鷺沼城址公園周辺に城跡があったという言い伝えもあることなどから、教育委員会としても、城跡の可能性がある土地として、周知の埋蔵文化財包蔵地として取り扱っているところである。	－	済
R8/3	4	宮内　一夫	市民の会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	1			再質問8	鷺沼城址公園の鷺沼源太の碑の経緯について伺う。	鷺沼城址公園内に所在する「鷺沼源太満義諸武士之碑」は、昭和34年3月、当時の鷺沼町会長を中心とした有志により建てられたとされている。この記念碑の碑文には、「今を去る六百年前 正応年間」と記されているが、この正応という元号は、西暦1288年から1293年で、鎌倉時代にあたる。一方、碑文には続いて「里見氏及び源太氏を始め下総十有城主一団となり北条氏康と戦い」と記されており、これは戦国時代である永禄7年(1564年)の第二次国府台合戦と考えられるが、碑を建てた有志の方々がどのような根拠資料に基づいて碑文を記したのかは不明である。	－	済
R8/3	4	宮内　一夫	市民の会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	1			再質問9	習志野市歴史・文化財マップに掲載されている騎兵第16連隊跡・習志野学校跡の門柱の写真を削除したのはなぜか。	習志野市歴史・文化財マップは、市内の文化財や、歴史的な場所への理解を深め、まち歩きのお供としていただくために、令和2年に作成し無料で配布していたが、ご好評いただき、数が少なくなったため、本年3月に増刷した。騎兵第16連隊表門の古い写真と、習志野学校北側門柱の現在の写真を掲載していたが、レイアウトを見直した結果、スペースに余裕がなかったこと、2枚の写真が同一のものと誤解を与えかねないことから、騎兵第16連隊の表門の写真を残し、習志野学校北側の門柱の写真を削除したという経緯がある。	－	済
R8/3	4	宮内　一夫	市民の会	学校教育部	学習指導課	学校教育について	1			要望	習志野市の地名の由来について、諸説ある由来が正しいかどうかも含めて、現在議論しているということを学校でも伝えていってほしい。	－	今後も、特定の説を確定した事実として断定せず、一つの見方として扱いながら、諸説の妥当性を含めて現在も議論が続けられている現状を丁寧に伝えていく。	済
R8/3	6	田中　慶子	公明党	学校教育部	学習指導課	学校教育について	1	(1)		再質問1	個別の教育支援計画の管理方法とライフサポートファイルとの連携について伺う。	個別の教育支援計画は、学校が主体となって、保護者と連携しながら児童生徒一人一人の教育的ニーズを正確に把握し、適切な教育的支援を行なうために作成しているものである。本市においては、原本は、校長の管理のもと、校内の施錠できる場所に保管し、写しを保護者が保管することとしている。また、作成に係る保護者の負担を軽減するため、自宅のパソコン等で入力・保存できる電子データを、市ホームページからダウンロードできるようにしている。一方、計画には、障がいや発達の状況をはじめ、医療や家庭等に関する、慎重な取扱いを要する個人情報が含まれている。このため、市や学校が計画の電子データを一元的に収集・管理したり、関係部局や学校との間で、システムにより共有したりする運用とは現在していない。次に、個別の教育支援計画とライフサポートファイルとの連携についてお答えする。個別の教育支援計画を作成する際には、保護者の意向を踏まえ、ライフサポートファイルに記録された児童生徒のこれまでの発達の状況や、医療、福祉分野における支援の内容等を参考にすることができる。また、作成した計画をライフサポートファイルに綴じ込み、成長や支援の経過を蓄積することで就学・進学時の引継ぎや、将来、福祉サービスを利用する際の相談および手続き等に活用することができる。このように、システム上での連携をしているものではないが、本人・保護者の管理の下で、計画とライフサポートファイルを一体的に活用することにより、教育、医療、福祉等の支援をつないでいる。今後も、個人情報の適切な取扱いに十分配慮するとともに、保護者の利便性や負担軽減を図りながら、安全かつ円滑に情報を引き継ぐことができるよう関係部局と連携していく。	今後も個人情報の適切な取扱いに十分配慮し、関係部局と連携していく。	済
R8/3	6	田中　慶子	公明党	学校教育部	学習指導課	学校教育について	1	(1)		要望	今後さらにデジタル化を進める中で、保護者の同意を前提に個別の支援計画とライフサポートファイルをデジタル上で連携し、進級・進学や支援機関の変更の際にも必要な情報が円滑に引き継がれる仕組みについて検討を進めていただきたい。	－	今後も個人情報の適切な取扱いに十分配慮し、関係部局と連携していく。	済

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	6	田中　慶子	公明党	学校教育部	児童生徒指導課	学校教育について	2	(1)		再質問1	学校におけるヤングケアラーの答弁と、相談につなげる取り組みについて伺う。	学校は、児童生徒と日々関わりをもつ身近な存在であることから、ヤングケアラーをはじめ、様々な困り事を抱える児童生徒の変化やサインにいち早く気づき、必要な支援につなげていく重要な役割を担っているものと認識している。教育委員会としては、教職員がヤングケアラーについて正しく理解し、児童生徒の小さな変化を見逃さず、適切な対応につなげることができるよう、今年度も取組を進める。具体例を申し上げると、県教育委員会の「ヤングケアラー支援マニュアル」や相談窓口に関するリーフレットを学校及び保護者へ周知した。あわせて、児童生徒がタブレット端末からいつでも閲覧・SOSを発信できる環境を整備した。また、教職員による早期発見や組織的な対応力を高めるため、ヤングケアラーアドバイザーの派遣制度の周知や研修動画の活用を促進するとともに、生徒指導・長欠対策主任会議においては、ヤングケアラーを含む虐待対応の徹底について研修を行うなど、継続的な取組を進めているところである。今後も、本市のこども家庭課をはじめとする福祉関係機関との連携を深め、切れ目のない支援に取組んでいく。	今後も動向を注視していく。	済
R8/3	6	田中　慶子	公明党	学校教育部	児童生徒指導課	学校教育について	2	(1)		要望	児童生徒へリーフレットを配付するだけでなく、教職員が説明をして、児童生徒の気づきの機会としてほしい。 令和7年度配信のヤングケアラー支援における学校等とヤングケアラー支援担当部署との連携についてと併せてこども家庭課の教職員向けリーフレットを配信するだけで終わることなく、全ての教職員が児童生徒の支援や早期発見に繋げるための気づきの視点を学んでほしい。	－	今後も動向を注視していく。	済
R8/3	8	木村　孝	民意と歩む会	学校教育部	学習指導課	学校教育について	4	(2)		本答弁	4.こどもの学びと教育格差の是正について (2)家庭の経済状況に左右されない学習機会の確保と支援の在り方について	学校では、日々の授業の充実を図ることで必要な学習機会を確保している。さらに、夏休みの期間中には、地元高校生を招き学習会を実施している学校もある。また、総合教育センターでは、学習教室や科学教室として「わくわく学びランド」を開催している。この取り組みでは、大学教授、高校の教員本市の退職校長会などの協力を得て平成29年度時から継続して実施している。さらに、令和6年度から公益財団法人習志野市文化スポーツ振興財団が主催する「アートでスポーツな夏休み」として文化とスポーツを一度に体験できる特色のあるプログラムを提供している。教育委員会としては、今後も、学びの機会を保障し全ての児童生徒が安心して学びを深められる環境づくりに努めていく。	今後も、学びの機会を保障し全ての児童生徒が安心して学びを深められる環境づくりに努めていく。	済
R8/3	8	木村　孝	民意と歩む会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	4	(2)		要望	国・県・市がそれぞれ3分の1を負担し、子供に無料の学習支援を行う地域未来塾の導入について、ボランティア確保が課題とのことであるが、地元大学や地域人材と連携しながら、実現に向けて具体的に検討するよう要望する。	－	慎重に研究していく。	未
R8/3	8	木村　孝	民意と歩む会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	4	(3)		本答弁	4.こどもの学びと教育格差の是正について (3)放課後子供教室の実施状況、放課後児童クラブ(学童保育)との連携、及び指導員確保について	本市の放課後子供教室は、放課後等に市内の学校施設を活用しこどもの安全・安心な居場所を設け、児童の健全な育成を図ることを目的として実施しており、現在市内15小学校にて実施している。令和9年度には新たに谷津小学校の子供教室を開設し、市内全ての公立小学校に子供教室を開設することとなる。実施日時は原則、平日は放課後から午後5時まで、実施する小学校に在籍している児童としており、費用は無料である。実施時間中には児童の興味や関心に応じた多彩なプログラムを実施している。放課後児童会との連携については、両事業を同じ小学校内で実施することにより、児童会に在籍するこどもが、子供教室の活動やプログラムに一緒に参加し、交流できる校内交流型を採用しており、児童会に在籍していない友達との交流を深め、充実した放課後を過ごすことができるようにしている。	－	－
R8/3	8	木村　孝	民意と歩む会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	4	(3)		要望	放課後子供教室は14校で運営され、定員制限なく希望する全児童が利用でき、特別な配慮が必要な児童にも対応しているとのことである。保護者の約96%が「子供が安心して過ごせる場所」として高く評価している。今後も、児童・保護者の声を丁寧に把握しながら、すべての児童が安心して過ごせる居場所づくりを進めるよう要望する。	－	安全で安心な子供教室運営を推進していく。	済

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	9	大宮　こうた	明日の習志野	学校教育部	学習指導課	学校教育について	3	(1)	①	本答弁	3.こどもにやさしい街について (1)こどもの学びの質につながる教材デジタル化 ①ＡＩ型教材の見直し状況と今後の方向性 児童･生徒、保護者、教職員向けアンケート結果を踏まえた見直し状況、今後の改善策について伺う。	ＡＩ型教材については、その活用状況を把握するため、本年7月に、市立小中学校の児童生徒、保護者及び教員を対象にアンケートを実施し、その結果を市ホームページに掲載した。アンケート結果からは、ＡＩ型教材を活用している児童生徒ほど、そのメリットを実感している傾向が見られた。また、繰り返し学習・学び直しのしやすさや習熟度に応じた学習について、一定の評価が確認された。教職員からも採点の効率化や学習状況の把握のしやすさなどが利点として挙げられている。一方で、児童生徒からは漢字学習における正誤判定への不満。保護者からは紙に書く機会の減少や思考力低下を懸念する声があった。その他には、画面を見る時間の増加による視力への影響などを心配する意見も寄せられた。教育委員会では、これらのアンケート結果と現場の教員で構成する習志野市立学校副教材在り方検討委員会の作業部会からの報告を踏まえ、今後の方向性について検討した。その結果、ＡＩ型教材の有効な面について引き続き活用しながらも、紙に書いて考える学習とのバランスや、児童生徒の発達段階、特に小学校低学年への学習全般の在り方をより明確にしていくこととした。学習評価については、従来通り、ＡＩ型教材の学習履歴や正答状況のみをもって評価するものではなく、授業における発言や記述、課題への取り組みの過程や成果など、教員が多角的に評価していく。このことについて、保護者代表の方も交えた同検討委員会で報告・協議し、意見をいただいたところである。今後は、引き続きＡＩ型教材とノートなど、紙による学びの適切な併用、学校の実情や児童生徒の発達段階等、実態に応じた副教材の活用の検討、健康面に配慮した端末利用など、アンケート結果等を踏まえた取り組みが確実に実施されるよう、教育委員会から各学校に対し情報発信や指導助言を行っていく。また、引き続きアンケート結果や実践事例の検証を進め、効果と課題の両面を評価しながら、学校に対してＡＩ型教材の効果的な活用及び運用方法の発信や研修に努めていく。	引き続きアンケート結果や実践事例の検証を進め、効果と課題の両面を評価しながら、学校に対してＡＩ型教材の効果的な活用及び運用方法の発信や研修に努めていく。	未
R8/3	9	大宮　こうた	明日の習志野	学校教育部	学習指導課	学校教育について	3	(1)	①	再質問1	「一定の評価が確認されました」という答弁に関し、具体的にはどのような評価がどのような手法で確認されたのか、定量的な評価についてうかがう。	本年7月に実施したアンケート調査の内、市立小中学校の児童生徒については、小学校児童3,770名、中学校生徒2,343名から回答を得ている。調査では、「ＡＩ型教材のドリル機能についてメリットと感じるところは何ですか」という質問を設け、複数の選択肢から回答する方法で児童生徒の評価を確認した。その結果、「繰り返し問題に取り組める」と回答した割合は小学生55.9%、中学生69.1%、「結果がすぐわかる」は、小学生42.8%、中学生42.4%、「苦手なところを勉強できる」は、小学生44.6%、中学生51.4%であった。また、ＡＩ型教材を活用している児童生徒ほど、これらのメリットをより強く実感している傾向が見られている。教育委員会としては、これらの回答から繰り返し学習や学び直しのしやすさ等について、一定の評価が確認されたと捉えている。	ー	未
R8/3	9	大宮　こうた	明日の習志野	学校教育部	学習指導課	学校教育について	3	(1)	①	再質問2	「漢字学習の意欲低下」という点は重大な懸念点であるが、一学期における児童･生徒の学習意欲及び学力についてはどのような変化が生じたのか。	漢字学習を含め、児童生徒の学習意欲を向上させることは重要な課題であると認識している。漢字学習についてはＡＩ型教材を書き順や定着確認の補助として活用しつつ、誤りに気付いて修正する学習を重視し、定着そのものについては、漢字ノートやテストなど、紙に書く活動で確認することを基本とすることで、ＡＩ型教材と紙に書くことの双方の利点を生かした使い分けを進めていくこととしている。なお、現時点では児童生徒の学習意欲や学力の変化を判断できる客観的なデータは得ていない。今後、教育委員会としては、継続的にアンケート調査を行い、児童生徒の学習意欲の変化を把握するとともに、全国学力・学習状況調査の結果等、客観的データに基づいて検証を進めていきたい。	継続的にアンケート調査を行い、児童生徒の学習意欲の変化を把握するとともに、全国学力・学習状況調査の結果等、客観的データに基づいて検証を進めていく	未
R8/3	9	大宮　こうた	明日の習志野	学校教育部	学習指導課	学校教育について	3	(1)	①	要望	今後、学習意欲や学力の検証を継続的に行ってほしい。	-	継続的にアンケート調査を行い、児童生徒の学習意欲の変化を把握するとともに、全国学力・学習状況調査の結果等、客観的データに基づいて検証を進めていく	未
R8/3	9	大宮　こうた	明日の習志野	学校教育部	学習指導課	学校教育について	3	(1)	①	再質問3	ＡＩ型教材を使用する学年の考え方はどのような教育的根拠に基づいて決めたのか。	ご指摘の件について、本答弁でも答弁した通り、これまでどちらかというとそういうことではないが、よく課題として挙げられてきたのは、教科書、教材を与えてそれぞれの学年の学習が成り立っているという理解がなかったわけではない。全体的な計画の中で、私共、学校は取り組んできているわけだが、それを浸透させていかなければならないというのは教育委員会の課題でもある。そういった意味では、AIドリルを活用することを通して、よりその課題が明確になったと思っている。そこで本答弁でも申し上げた通り、学習全般の在り方について教育委員会が責任をもって校長会と協議しながらそれぞれの発達段階に応じて、何を学ばせていくのか、何を使っていくのかということに取り組んでいく。併せてAIドリルを有効活用していくということで考えれば、その環境の改善を図っていかなければならない。一例を挙げると、タッチペンをもう少し良いものにしていくということも含め検討していく。	学習全般の在り方について、校長会と協議しながらそれぞれの発達段階に応じて、何を学ばせていくのか、何を使っていくのか示していく。タッチペンを良いものにしていくということも検討していく。	未
R8/3	9	大宮　こうた	明日の習志野	学校教育部	学習指導課	学校教育について	3	(1)	①	要望	教育的根拠に基づいて、ＡＩ型教材等の使用時期等を考えてほしい。	-	学習全般の在り方について、校長会と協議しながらそれぞれの発達段階に応じて、何を学ばせていくのか、何を使っていくのか示していく。	未

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	9	大宮　こうた	明日の習志野	学校教育部	学習指導課	学校教育について	3	(1)	①	要望	現状のままで来年度からAI型教材への移行は厳しいと捉えているので、移行ありきで拙速に進めないようにしてほしい。	－	AI教材の移行時期について慎重に検討していく。	未
R8/2	9	大宮　こうた	明日の習志野	学校教育部	教育総務課	学校教育について	3	(2)	①	本答弁	3.こどもにやさしい街について (2)小学校を教育・交流・防災の拠点とする取組 ①増加する余裕教室の利活用に関する取組と今後の方向性 少子高齢化によって市内小・中学校における余裕教室が増加しているが、現状の利活用の状況、「多彩で豊かな交流が広がるまち」の実現に向けた今後の活用に関する取り組みと課題について伺う。	本市教育振興基本計画においては、「地域とともにある学校づくり」を掲げているところであり、学校において余裕教室が生じた場合、教育の場としてのみならず、地域との交流や防災の拠点として有効に活用していくことも重要であると認識している。そのような中、現在、老朽化した校舎の建て替えを進めているところであるが、新しい校舎においては、地域利用を見据え、学校部分と地域利用可能部分との動線を分けるため、外部から直接出入りできる出入口を設けるなど、地域の方の利用を想定した設計としているところである。また、スマートキーなどIOT機器を活用し、これからの時代にあった設備の導入を検討していく。 一方で、課題としては学校は児童生徒が日々学ぶ場であることから、不審者対策をはじめとした安全確保は何より重要であり、不慮の事故への対応も含め、十分配慮しなければならないと考えている。加えて、学校施設の地域開放については、保護者の中にも様々な考えがあることから、理解を得ながら進めていくことが必要である。今後、これらの課題に対応しながら、余裕教室の活用にあたり、教育振興基本計画の理念を踏まえつつ、地域交流の促進という方向性を大切にし、安全面や管理運営面、関係者の合意形成など、様々な条件を丁寧に整理しつつ取り組んでいく。	同左	未
R8/3	9	大宮　こうた	明日の習志野	学校教育部	教育総務課	学校教育について	3	(2)	①	再質問1	学校に教育・防災・交流機能を集めていく、具体的には公共施設の機能を集約していく、という方針を採る場合、小学校、中学校、各々の特色や役割、地域との関係性について各地域で丁寧に把握して取り組むべきと考える。小学校と中学校との間で、地域との連携において違いや特色はあるのか。	学校は小学校・中学校を問わず、児童生徒・保護者のみならず、地域コミュニティの核としての役割も大きいと認識している。小学校については、身近な地域のまとまりの単位として、中学校については、複数の小学校区を包含する広域の地域コミュニティのまとまりの単位として、それぞれが地域コミュニティを構成する重要な要素であり、地域の結びつきや一体感を支えるものと捉えている。本市では、全校で学校運営協議会を設置し、地域住民が学校運営に参画する仕組みを構築するとともに、習志野市PTA連絡協議会・青少年相談員連絡協議会・連合町会をはじめとする地域団体とも連携を図りながら、学校と地域が互いに支え合う関係を築いており、これら地域との連携については、学校の特色や地域の実情はそれぞれ異なることから、各学校において地域との関係を丁寧に築いているところである。	－	－
R8/3	9	大宮　こうた	明日の習志野	学校教育部	教育総務課	学校教育について	3	(2)	①	再質問2	人口減少社会を迎えている中で、本市の児童推計などを見ても児童生徒数の減少は避けられないと思う。余裕教室の活用から一歩進み、長期的な観点から、市立学校の在り方について、まちづくりや教育の観点、両方をバランスよく備えた検討をしていくべきではないか。	令和8年8月に文部科学省から発出された「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」の改訂通知においては、教育委員会のみならず、市全体で、その地域の未来を考える視点で検討する観点が求められている。本市においても、この国の指針を十分に勘案しながら、本市の実情に即した適正規模・適正配置の検討を進めていく必要があると認識している。学校の在り方としては、子どもたちの教育環境を整えることが基本であり、学びの場を確保することが何より重要である。一方で、学校は地域コミュニティの核としての役割も大きく、地域の実情や各学校の特色、保護者・地域住民との丁寧な合意形成を図りながら、学校の在り方について検討を進めていく必要があると考えている。	－	－
R8/3	9	大宮　こうた	明日の習志野	学校教育部	教育総務課	学校教育について	3	(2)	①	要望	公共施設をどうしていくか、その中でも、5割以上を占める教育施設をバランスを考えてどうしていくかは横断的な課題である。検討する時期は終わりつつあり、実行するべき時期に来ている。市長公室が中心となって、議論を深めていただきたい。	－	引き続き市長部局と連携し、必要に応じて実施を行う。	未
R8/3	11	三代川　雄哉	真政会	学校教育部	総合教育センター	学校教育について	1	(3)	①	再質問1	習志野市の教育での生成AIの活用についてどのように考えているか伺う。	教育委員会おける生成AIについては、本市教育委員会が策定した「生成AIの利活用に関するガイドライン」に基づき適切な運用のもとで活用を進めている。校務における活用では、文書作成時の文章案の作成や要約、情報整理など、教職員の業務を補助するツールとして活用している。活用にあたり、個人情報や機密情報を入力しないことを徹底するとともに、生成された内容は、そのまま使用するのではなく、教職員が内容の正確性や適切性を十分確認した上で活用している。児童生徒の学習活動における活用については、学びや思考を深めるための補助的なツールとして位置付けている。国のガイドラインでは、児童生徒の発達段階や実態を踏まえ、活用が有効な場面を見極めながら、限定的な利用を基本としている。そこで本市の活用に当たっては、まず、生成AIの仕組みや利便性だけでなく、誤った情報を生成する可能性や著作権への配慮、個人情報保護などについて学ばせるとともに、生成AIの回答を鵜呑みにせず、自ら考え、判断する力を育成していく。その上で、学習内容について多様な視点を得たり、自らの考えを整理したり、議論を深めたりする場面において、「考える力を支援するための道具」として活用することを想定している。今後も国の動向や技術の進展を注視するとともに、教育効果や課題を検証しながら、適切な利活用に努めていく。	今後も国の動向や技術の進展を注視するとともに、教育効果や課題を検証しながら、適切な利活用に努めていく。	済

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	11	三代川　雄哉	真政会	学校教育部	総合教育センター	学校教育について	1	(3)	①	要望	大学や民間企業と連携し、専門的な知見や若い世代の力を取り入れ習志野らしい生成AI教育を工夫して進めていくことを要望する。	-	引き続き検討していく	済
R8/3	12	金井　宏志	公明党	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	1	(1)		再質問1	若者の居場所に関して、教育委員会の取り組み状況を伺う。	「習志野市こども若者まんなか計画」に基づく若者の居場所に関する取り組みとしては、計画策定にあたって実施した高校生以上29歳までの若者を対象としたアンケート調査、意見聴取等の結果、若者が望むことの上位に「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」が挙げられたことから、若者に対する居場所の提供に関し、先進事例などの調査研究や当事者である若者の意見聴取に努めることとしている。令和8年度の取り組み状況としては、本年8月20日に開催した社会教育委員会議の審議事項として、若者の居場所に関して、「居場所の概念」「若者の主体的参画」「社会教育施設の活用」「関係機関との連携」という視点から意見を伺った。今後については、市内の大学や高校に協力を得ながら、当事者である若者の意見聴取を行い、若者の居場所に係る施策の実現に取り組んでいく。	市内の大学や高校に協力を得て、当事者である若者の意見聴取を行い、若者の居場所に係る施策の実現に取り組んでいく。	未
R8/3	12	金井　宏志	公明党	学校教育部	学習指導課	学校教育について	1	(1)		再質問2	児童生徒への主権者教育の実態について伺う。	文部科学省によると、主権者教育は、政治の仕組みについて必要な知識を獲得することだけでなく、社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決について、社会の一員として主体的に担う力を育むことが目的とされている。学校においては、社会科や公民科を中心に、総合的な学習・探究の時間や特別活動等を通して、社会の仕組みや地域の課題について学び、自分の考えをもち、他者と意見を交流する学習に取り組んでいる。具体的には、小学校では、地域の特色や暮らしを支える公共施設の役割を調べ、地域をより良くするために自分たちができることを考える学習や、学級活動や児童会活動における話し合いを通じ、身近な社会への関わり方を学んでいる。中学校では、選挙制度や地方自治の仕組みを学ぶとともに、地域や社会の課題について考察し、意見交換や討論等を行う他、生徒会活動や模擬選挙などを通して、合意形成の過程や選挙、政治参加の意義について理解を深めている。また、習志野高等学校においては、公民科や総合的な探究の時間等において、社会的な課題について考察する学習などを行っている。さらには、選挙管理委員会からの答弁にもあったとおり、市立中学校及び習志野高等学校の生徒を対象に出前授業による選挙学習を実施し、特に習志野高等学校では、市長や市議会議長の講話を通じて、生徒たちが主権者としての役割や責任について学ぶ機会としている。今後も、それぞれの発達段階に応じた学習や体験活動の充実を図り、社会の一員として主体的に考え、行動する力を育む主権者教育を推進していく。	今後も、それぞれの発達段階に応じた学習や体験活動の充実を図り、社会の一員として主体的に考え、行動する力を育む主権者教育を推進していく。	済
R8/3	12	金井　宏志	公明党	学校教育部	学習指導課	学校教育について	1	(1)		再質問3	若者の市政への参画として、市制施行70周年記念事業として行った「子ども議会」はとても良い取り組みであったと感じる。この時の生徒の感想はどのようなものだったのか。また、今後もこのような周年のような機会をとらえて続けていっていただきたいと思うがいかがか。	子ども議会については、市制施行70周年記念事業として、令和6年7月に実施したものである。当日は、市立中学校7校から各2名、計14名を選出いただき、日頃、市政について疑問に感じていることなどを質問した。また、今後の市政について自由な意見や要望を述べていただいたものである。子ども議員の感想として、アンケートに回答いただいた内容を抜粋すると、市政の関心が高まったか？の問いには全ての方がすごく高まった、少し高まったとの答えであった。また、自由記述では、1.学校のことを考えたことはあったが、市全体のことを考えることによって視野が広がった。1.課題はあるが、市もいろいろな視点から住みよいまちづくりを行っていることを感じた。特に道路や街灯などの整備に力を入れていることが分かった。などの意見をいただいたところである。このようなアンケート結果を見ても、本事業については、有意義なものであったと捉えている。今後についても、周年などの機会をとらえて、開催することを検討していく。	-	-
R8/3	12	金井　宏志	公明党	学校教育部	総合教育センター	学校教育について	5	(1)		本答弁	5.記録映像など (1)総合教育センターが保管する記録のデジタル化と活用について 総合教育センターに保管されているアナログの映像の保存管理状況とデジタル化の取り組みについて伺う。	総合教育センターでは、かつての習志野市の出来事や学校の様子を映像で記録しテープとして保管している。これらのテープは、本市の歴史において大変貴重な映像が含まれると思われることから、後世に引き継いでいくことが必要であると考えている。そのため、これらの映像については、まず、総合教育センターで内容を確認し、記録として保存の要否を決めていく。しかしながら、記録したテープがベータ方式等、旧式であることから、再生機器が老朽化し、映像を確認できない状況である。このことから、デジタルに変換する機器を購入するとともに、ベータの再生機器の手配を依頼している状況である。今後は、映像内容を確認し、必要に応じてデジタル化を進めていく。また、総合教育センターが保管する紙媒体の教育関係資料も、保存性の向上や利活用の促進を図るため、デジタル化に着手していく。	映像内容を確認し、必要に応じてデジタル化を進めていく。 また、総合教育センターが保管する紙媒体の教育関係資料も、保存性の向上や利活用の促進を図るため、デジタル化に着手していく。	済

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	12	金井　宏志	公明党	学校教育部	総合教育センター	学校教育について	5	(1)		再質問1	どのような記録映像が、どれくらいあるのか。	総合教育センターが保管している記録映像は、現在、ベータテープ等を中心に約120本であるが、教育長答弁のとおり、内容の確認ができていない。ただし、テープのラベル等から推測すると、その内容は、大きく分けて、市の歴史やまちづくりに関する映像と、学校や幼稚園における教育活動に関する映像に分類することができる。市の歴史に関する映像として、市制施行記念式典や姉妹都市提携事業、地域の伝統芸能、農業や環境施設の紹介、谷津干潟などの自然環境に関するもののほか、市民活動や生涯学習に関する記録などがある。これらは、本市の発展や市民生活の歩みを伝える貴重な資料と思われる。また、学校や幼稚園に関する映像として、授業研究や公開研究会、音楽会や合唱コンクール、セカンドスクール、運動会、入園式や卒園式など、当時の教育活動や学校行事を記録したものがある。これらは、本市の教育の歩みや学校現場の様子を知ることができる貴重な教育資料となっている。	映像内容を確認し、必要に応じてデジタル化を進めていく。	済
R8/3	12	金井　宏志	公明党	学校教育部	総合教育センター	学校教育について	5	(1)		再質問2	社会の授業など、学校での活用方法について伺う。	総合教育センターが保管している記録映像は、本市の歴史や地域の文化、教育活動の様子を記録した貴重な資料であると思われることから、学校教育において有効に活用できるものと考えている。例えば、社会科では、市制施行記念式典や姉妹都市交流、地域の伝統行事、農業やまちづくりの様子などを学ぶ際に活用することで、児童生徒が習志野市の歴史や発展の歩みをより身近に理解することにつながるものと考えている。また、学校や幼稚園の教育活動を記録した映像では、当時の授業や学校行事の様子から本市の教育の歩みを振り返り、郷土への愛着や理解を深める学習に役立つものと考えている。現在、これらの映像は旧式の媒体で保存されていることから、まずはデジタル化を進める必要があるが、今後、映像の保存状況や著作権、個人情報への配慮を踏まえながら、学校での活用方法について検討していく。	今後、映像の保存状況や著作権、個人情報への配慮を踏まえながら、学校での活用方法について検討していく。	済
R8/3	12	金井　宏志	公明党	学校教育部	総合教育センター	学校教育について	5	(1)		要望	総合教育センターの再整備が本格的に動き出す前に、市政施行80周年に向けて、市史の貴重な資料として、データーを整えていくことをお願いする。	－	引き続き取り組んでいく。	未
R8/3	13	丸山　秀雄	公明党	学校教育部	教育総務課	防災対策について	1	(1)		再質問1	市立小中学校において、今回体育館に設置したGHP、及び、過去に校舎に設置したGHPは、都市ガスとLPガスの両方が利用可能なタイプなのか伺う。	昨年度、市立小中学校の体育館に設置したGHPについては、全て都市ガスとLPガスの両方が利用可能なタイプとなっている。また、校舎に設置してあるGHPについては、工事年度が異なることから、都市ガスとLPガスの両方の利用には対応していない機種もある。	－	－
R8/3	14	平川　博文	都市政策研究会	学校教育部	教育総務課	学校教育について	2			本答弁	2.宮本泰介市長＆荒木勇前市長の人事権を考える。懲役1年執行猶予3年の市役所公務員が普通退職している。懲戒免職処分ではない、なぜなのか。令和7年9月6日の読売新聞報道では、習志野市のいじめ重大事態の再調査委員会の後藤弘子千葉大学副学長の調査結果報告が掲載された。これまでの小熊教育長答弁では、教育委員会職員、教職員の処分を精査するとしていた。懲戒処分は、行われたのか。令和8年8月13日夕方から14日未明にかけて千葉県内で記録的豪雨による被害が広がった。市役所公務員はどのように緊急配置されたのか。 Q6　令和7年4月22日付けで市役所公務員が懲戒免職処分となっている。県内の18歳未満の被害者1名に対して、不適切な行為を行った。令和7年4月17日に、小熊教育長、三角学校教育部長、上原生涯学習部長、渡辺学校教育部次長で構成する4名の習志野市教育委員会人事審査会において審議。4月21日に開催した令和7年習志野市教育委員会第1回臨時会の議決により、教育委員会公務員の懲戒免職処分を決定している。今度は、令和7年9月6日の読売新聞報道で、習志野市のいじめ重大事態の再調査委員会の後藤弘子千葉大学副学長の調査結果報告が掲載された。これまでの小熊教育長答弁では、教育委員会職員、教職員の処分を精査するとしていた。懲戒処分は、行われたのか。	いじめ問題再調査委員会からご指摘を受けている学校の教職員のいじめ問題への対応については、任命権者である千葉県教育委員会へ報告、連携し、調査、確認を進めてきた。また、同じくご指摘を受けている本市教育委員会職員についても、並行して調査、確認を進めてきた。学校の教職員に対する懲戒処分は本市教育委員会ではなく、任命権者である千葉県教育委員会が行うものであるが、令和8年5月に千葉県教育委員会から調査等の結果について懲戒処分には至らない旨の連絡があった。そこで、学校の教職員にかかる処分の判断、本市の調査等の結果を踏まえ、令和8年6月2日に習志野市教育委員会人事審査会において審議し、本市教育委員会職員に対し、指導上の措置を行うことを決定した。	－	－
R8/3	14	平川　博文	都市政策研究会	学校教育部	教育総務課	学校教育について	2			再質問1	千葉県教育委員会は教職員の処分について懲戒処分に当たらないという結論に至ったようである。その理由は何か。	千葉県教育委員会の判断については、市の教育委員会では存じあげていない。	－	－
R8/3	14	平川　博文	都市政策研究会	学校教育部	教育総務課	学校教育について	2			再質問2	次の議会までになぜ懲戒処分ではなかったのかということを確認してもらいたいが、いかがか。	県の判断については、県教育委員会の判断を伺っているだけであるため改めて確認する予定はない。	－	－

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	14	平川　博文	都市政策研究会	学校教育部	教育総務課	学校教育について	2			再質問3	習志野市では県の決定とあわせて指導上の措置を行う決定とした。指導上の措置とはどういう意味か。	指導上の措置とは、懲戒処分には至らなかったが、不適切な対応があったことについて指導を行うものである。	－	－
R8/3	14	平川　博文	都市政策研究会	学校教育部	教育総務課	学校教育について	2			再質問4	どのような措置をおこなったのか。	具体的な指導の内容については答弁を控えるが、処分が決まった翌日に教育長から指導の措置を行った。	－	－
R8/3	14	平川　博文	都市政策研究会	学校教育部	教育総務課	学校教育について	2			再質問5	指導上の措置は、どこで誰が意思決定したのか。メンバーを知りたい。	習志野市教育委員会人事審査会において意思決定した。そのメンバーは、小熊教育長、上原学校教育部長、海老原生涯学習部長、大竹学校教育部次長である。	－	－
R8/3	14	平川　博文	都市政策研究会	学校教育部	教育総務課	学校教育について	2			再質問6	会議録は残っているか。	会議録はある。	－	－
R8/3	14	平川　博文	都市政策研究会	学校教育部	教育総務課	学校教育について	2			再質問7	被害児童家族に対して、これまでの教育長答弁では謝罪をしてきたとあった。今回、指導上の措置という結論を得て最終的に被害児童家族に対して家族宅を訪問したり、説明したり、謝罪する意思はあるか。	今回の処分の決定については、代理人を通して保護者に対し報告したい旨伝えたところ、市役所に来ていただけることになり、市役所の中で報告した。	－	－
R8/3	14	平川　博文	都市政策研究会	学校教育部	教育総務課	学校教育について	2			再質問8	教育長はどうか。	【教育長】部長が答弁したとおりである。繰り返しになるが、このいじめの問題については、非常に辛い思いをさせたということがある。私どもは重く受け止めてこういう問題が起こらないようにする組織にしていくということで取り組んでいるところである。なお、教育委員会が隠ぺい体質ということで、そのようにご指摘いただくのはしっかりと取り組まなければいけないと捉えている。いじめの問題に関しては先方に隠ぺいするということは全くないような形でしっかりと必要なことはオープンにして取り組んでいきたいと考えている。	－	－
R8/3	15	荒原　ちえみ	日本共産党	学校教育部	学校教育課	学校教育について	1	(1)		本答弁	学校教職員の健康管理について 習志野市の学校教職員の高ストレス者、令和6年度は13%と100人を超えている。教育委員会の高ストレス者への健康管理体制を整え、職員の健康を守る対策を求める。	高ストレス者に係る事務は、職員の健康情報保護の観点から習志野市立学校職員ストレスチェック実施規程に定めのある実施事務従事者が行っている。規程により事務を担える従事者は、従前一人でありましたが、産業医等による面接の勧奨や面接機会の設定の支援体制の充実を図るため、令和8年7月に当該規程を一部改正し、現在は5名に増員している。ストレスチェックの結果、高ストレスと判定された教職員の産業医等による面接につきましては、本人の希望により実施しているところでありますが、体制の充実により、今年度は、面接を希望しなかった教職員に対して、再度、教育委員会から産業医等による面接を勧奨している。さらに、勧奨と併せて、高ストレス者の相談の間口が広がるよう、他の相談窓口の周知も行っていく。メンタルヘルスの不調は未然に防ぐことも重要であることから、今年度は新たに、小中学校教職員のうち、採用後2年目から5年目の職員を対象に、「教職員の心の健康について」研修を実施しました。教職員が心身ともに健康な状態で児童生徒と向き合うことができるよう、引き続き教職員の健康管理に取り組んでいく。	－	済
R8/3	15	荒原　ちえみ	日本共産党	学校教育部	学校教育課	学校教育について	1	(1)		再質問1	高ストレス者の教職員には、どのような相談窓口を周知していくのか伺う。	メンタルヘルスに係る相談窓口としては、公立学校共済組合において電話、面談、ウェブ、LINE(ライン)、メールの各種相談方法を整えている。これらが教職員の目に留まるよう、職員トイレの個室内に掲示する等、周知しているところである。今年度は、これら教職員全体への周知に加え、教育委員会から高ストレス者個人に対して、産業医等による面接を勧奨する通知を送付する際に、公立学校共済組合や厚生労働省の相談窓口の案内を同封し、周知を図っていく。	全体への周知とストレスチェック後の面接勧奨を行う。	済

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	15	荒原　ちえみ	日本共産党	学校教育部	学校教育課	学校教育について	1	(1)		再質問2	小中学校の衛生委員会及び衛生部会で、昨年度、教職員のメンタルヘルスに関する事項をどのくらい取り上げているか、伺う。	衛生委員会は、労働安全衛生法施行令第9条に基づき、教職員が50人以上の市立学校に設置している。また、衛生部会は、労働安全衛生法において必置ではないが、習志野市立学校職員安全衛生管理規程により教職員が50人未満の市立学校に設置しているものである。各学校の衛生委員会及び衛生部会において、令和7年度にメンタルヘルスに関する事項として、ストレスチェックの集団分析結果やメンタルヘルスの啓発について取り上げている学校は、市立小中学校23校のうち21校である。今年度については、市立小中学校全23校でメンタルヘルスに関する事項を議題として扱うよう、学校への働きかけを強化している。	－	済
R8/3	15	荒原　ちえみ	日本共産党	学校教育部	学校教育課	学校教育について	1	(1)		再質問3	市立小中学校の教職員全体の安全衛生に関わる内容を話し合う場があるのか、伺う。	市立小中学校の教職員の安全衛生に関する事項を総合的に協議する場として、習志野市立学校職員安全衛生管理規程第13条に基づき、習志野市立学校職員安全衛生委員会を教育委員会に設置しております。当該委員会では、教育委員会の職員と教職員が参加し、年に4回、各学校の衛生委員会及び衛生部会で検討された内容や、学校の現状及び課題を基に、教職員の健康障害や危険の防止、健康の保持増進に関する協議や研修を行っている。また、ストレスチェックの結果を基にストレス要因の低減に向けた協議も行っている。今後も、学校と教育委員会が連携して教職員の健康管理に努めていく。	－	済
R8/3	15	荒原　ちえみ	日本共産党	学校教育部	学校教育課	学校教育について	1	(1)		再質問4	学校教職員安全衛生委員会の中に、産業医を位置付ける必要があると思うがいかがか。	学校職員安全衛生委員会は、習志野市立学校職員安全衛生管理規程に基づき、産業医もしくは健康管理医を委員に含む各学校の衛生委員会もしくは衛生部会において、検討された内容を基に、市立小中学校の教職員全体に係る安全衛生について協議をしている。このことから、学校職員安全衛生委員会は、改めて産業医の位置付けがなくても、産業医や健康管理医のご指導やご意見も踏まえ、教職員の健康管理に取り組んでいる組織と認識している。	－	済
R8/3	15	荒原　ちえみ	日本共産党	学校教育部	学校教育課	学校教育について	1	(1)		再質問5	学校職員安全衛生委員会の中に、産業医を位置付けないとするならば、必要に応じて産業医の出席を求めるが、いかがか。	各学校の衛生委員会もしくは衛生部会において、産業医や健康管理医のそれぞれの御指導や御意見を踏まえているので、現在では産業医全体の産業医を位置付ける必要については認識していない。	－	済
R8/3	15	荒原　ちえみ	日本共産党	学校教育部	学校教育課	学校教育について	1	(1)		再質問6	直近3年の高ストレス者の割合の推移を伺う。	直近3年の高ストレス者の割合は、令和5年度が14%、令和6年度が13%、令和7年度が12%と、推移している。今後も教育委員会と学校が協力して、教職員の心身の健康管理への取り組みを進め、高ストレス者の割合が減少していくよう取り組んでいく。	取り組みを継続していく。	済
R8/3	15	荒原　ちえみ	日本共産党	学校教育部	学校教育課	学校教育について	2	(1)		本答弁	就学援助制度の位置づけについて「経済的な理由でお困りの方」を「認定となる所得基準額に該当する方」に変更を求める。	就学援助制度の主たる目的は、児童・生徒の就学に当たって経済的に困難を抱える保護者を援助することである。制度の案内にあたっては申請案内の表現が保護者の申請意欲に抑制的に働かないよう、制度の利用を前向きに促すような工夫が重要であると認識している。ご質問の「認定となる所得基準額に該当する方」という表現とした場合、申請前に自身の所得額が基準に該当するかどうかの判断が必要となり、保護者がご自身のことと捉えられない恐れがある。そこで、保護者がためらうことなく申請できることに配慮し、その趣旨を分かりやすく周知するべく「経済的な理由でお困りの方」という表現を使用している。教育委員会といたしましては、今後も、経済的に不安を抱える保護者が遠慮なく申請できるよう、案内に努めていく。	－	済
R8/3	15	荒原　ちえみ	日本共産党	学校教育部	学校教育課	学校教育について	2	(1)		再質問1	「経済的な理由でお困りの方」という表現を「誰でも教育を受ける権利があるので、子どもたちが安心して学校生活を送れるように就学援助を希望される方」に変更することを求めるがいかがか。	先ほど教育長の答弁にありましたように、保護者がためらうことなく申請できることに配慮し、その趣旨を分かりやすく周知するべく「経済的な理由でお困りの方」という表現を使用している。また、保護者に広く制度を周知するための案内文のタイトルは「就学援助を希望される方へ」とし、必要な方の目に届きやすい言葉で案内をしていると認識している。	「経済的な理由でお困りの方」という表現を案内の中で上手く利用していく	済

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	15	荒原　ちえみ	日本共産党	学校教育部	学校教育課	学校教育について	2	(1)		要望	文言をわかりやすくするために工夫をしてほしい	－	「経済的な理由でお困りの方」という表現を案内の中で上手く利用していく	済
R8/3	15	荒原　ちえみ	日本共産党	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	3	(1)		再質問5	市民ホールには受信機はいくつあってどのように貸し出ししているのか伺う。	習志野市民ホールでは、ヒアリングループを固定設置しており、補聴器を使用する方への聞こえを援助している。また、補聴器をお持ちでない方については、磁気誘導コイルが内蔵された受信機を10台用意しており、施設受付において、貸し出ししている。	－	－
R8/3	18	鴨　哲登志	民意と歩む会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	3			再質問1	藤崎古道の説明板を設置してはいかがか。	藤崎古道の改修と合わせて検討していく。	藤崎古道の改修と合わせて検討していく。	済
R8/3	18	鴨　哲登志	民意と歩む会	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	3			再質問2	教育委員会が建てた藤崎堀込貝塚の支柱に藤崎古道の案内表示を設置してはいかがか。	現地を確認し案内表示を設置できるか検討していく。	現地を確認し案内表示を設置できるか検討していく。	済
R8/3	20	入沢　としゆき	日本共産党	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	2			再質問3	菊田公民館で開催されている文化祭等の公民館事業は、今後どのように引き継いでいくのか、旧庁舎跡地の多目的スペースを利用することで社会的な交流を生み出すものと考えるが見解を伺う。	菊田公民館は、先程教育長から答弁したとおり、令和13年度末をもって機能停止することが決定している。令和14年度以降の菊田公民館の文化祭を含む各種事業や団体、サークル等の活動の引き継ぎにつきましては、閉園後の津田沼幼稚園跡施設及び「習志野市旧庁舎跡地活用事業」における多目的スペースを活用する方針となっている。現段階での活用のイメージを申し上げると、文化祭は、津田沼幼稚園跡施設で、コンサート等の音楽活動は、多目的スペースや市庁舎の市民協働スペースでの実施を想定している。これらの方向性について、利用サークルや近隣のまちづくり会議において、説明を行っているところである。菊田公民館で展開されてきた様々な活動が、今後も継承できるよう、利用者団体への説明に努めていく。	菊田公民館で展開されてきた様々な活動が、今後も継承できるよう、利用者団体への説明に努めていく。	未
R8/3	20	入沢　としゆき	日本共産党	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	7			本答弁	7. 菊田公民館の昇降機設置について 市内の公民館やコミュニティーセンターで唯一エレベーターが設置されていない菊田公民館に誰もが使えるようにするために昇降機の設置をもとめるがいかがか。	菊田公民館の昇降手段については、これまでも検討を重ねてきたが、エレベーターの設置については、建物の構造上の制約及び多額の設置費用を要することから、設置は困難であると判断している。また、菊田公民館にいては、本市の施設管理計画に基づき、令和13年度末をもって機能停止することが決定しており、教育委員会としては、大規模な改修を行わず、日常的な維持管理に注力し、現状の施設を継続使用する方針であります。階段の昇り降りに介助が必要な利用者が来館された際は、施設職員が適切に介助方法を伺いながら、案内をしている。今後についても、引き続き、階段の昇り降りに不安のある方が来館される際には、どのような対応が可能であるか、よく聞き取りを行ったうえで、職員の介助では対応が困難な場合は、教育委員会事務局で管理している車いす型の階段昇降機を菊田公民館に運搬し、使用するなど、個別の状況に応じた対応ができるように取り組んでいく。	引き続き、階段の昇り降りに不安のある方が来館される際には、どのような対応が可能であるか、よく聞き取りを行ったうえで、職員の介助では対応が困難な場合は、教育委員会事務局で管理している車いす型の階段昇降機を菊田公民館に運搬し、使用するなど、個別の状況に応じた対応ができるように取り組んでいく。	済
R8/3	20	入沢　としゆき	日本共産党	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	7			再質問1	いす型の階段昇降機をどのように貸し出すのか伺う。 誰が運搬し、事前とはどのくらい前に申し込めばいいのか伺う。	公民館の利用申し込みは、原則5日前までに申請いただている。車いす型の階段昇降機については、先程教育長から答弁したとおり、階段の昇り降りに不安のある方が来館される際には、事前申し込みの際にどのような対応が必要であるか、よく聞き取りを行ったうえで、職員の介助では対応が困難な場合に、教育委員会事務局で管理している車いす型の階段昇降機を菊田公民館に職員が運搬し、使用することを想定している。	教育委員会事務局で管理している車いす型の階段昇降機を菊田公民館に職員が運搬し、使用することを想定している。	済
R8/3	20	入沢　としゆき	日本共産党	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	7			再質問2	車いす型の階段昇降機を何人くらいの方が使うことを想定しているのか伺う。	車いす型の階段昇降機は、職員の介助では対応が困難な方の利用を想定している。主に車いすを利用されている方を想定するが、現時点で、菊田公民館を利用されている定期利用団体のうち、車いすを利用されている方はいないことから、車いす型の階段昇降機の利用頻度については、年に数回程度を想定しいる。	－	－
R8/3	20	入沢　としゆき	日本共産党	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	7			再質問3	菊田公民館を利用されている高齢者の方から、階段の昇り降りに関して、具体的な要望が寄せられているか伺う。	菊田公民館をご利用している高齢者の方からは、階段を3階まで昇り降りするのは大変である、というご意見はいただいている。	－	－

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	20	入沢　としゆき	日本共産党	学校教育部	学習指導課	学校教育について	7			再質問4	過去に第二中学校で使用していた階段昇降機の仕様や契約内容について伺う。	過去に第二中学校において使用していた階段昇降機は、車いす型のものである。当初の契約期間は平成29年4月1日から令和4年3月31日までの5年間である。その後、再リースにより令和4年4月1日から令和7年3月31日まで3年間延長し、計8年間使用したものである。	－	－
R8/3	20	入沢　としゆき	日本共産党	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	7			再質問5	菊田公民館にも第二中学校のように階段昇降機をリースで導入してもらいたいが、如何か。	車いす型の階段昇降機については、利用の頻度を年に数回程度と想定していることから、現在、教育委員会事務局で管理している車いす型の階段昇降機を菊田公民館に運搬し、使用することを想定している。	教育委員会事務局で管理している車いす型の階段昇降機を菊田公民館に運搬し、使用することを想定している。	済
R8/3	20	入沢　としゆき	日本共産党	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	7			再質問6	菊田公民館はなぜ新たな改修を行わないのか伺う。	菊田公民館は、先程教育長から答弁したとおり、令和13年度末をもって機能停止することが決定しており、教育委員会としては、それまでの間は、日常的な管理に注力し、現状の施設を継続使用する方針である。このことから、現状の施設に新たな設備を設置することは考えていない。但し、不便な方に対応するため、車いす型の階段昇降機を運んで対応する。	現状の施設に新たな設備を設置することは考えていない。	済
R8/3	20	入沢　としゆき	日本共産党	生涯学習部	社会教育課	生涯学習について	7			要望	車いす型の階段昇降機を都度運ぶのは、職員の負担が大きく、必要とする利用者も利用を躊躇するのではないか。レンタルであれば短期間で必要に応じて設置契約をすることもできる。車いす型の階段昇降機の利用状況をも見つつ、利用者の声を聞いて昇降機についてどういった可能性があるのか検討していただきたい。	－	今後も動向を注視していく。	済
R8/3	21	谷岡　隆	日本共産党	学校教育部	学習指導課	学校教育について	2	(1)		本答弁	2.小中学校におけるＡＩ型デジタル教材（ドリル、ワーク、テスト）の推進について (1)学習におけるデジタル媒体と紙媒体の使い分けについて、習志野市立学校副教材在り方検討委員会で保護者代表の委員から出された要望に基づいて改善することを求める。	ＡＩ型教材については、その活用状況を把握するため、本年7月に、市立小中学校の児童生徒、保護者及び教員を対象にアンケートを実施し、その結果を市ホームページに掲載した。アンケート結果からは、ＡＩ型教材を活用している児童生徒ほど、そのメリットを実感している傾向が見られた。また、繰り返し学習・学び直しのしやすさや習熟度に応じた学習について、一定の評価が確認された。教職員からも採点の効率化や学習状況の把握のしやすさなどが利点として挙げられた。一方で、懸念点として、主に児童生徒からは正誤判定が厳しすぎることにより意欲が増さないこと、保護者からは紙に書く機会の減少や思考力低下があった。その他には、画面を見る時間の増加による視力への影響などを心配する意見も寄せられた。習志野市立学校副教材在り方検討委員会においても保護者代表の委員からは、特に漢字学習の進め方について意見をいただいた。教育委員会としてはＡＩ型教材を書き順や定着確認の補助として活用しつつ、誤りに気付いて修正する学習を重視し、定着そのものについては、漢字ノートやテストなど、紙に書く活動で確認することを基本とすることで、ＡＩ型教材と紙に書くことの双方の利点を生かした使い分けを進めていくこととしている。今後は、引き続きＡＩ型教材とノートなど、紙による学びの適切な併用、学校の実情や児童生徒の発達段階等、実態に応じた副教材の活用の検討、健康面に配慮した端末利用など、アンケート結果を踏まえた取り組みが確実に実施されるよう、教育委員会から各学校に対し情報発信や指導助言を行っていく。また、引き続きアンケート結果や実践事例の検証を進め、効果と課題の両面を評価しながら、学校に対してＡＩ型教材の効果的な活用及び運用方法の発信や研修に努めていく。	引き続きアンケート結果や実践事例の検証を進め、効果と課題の両面を評価しながら、学校に対してＡＩ型教材の効果的な活用及び運用方法の発信や研修に努めていく。	未
R8/3	21	谷岡　隆	日本共産党	学校教育部	学習指導課	学校教育について	2	(1)		再質問1	各学校における小学校児童と中学校生徒のアンケートの回答率をうかがう。	児童生徒アンケート結果から各学校の回答率を申しあげる。津田沼小学校29.8%、大久保小学校4.6%、谷津小学校31.5%、鷺沼小学校71.3%、実籾小学校43.3%、大久保東小学校86.1%、袖ケ浦西小学校94.1%、東習志野小学校69.3%、袖ケ浦東小学校92.1%、屋敷小学校80.3%、藤崎小学校43.4%、実花小学校24.9%、向山小学校78.4%、秋津小学校1.0%、香澄小学校57.9%、谷津南小学校7.7%、第一中学校60.6%、第二中学校84.4%、第三中学校75.1%、第四中学校5.8%、第五中学校78.7%、第六中学校64.1%、第七中学校49.2%、以上。	－	－
R8/3	21	谷岡　隆	日本共産党	学校教育部	学習指導課	学校教育について	2	(1)		要望	今後、児童生徒が学校でアンケートを実施する時間をしっかりとることを求める。	－	学校や児童生徒への負担を考慮しつつ、校内で回答する機会を設けるよう各学校に協力を依頼する。	未

令和８年第３回定例会一般質問答弁要旨総括表　教育委員会

回	通告No.	議員名	会派	部名	課名	項目名	質問番号 大	質問番号 中	質問番号 小	答弁種別	質問・要望要旨	答弁要旨	今後の処理方針	処理結果
R8/3	21	谷岡　隆	日本共産党	学校教育部	総合教育センター	学校教育について	2	(2)		本答弁	2.小中学校におけるＡＩ型デジタル教材(ドリル、ワーク、テスト)の推進について (2)学習におけるＡＩ(人工知能)とＨＩ(人間知性)の使い分けでは、「漢字判定の厳しさ」が指摘されるなど、現在のＡＩ型教材に能力不足等の問題があるのではないか。	ＡＩ型教材は、児童生徒一人一人の学習履歴や解答状況を分析し、習熟度に応じた問題提示や学習状況の把握を行うなど、個別最適な学びを支援する有効なツールとして活用している。本市が導入したＡＩ型教材についても、学習状況に応じた問題の出し分けや学習履歴の蓄積が行われている。ＡＩは客観的かつ統一的な基準で大量の学習データを処理することを得意とし、採点や判定は、あらかじめ設定された基準や仕組みに基づいて行われている。そのため、教員と同様の柔軟な判断が難しい場合がありますが、児童生徒の学習過程や努力の様子、誤りの背景を踏まえた総合的な評価や個別の声掛けについて、教員が担うべき重要な役割であると考えている。また、漢字ドリルにおいては、タッチペンの反応や文字認識の特性により、児童生徒が正しく書いたつもりでも、判定結果が異なる場合があるなど、デジタル教材特有の課題がある。こうした課題について、学校現場からの意見を踏まえ、事業者に対して改善を要望している。本市としては、ＡＩとＨＩ、すなわち人間知性をそれぞれの強みを生かして組み合わせることが重要であり、ＡＩを基礎的な学習の定着や学習状況の把握に活用するとともに、最終的な評価や指導については教員が適切に判断することで、より質の高い学習支援につなげていく。	今後も動向を注視していく。	済
R8/3	21	谷岡　隆	日本共産党	学校教育部	学習指導課	学校教育について	2	(2)		要望	保護者アンケートについてもtetoruでわかりやすく配信してほしい。	-	次回改善する予定。	未
R8/3	21	谷岡　隆	日本共産党	学校教育部	学習指導課	学校教育について	3	(1)		本答弁	3.中学校の地域部活動指導員について (1)習志野市立中学校休日地域クラブ活動管理運営等業務委託では安全管理やコンプライアンスなどが基本仕様に明記されているが、中学校の地域部活動指導員については安全管理やコンプライアンス等の研修はされているか。特に個人情報保護、ハラスメント・いじめ・性暴力等の防止など、こどもの人権に関する部分について伺う。	現在、本市では、地域部活動指導員を学校部活動に派遣する「学校部活動地域連携型」を地域展開の実証事業の1つとして展開している。地域部活動指導員の研修については、令和8年4月に、教育委員会が外部から講師を招いて開催した。研修の中では、コーチング理論に加えハラスメントやいじめ、こどもの人権に関する内容を取り扱った。また、地域部活動指導員への登録の際に、個人情報の保護、信用失墜行為の禁止等が記載された服務規定確認書の提出を義務付けている。これらは、年度はじめの4月に行っているが、今後も、学校と連携しながら、定期的に地域部活動指導員の状況確認や研修等を実施し、生徒が安全・安心に部活動に取り組めるよう、引き続きこどもの人権を尊重した適切な指導・助言に努めていく。	今後も、学校と連携しながら、定期的に地域部活動指導員の状況確認や研修等を実施し、生徒が安全・安心に部活動に取り組めるよう、引き続きこどもの人権を尊重した適切な指導・助言に努めていく。	未
R8/3	21	谷岡　隆	日本共産党	学校教育部	学習指導課	学校教育について	3	(1)		再質問4	部活動顧問等、教職員の場合には、県教育委員会が作った「教職員の服務に関するガイドライン」があり、子どもの人権、権利を基本に置き、学校という職場でやってはいけないこと、やったらどのような懲戒処分になるか等を具体的な事例をいれて説明している。これは、児童生徒と接するという点で地域部活動指導員をしている人も同じだと思う。しかし、残念ながら生徒に「死ね、馬鹿、カス」等暴言を吐いたり、写真をSNSに投稿してしまうコーチがいると聞いている。ついては、「教職員の服務に関するガイドライン」を地域部活動指導員にも読んでもらい、それに準じた服務を義務付けてはどうか。	県から示されている「信頼される質の高い教職員であり続けるために-教職員の服務に関するガイドライン-」においては、子どもの人権・権利、安全管理、ハラスメント事項、児童生徒性暴力の禁止、服務等について明記されている。これらの事項は、先ほど教育長が答弁したとおり、研修や服務規定確認書にてこれまでも確認をしている。また、文部科学省により部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドラインが策定されており、不適切行為の根絶が示されている。今後も、これらのガイドラインに準じて服務についての確認を徹底するとともに、必要な研修を実施していく。	ガイドラインに準じて服務についての確認を徹底するとともに、必要な研修を実施していく。	未

報 告 事 項（2）

習志野市立習志野高等学校魅力向上アンケート結果報告について

習志野市立習志野高等学校魅力向上アンケート結果について、別紙のとおり報告する。

令和8年10月28日報告

習志野市教育委員会
教育長　小　熊　　隆

習志野高等学校　魅力度向上アンケート調査結果

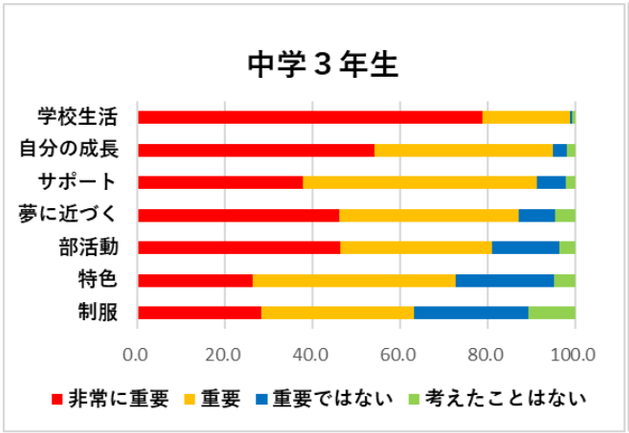
調査概要

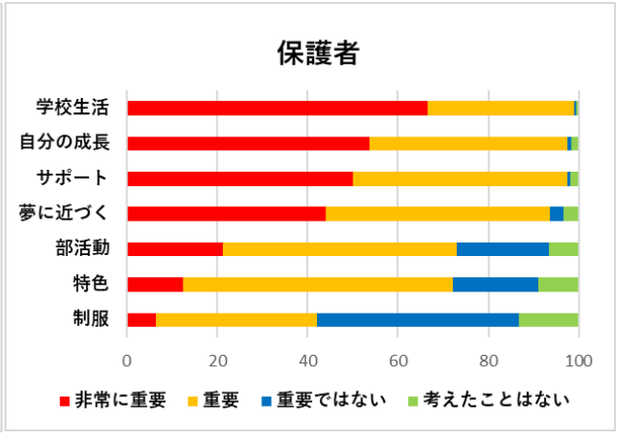
〇調査対象（７月実施）

・市内中学３年生：1,391人	回答者数：1,110人（79.7%）
・市内中学３年生保護者：1,391人	回答者数：660人（47.4%）
・習志野高校在校生：947人	回答者数：660人（69.7%）

中学３年生、保護者アンケートからわかること

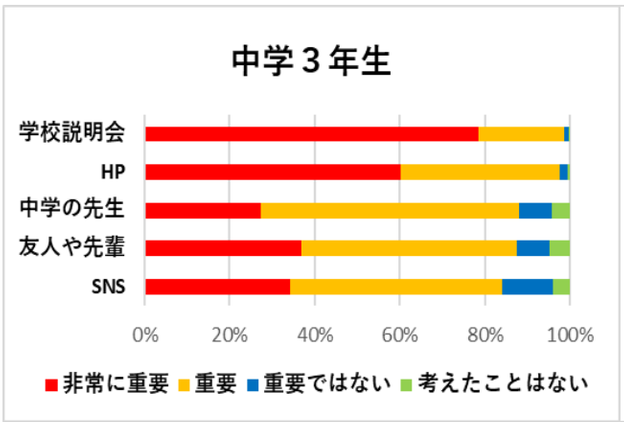
高校選択の「決め手」

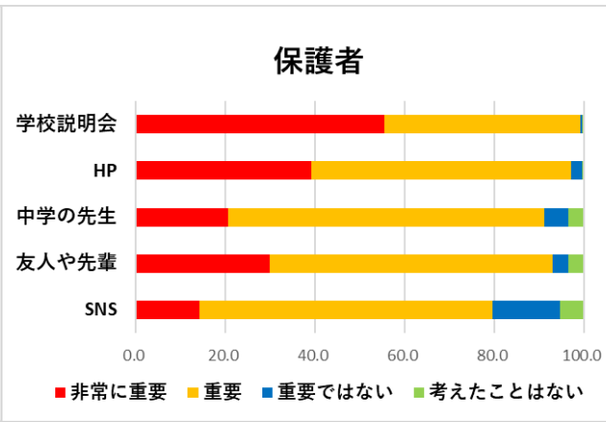




・中学生も保護者も、最も重視するのは**「学校生活のイメージ」**
・その他にも「非常に重要」「重要」を選んだ割合が大きかったのは
「自分の成長」、「サポート体制」、「夢に近づく」 である

情報収集手段



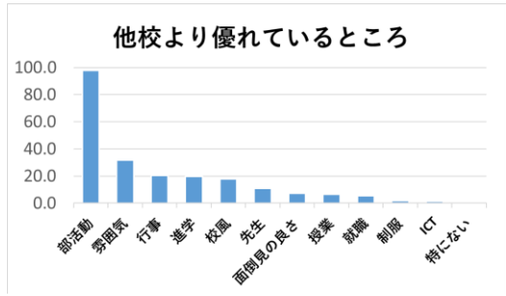


・最も高い割合なのは**「学校説明会」**、次に**「学校ホームページ」**
・中学生は「SNS」も80%以上の割合を占めている

在校生のアンケートからわかる習志野高校の強み

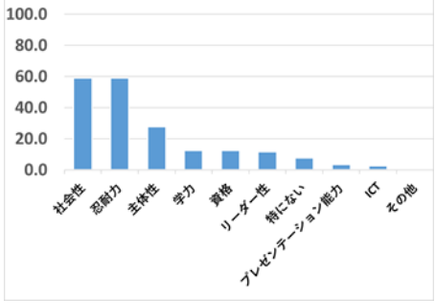
最大の強み…「部活動」

・他校より優れているところで97.7%
・在校生が進路選択で重視する割合は92.7%
・他にも「雰囲気」、「行事」、「進学」などを強みと感じている



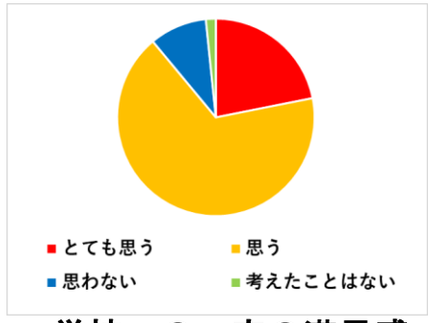
入学して身についた力

・「社会性」58.9%
・「忍耐力」58.9%
・「主体性」27.7%



➡人間的な成長につながっている

後輩に進学を勧めたいか



74.5%が「思う」以上を回答

➡学校への一定の満足感・愛情

魅力向上に向けて

制服について

・中学生：進路選択で制服を重視するか

男性	女性	全体
43.7%	79.1%	61.3%

・在校生：制服満足度

男性	女性	全体
26.3%	13.2%	20.9%

・中学生は進路選択で重視
・在校生の満足度が低い
・特に女性生徒の結果で差が大きい
➡制服の在り方を検討

在校生の制服について**「アイテム追加」または「一新する」**と回答した割合
男性・・・64.3%　女性・・・75.1%

進路支援の充実（保護者アンケートより）

・学習内容、進路支援で「非常に重要」

大学受験サポート	52.7%
大学に向けた学習	51.7%

・説明会の内容で「非常に重要」

進路実績	51.8%
生徒の様子	50.2%

➡進路支援を充実させる

➡進路支援や実績について、**学校説明会、学校ホームページ**を有効活用した情報発信

習志野高校魅力度向上アンケート 分析レポート

対象： 中学 3 年生（1,391 人）・習志野高校生（947 人）中学 3 年生の保護者 （1,391 人）
目的： 高校選択の重視点・制服への意識の把握
高校選択における保護者の重視点・制服への意識把握

Ⅰ．アンケート全体の概要

回答者構成

対象	男性	女性	回答なし	合計
中学 3 年生	548 人	550 人	12 人	1,110 人
習志野高校生	392 人	257 人	11 人	660 人
中学 3 年生保護者	334 人	299 人	27 人	660 人

中学生の希望進路・通学手段（基本情報）

希望進路（全体）

進路	人数	割合
公立高校	814 人	73.3%
私立高校	213 人	19.2%
高専	11 人	1.0%
未定	72 人	6.5%

約 7 割以上が公立高校志望。習志野高校（公立）にとって有利な環境。

高校卒業後の希望（全体）

進路	人数	割合
四年制大学	672 人	60.5%
短大・専門学校	95 人	8.6%
就職	40 人	3.6%
未定	298 人	26.8%
未回答	5 人	0.5%

大学進学志向が最も高い。進学実績・大学受験サポートへの期待が大きいことが示唆される。

Ⅱ．中学 3 年生が高校選択で重視する点

◆ あなたがこの進学先にいきたいと思う決め手は何ですか。「非常に重要」の上位３項目

順位	項目	全体（人）	全体（%）
1	楽しい学校生活が送れる	876	78.9
2	自分を成長させてくれそう	601	54.1
3	部活動が魅力的である	514	46.3

◆ 中学 3 年生の高校選択の「決め手」（非常に重要＋重要の合計）

決め手の項目	非常に重要（%）	重要（%）	合計（%）
学校生活のイメージ	78.9	19.9	98.8
自分の成長	54.1	40.7	94.8
サポート体制	37.9	53.3	91.2
夢に近づく	46.1	41.0	87.1
部活動	46.3	34.8	81.1
特色・行事	26.5	46.2	72.7
制服	28.4	34.9	63.3

「学校生活のイメージ」「自分の成長」「サポート体制」が高校選択の三大決め手。

◆ 中学 3 年生の進学先選択の重視項目（「非常に重要＋重要」全体）

項目	男性（%）	女性（%）	全体（%）
雰囲気・校風	95.3	98.5	96.8
施設	95.3	94.2	94.8
通学しやすさ	94.2	92.9	93.5
希望進路の実現	92.9	91.7	92.4
特色・行事	83.6	87.5	85.3
部活動の充実	84.9	77.3	80.9
制服	43.7	79.1	61.3

男女共に雰囲気・校風や通学のしやすさを重視している。女性は「制服」を重視する傾向。

◆ 中学 3 年生の学校内容・進路への重視度（「非常に重要＋重要」全体）

項目	男性（%）	女性（%）	全体（%）
大学受験サポート	86.7	87.8	87.1
個別進路相談	84.3	85.8	84.9
大学に向けた学習	81.9	85.8	83.8
資格取得	75.2	78.4	76.6
ICT 環境	66.3	50.9	58.8
探求学習	62.6	51.9	57.4
海外留学	48.0	51.8	49.9

中学 3 年生は「大学受験サポート」「個別進路相談」「大学に向けた学習」を特に重視。

◆ 中学 3 年生の学校説明会で重視する内容（「非常に重要＋重要」全体）

項目	男性（%）	女性（%）	全体（%）
授業の様子	97.1	98.2	97.5
生徒の様子	94.7	98.0	96.1
学校行事	94.4	95.0	94.4
部活動の様子	92.5	85.5	88.8
進路実績	85.8	87.6	86.7
卒業生の活躍	67.4	64.2	65.5

中学 3 年生は学校説明会において重視するのは「授業の様子」「生徒の様子」「学校行事」などの普段の学校生活を重視する傾向にある。

◆ 中学 3 年生の参考にする情報源（「非常に重要＋重要」全体）

情報源	男性（%）	女性（%）	全体（%）
学校説明会	98.3	99.1	98.8
HP	96.4	99.1	97.7
中学校の先生	87.6	88.4	87.9
友人・先輩	86.1	89.2	87.5
SNS	80.3	88.2	84.0

中学 3 年生の情報収集は「学校説明会」が最重要（98.8%）。次いで「HP」（97.7%）。

◆ 中学 3 年生の習志野高校の印象

評価	男性（%）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
非常に魅力的	15.0	11.6	147	13.2
魅力的	38.7	35.6	412	37.1
あまり興味がない	32.1	39.1	393	35.4
考えたことはない	14.2	13.6	158	14.2

全体の約 52%が「魅力的」との印象を持つ一方、約 15%が「考えたことはない」との印象を持っており、改善の余地あり。

Ⅲ. 制服に対する意識の分析

◆ 進学先選択における「制服」の重要度（中学 3 年生）

全体・男女別

評価	男性（%）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
非常に重要	11.9	40.7	292	26.3
重要	31.8	38.4	388	35.0
興味がない・重要ではない	38.5	16.9	310	27.9
考えたことはない	17.9	4.0	120	10.8

全体の「非常に重要」または「重要」と合わせて 61.3%で過半数を超えている。
女性は 79.1%と非常に高く、男性は 43.7%にとどまる。

中学別の傾向（「非常に重要」の割合）

中学校	男性（%）	女性（%）	全体（%）
一中	14.8	30.6	21.8
二中	9.7	34.7	22.4
三中	15.4	48.4	30.6
四中	8.0	46.4	28.0
五中	9.3	37.8	24.8
六中	10.0	50.7	29.6
七中	25.0	46.3	36.5

どの中学でも女性の制服重視率が男性を大幅に上回る。特に六中・三中・四中の女性で 50%前後が「非常に重要」と回答。

◆ 中学 3 年生が「この進学先に行きたい」と思う決め手としての「制服」

評価	男性（%）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
非常に重要	13.3	43.5	315	28.4
重要	32.7	37.6	387	34.9
興味がない・重要ではない	37.0	14.9	290	26.1
考えたことはない	17.0	4.0	118	10.6

全体の 63.3%が制服を「重要」以上と評価。特に女性では 81.1%が重要視。

◆ 習志野高校在校生の制服満足度・意識

現在の制服への満足度

評価	男性（%）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
非常に満足	8.4	2.7	41	6.2
満足	17.9	10.5	97	14.7
普通	57.9	44.7	346	52.4
不満	15.8	42.0	176	26.7

在校生の約 27%が不満を持ち、特に女性の 42%が不満。「普通」が最多だが、女性の不満率が高い。

制服についての希望（在校生）

希望	男性（%）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
今のままでよい	29.1	22.2	173	26.2
アイテムを追加してほしい	41.3	31.9	249	37.7
制服を一新してほしい	23.0	43.2	205	31.1
廃止して私服に	5.1	0.8	22	3.3
その他	1.5	1.9	11	1.7

在校生の約 70%が「アイテム追加」または「制服一新」を希望。女性では「一新」希望が 43%と最多。男性は「アイテム追加」が最多（41%）。

Ⅳ.習志野高校生の意識

◆ 習志野高校生徒が考える中学生が高校を選ぶ理由（複数選択・全体）

選択理由	全体（人）	全体（%）
部活動	481	72.9
偏差値・学力	441	66.8
公立・私立の区別	401	60.8
通学時間	376	57.0
制服	242	36.7
学科	160	24.2
学区	104	15.8
友達の動向	84	12.7

習志野高校の生徒は「部活動」「偏差値」「公私立の区別」「通学時間」が高校選択の四大要因と考えている。制服も 36.7%と無視できない割合である。

◆ 習志野高校生徒が他校より優れているところ（上位 3 項目）

優れていると思うもの	男性（%）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
部活動	97.7	97.7	645	97.7
生徒の雰囲気	30.6	33.9	210	31.8
行事	18.1	24.9	135	20.5

習志野高校の生徒は「部活動」について他校より優れているところで 97.7%と最大の強みと考えている。

◆ 習志野高校生徒が高校で身についた力（上位 3 項目）

身についたと感じるもの	男性（%）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
社会性	57.4	60.3	389	58.9
忍耐力	58.2	60.7	389	58.9
主体性	27.6	28.8	183	27.7

習志野高校の生徒は「社会性」や「忍耐力」が 58.9%で同率であり人間的な成長につながっていると捉えられる。

◆ 習志野高校生徒が後輩に勧めたいか

後輩にすすめたいか	男性（%）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
とても勧めたい	16.6	21.8	121	18.3
勧めたい	55.9	57.2	371	56.2
あまり勧めたくない	7.7	7.4	52	7.9
勧めたくない	1.5	0.4	9	1.4
どちらともいえない	18.4	13.2	107	16.2

習志野高校の生徒の 74.5%が勧めたいと回答しているため、学校への一定の満足感・愛情があると考えられる。

Ⅴ. 総合分析・示唆

★魅力向上に向けた重要ポイント

1. 学校生活・雰囲気の発信強化が最優先

中学生の 78.9%が「学校生活のイメージ」を決め手として重視
説明会での生徒の様子・部活動・行事の見せ方が入学者確保に直結

2. 部活動は最大の集客力

中学生が高校を選ぶ決め手として「部活動」(81.1%) であるため
習志野高校在校生は「部活動の充実」を選んだ理由の第 1 位（72.9%が非常に重要）
他校より優れている点でも「部活動」が 97.7%と圧倒的 1 位

3. 制服改革は女子生徒獲得の鍵

女性中学生の約 79%が制服を重要視
在校生女性の 43.2%が「制服一新」を希望、42%が不満と回答
制服の見直しは女子志願者への訴求強化につながる可能性が高い。

4. 進学・進路サポートへの期待

中学生の高校卒業後の希望で四年制大学進学が 60.5%
中学生の決め手として「サポート体制」が 91.2%（重要以上）
外部講師・補習への関心も一定数あり、是非参加したいと参加したい高校生が 40.2%

Ⅵ. まとめ

課題	現状	推奨アクション
制服への不満（特に女性）	在校生女性の 42%が不満	制服デザインの見直し・選択肢の拡充
部活の魅力発信	中学生選択理由 1 位	説明会・HP での部活紹介強化
学校生活のイメージ発信	決め手の最上位	生徒目線のコンテンツ充実
大学進学サポート	中学生の大学進学希望 60.5%	進路指導・外部講師活用の PR
SNS 活用	中学生「非常に重要」34.3%の参考率	公式 SNS の充実・生徒発信の促進

特に制服については、中学生（特に女性）の志願動機に直結する重要課題である。在校生の要望も踏まえた制服改革の検討が、習志野高校の魅力向上に大きく貢献すると考えられる。

中学 3 年生保護者アンケート 分析レポート

対象： 中学 3 年生の保護者 660 人（男性 334 人・女性 299 人・回答なし 27 人）
目的： 高校選択における保護者の重視点・制服への意識把握

Ⅰ．保護者が高校選択で重視する点

◆ 「この進学先に行かせたい」と思う決め手は何ですか。「非常に重要」の上位 3 項目（「非常に重要」の上位 3 項目）

順位	項目	男性（%）	女性（%）	全体（%）
1	学校生活のイメージ	64.7	68.6	66.7
2	自分の成長	52.1	54.8	53.6
3	サポート体制	48.2	51.2	50.2

◆ 進学先選択の重視項目（「非常に重要＋重要」全体）

項目	男性（%）	女性（%）	全体（%）
雰囲気・校風	99.4	98.7	99.0
通学しやすさ	98.8	97.7	98.3
希望進路の実現	96.4	95.0	96.0
施設	91.1	92.3	91.7
特色・行事	85.7	79.0	82.1
部活動の充実	74.3	72.9	73.6
制服	29.3	60.5	44.3

◆ 学校内容・進路への重視度（「非常に重要＋重要」全体）

項目	男性（%）	女性（%）	全体（%）
個別進路相談	92.5	94.0	93.5
大学受験サポート	91.9	90.0	91.2
大学に向けた学習	93.1	89.3	91.4
資格取得	83.3	83.6	83.4
探求学習	81.2	77.3	79.4
ICT 環境	77.3	76.2	77.1
海外留学	50.6	60.9	55.5

保護者は「個別進路相談」「大学受験サポート」「大学に向けた学習」を特に重視。

◆ 説明会で重視する内容（「非常に重要＋重要」全体）

項目	男性（%）	女性（%）	全体（%）
生徒の様子	98.8	98.0	98.5
進路実績	97.9	98.3	98.2
授業の様子	97.6	95.0	96.2
学校行事	94.7	95.3	94.9
部活動の様子	87.1	83.2	85.2
卒業生の活躍	88.9	89.0	88.8

保護者が説明会で最も重視するのは「生徒の様子」「進路実績」「授業の様子」と中学生が「部活動・行事」を重視するのと対照的。

◆ 参考にする情報源（「非常に重要＋重要」全体）

情報源	男性（%）	女性（%）	全体（%）
学校説明会	98.8	99.3	99.1
HP	99.1	95.3	97.1
友人・先輩	95.5	90.6	93.0
中学校の先生	93.2	88.6	91.2
SNS	78.5	80.0	79.5

保護者の情報収集は「学校説明会」が最重要（99.1%）。次いで「HP」（97.1%）。

◆ 習志野高校の印象

評価	男性（%）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
非常に魅力的	10.5	11.4	70	10.6
魅力的	41.6	42.5	274	41.5
あまり興味がない	33.8	29.4	214	32.4
考えたことはない	14.1	16.4	101	15.3

全体の約 52%が「魅力的」との印象を持つ一方、約 15%が「考えたことはない」との印象を持っており、改善の余地あり。

Ⅱ．制服に対する意識（保護者）

◆ 進学先選択における「制服」の重要度

評価	男性（%）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
非常に重要	2.1	11.7	46	7.0
重要	27.2	48.8	246	37.3
興味がない・重要ではない	56.9	33.4	302	45.8
考えたことはない	13.8	5.7	65	9.8

全体の 44.3%が「重要」以上と評価。保護者（男性生徒）は 29.3%にとどまるが、保護者（女性生徒）は 60.5%が重要視。

◆ 高校選択の「決め手」としての制服

評価	男性（%）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
非常に重要	2.1	11.4	43	6.5
重要	25.4	47.2	235	35.6
興味がない・重要ではない	54.8	32.8	294	44.5
考えたことはない	17.7	8.4	87	13.2

決め手としての制服は全体 42.1%が「重要」以上。女性生徒保護者は 58.6%と非常に高い。

Ⅲ. 中学生・保護者の比較分析

◆ 高校選択の重視点（「非常に重要」＋「重要」比較）

項目	中学生（%）	保護者（%）	差
雰囲気・校風	96.8	99.0	+2.2pt
通学しやすさ	93.5	98.3	+4.8pt
施設	94.8	91.7	-3.1pt
希望進路の実現	92.4	96.0	+3.6pt
部活動の充実	80.9	73.6	-7.3pt
制服	61.3	44.3	-17.0pt

保護者は「通学のしやすさ」「夢の実現」を中学生より重視。一方、「部活」「制服」は中学生の方が大幅に重視している。

◆ 制服への意識 比較（「非常に重要」＋「重要」合計）

対象	男性（%）	女性（%）	全体（%）
中学生	43.7	79.1	61.3
保護者	29.3	60.5	44.3

制服重視率について男性は保護者の方が低く、制服への関心は女性が多いことが明確。

◆ 情報収集の参考源 比較（「非常に重要」＋「重要」合計））

情報源	中学生（%）	保護者（%）
学校説明会	98.8	99.1
HP	97.7	97.1
中学校の先生	87.9	91.2
友人・先輩	87.5	93.0
SNS	84.0	79.5

中学生は SNS の重視度が保護者より高い一方、保護者は中学校の先生や友人・先輩も高く参考にしている

Ⅳ. 総合まとめ・提言

保護者・中学生の共通重視点

通重視点	中学生	保護者
学校生活のイメージ	◎	◎
自分の成長・サポート	◎	◎
雰囲気・校風	◎	◎
通学しやすさ	◎	◎
学校説明会の重要性	◎	◎

習志野高校への具体的提言

課題	根拠データ	推奨アクション
制服改革（特に女子向け）	中学生（女性）の約 79%が重要視、在校生（女性）の約 43%が一新希望	制服デザインの見直し・女子向け選択肢の拡充
進路・大学受験サポートの PR	保護者は「大学受験サポート」を強く重視	進路実績・サポート体制を説明会・HP で前面に打ち出す
説明会の内容充実	保護者：進路実績・生徒の様子を重視／中学生：部活・行事を重視	対象別（生徒向け・保護者向け）の説明会プログラムの設計
HP・SNS の充実	HP を参考にする割合は、保護者 97.1%、中学生 97.7%と極めて高い	HP 更新頻度向上・生徒発信の SNS コンテンツ強化
学校生活・雰囲気の発信	中学生・保護者ともに最上位の決め手	在校生インタビュー・学校生活動画等のコンテンツ制作

特に注目すべきは「制服」と「進路サポート」の二点。制服は中学生（女性）の約 79%が重要視しており、在校生の不満も高い。また保護者は大学進学サポートを強く求めており、この両面での改善が習志野高校の魅力向上に大きく寄与すると考えられる。

総括

制服は「女性にとっての高校選択の重要な動機」であり、中学生女性の約 79%が重要視している。在校生の不満も高く、制服改革は習志野高校の女子志願者増加に最も直接的な効果をもたらす施策と考えられる。

一方、中学生・保護者ともに「学校生活のイメージ」「自分の成長」「サポート体制」を最重視しており、これらを説明会・HP・SNS で効果的に発信することが、志願者全体の増加につながる。

習志野高等学校 魅力向上アンケート 結果分析

～中学 3 年生・保護者・在校生の声から見えてくるもの～

１．はじめに

習志野高等学校の魅力向上および志願倍率の増加を目的として、中学 3 年生（1,110 人）、その保護者（660 人）、習志野高校在校生（660 人）を対象にアンケートを実施した。各アンケートの結果を分析し、習志野高校が今後取り組むべき課題と方向性を明らかにする。

２．中学 3 年生の高校選択における意識

（１）高校選択の決め手

中学 3 年生が高校を選ぶ際の決め手として、「非常に重要」と「重要」を合わせた割合が最も高かったのは「学校生活のイメージ」（98.8%）であった。次いで「自分の成長」（94.8%）、「サポート体制」（91.2%）、「夢に近づく」（87.1%）と続き、生徒が高校生活を通じて自分自身をどう成長させられるかを強く意識していることが読み取れる。

（２）進学先選択における重視項目

進学先を選ぶ際に「非常に重要」と「重要」を合わせた割合を項目別に見ると、「雰囲気・校風」（96.8%）が最も高く、次いで「施設」（94.8%）、「通学しやすさ」（93.5%）、「夢の実現」（92.4%）、「特色・行事」（85.3%）と続いた。雰囲気・校風や通学のしやすさといった、日常的な学校生活に直結する要素が上位を占めており、中学生が「自分がその学校で毎日楽しく過ごせるか」を重視していることがわかる。

男女別に見ると、男性は「雰囲気・校風」（95.3%）と「施設」（95.3%）を重視しており次いで「通学のしやすさ」（94.2%）である一方、女性は「雰囲気・校風」（98.5%）を最も重視しており、次いで「施設」（94.2%）男女間で同様の重視度がわかった。制服への重視度は男性（43.7%）と女性（79.1%）で約 35 ポイントもの差があり、制服が女子生徒の高校選択において特別な意味を持つことが明確に示されている。

（３）情報収集の手段

高校選択の際に参考にする情報源として、「学校説明会」が 98.8%で第 1 位となった。次いで「HP」（97.7%）、「友人・先輩」（87.5%）、「SNS」（84.0%）と続いた。学校説明会が依然として最も重要な情報源であることが確認された一方、SNS を参考にする生徒も 8 割を超えており、デジタルを活用した情報発信の重要性も高まっている。

３．保護者の高校選択における意識

（１）進学先選択における重視項目

保護者が進学先選択において「非常に重要」と「重要」を合わせた割合が最も高かったのは「学校の雰囲気・校風」（99.0%）であり、次いで「通学しやすさ」（98.3%）、「希望進路の実現につながること」（96.0%）と続いた。中学生と同様に学校の雰囲気・校風や通学のしやすさが上位を占めているが、保護者は「希望進路の実現につながること」を中学生（92.4%）より高く評価しており（96.0%）、子どもの将来への意識が強く反映されている。

（２）高校選択の決め手

保護者においても、高校選択の決め手として最も重視されたのは「学校生活のイメージ」（99.0%）であり、中学生と同様の傾向を示した。次いで「サポート体制」(97.5%)、「自分の成長」(97.4%)、「夢に近づく」(93.6%）と続いた。保護者は中学生と比較して「サポート体制」をより重視しており、子どもが高校でしっかりと支援を受けられるかどうかを強く意識していることがうかがえる。

学校内容・進路サポートに関しては、「個別進路相談」(93.5%)「大学受験サポート」(91.2%)と「大学に向けた学習」(91.4%）が特に高く、保護者が大学進学を強く意識していることが明らかである。これは中学生の同項目（大学受験サポート 87.1%・大学に向けた学習 83.8%）と比較して大幅に高く、保護者の方が大学進学への関心が強いことを示している。この傾向は、習志野高校が進学実績や大学受験サポートを積極的にアピールすることが、保護者の支持獲得に直結することを意味している。

（３）説明会への期待

説明会で重視する内容について、保護者は「生徒の様子」(98.5%）と「進路実績」(98.2%)を重視していた。一方、中学生は「生徒の様子」(96.1%）は保護者と同様の意識であるが「学校行事」(94.4%)「部活の様子」(88.8%)を重視しており、両者のニーズには明確な違いがある。中学生が学校生活の楽しさや活気を求めているのに対し、保護者は子どもの将来につながる進路実績や、実際の生徒の様子を通じた学校の雰囲気を確認したいという意識が強い。この違いを踏まえ、説明会において中学生と保護者それぞれのニーズに応えるプログラム設計が求められる。

（４）習志野高校の印象

習志野高校の印象について、保護者の約 52%が「非常に良い」または「良い」と回答した一方、約 15%が「考えたことはない」と回答しており、情報発信する余地がある。学校の魅力を積極的に発信し、ネガティブな印象を払拭する取り組みが必要である。

４．制服に対する意識

（１）中学生の制服への意識

進学先選択における制服の重要度について、中学生全体では「非常に重要」(26.3%）と「重要」(35.0%）を合わせた 61.3%が重要視していた。しかし男女別に見ると、その差は顕著である。男性では「非常に重要」が 11.9%、「重要」が 31.8%で合計 43.7%にとどまるのに対し、女性では「非常に重要」が 40.7%、「重要」が 38.4%で合計 79.1%に達した。制服は女子生徒にとって、高校選択における極めて重要な判断基準となっていることが明らかである。

中学校別に見ると、「非常に重要」と回答した女性の割合は、六中（50.7%)、三中（48.4%)、四中（46.4%)、七中（46.3%）で特に高く、いずれも約半数の女子生徒が制服を「非常に重要」と感じている。また、七中は男性においても 25.0%と全中学校の中で最も高く、男女ともに制服への関心が高い学校であることが特徴的である。

高校選択の「決め手」としての制服についても、全体の 63.3%が「重要以上」と回答しており、特に女性では 81.1%が制服を決め手として重視している。制服が単なる服装の問題にとどまらず、学校選択の動機として機能していることを示している。

（２）保護者の制服への意識

保護者においても、制服への意識は女性を中心に高い。進学先選択における制服の重要度について、保護者全体では「重要以上」が 44.3%であるが、女性保護者では 60.5%であった。一方、男性保護者では 29.3%にとどまり、制服への関心はあることは明確に示されている。

制服が女性にとって高校選択の重要な判断基準として高いことを意味しており、制服の改善が女子志願者の増加に効果をもたらす可能性を強く示唆している。

制服についての希望を尋ねた設問では、「今のままでよい」が 26.2%にとどまり、「アイテムを追加してほしい」（37.7%）と「制服を一新してほしい」（31.1%）を合わせた約 69%の在校生が何らかの変更を望んでいる。男性は「アイテムを追加してほしい」（41.3%）が最多であるのに対し、女性は「制服を一新してほしい」（43.2%）が最多であり、特に女性において制服の抜本的な見直しへの要望が強い。

これらの結果は、制服改革が在校生の学校満足度向上と、将来の志願者増加の両面において重要な課題であることを示している。中学生・保護者・在校生の三者が一致して制服改善を求めており、早期の対応が求められる。

５．習志野高校の強みと課題

（１）強み

在校生アンケートにおいて、他校より優れている点として「部活動」が 97.7%と圧倒的な第 1 位となった。次いで「生徒の雰囲気・友人関係」（31.8%）、「行事」（20.5%）と続いた。部活動は習志野高校の最大の強みであり、中学生の高校選択の「決め手」（81.1%）と上位の意識である。この強みを最大限に活用した情報発信が、志願者増加に直結すると考えられる。

また、在校生が習志野高校で身についた力として、「社会性」（58.9%）と「忍耐力」（58.9%）が同率で最も高く、次いで「主体性」（27.7%）が続いた。これらは中学生が高校生活で身につけたいと考えている力とも一致しており、習志野高校の教育が生徒の成長ニーズに応えていることを示している。この点を積極的に発信することで、「自分が成長できる学校」としてのイメージを高めることができる。

習志野高校を後輩に勧めたいかという設問では、「非常に勧めたい」（18.3%）と「勧めたい」（56.2%）を合わせた 74.5%が推薦意向を示した。在校生の高い満足度と推薦意向は、口コミによる志願者増加の可能性を示しており、在校生を「学校の広報大使」として活用することも有効な施策となりうる。

（２）在校生の制服への意識

習志野高校の在校生に対して現在の制服への満足度を尋ねたところ、「非常に満足」（6.2%）と「満足」（14.7%）を合わせた満足度はわずか 20.9%にとどまった。特に女性では満足度が 13.2%と低く、42.0%が「考えたことはない・不満」と回答している。男性でも満足度は 26.3%である。

（３）課題

一方で、課題も明確に浮かび上がった。制服については前述の通りであるが、それ以外にも習志野高校の満足度において「施設」への不満（10.5%）や、「交通アクセス」への不満（5.9%）と回答している。これらは学校の魅力を損なう要因となりうる。

６．まとめ

本アンケートの結果から、習志野高校の魅力向上と志願倍率増加に向けて、以下の点が特に重要であることが明らかになった。

①	制服改革の早期実施	女性中学生の約 79%が制服を重要視し、在校生の約 70%が改善を望んでいる。制服の刷新は、女子志願者の増加と在校生の満足度向上の両面において最も即効性の高い施策と考えられる。
②	学校生活・雰囲気の積極的な情報発信	中学生・保護者ともに「学校生活のイメージ」を高校選択の最大の決め手としており、SNS・動画・説明会を通じてリアルな学校生活を継続的に発信することが求められる。
③	部活動の強みを活かした広報強化	部活動は中学生の高校選択理由の第 1 位であり、習志野高校の最大の強みでもある。説明会での部活体験・見学の充実や、SNS での部活動紹介を強化することで、部活動を目的とした志願者の獲得が期待できる。
④	保護者向けの進路・大学受験サポートの PR 強化	保護者の 52.7%が大学受験サポートを最重視しており、進路実績や支援体制を説明会・HP で積極的に発信することが保護者の支持獲得に直結する。

これらの施策を総合的かつ計画的に推進することで、習志野高校の魅力が広く認知され、志願倍率の増加につながることが期待される。教育委員会学校教育課としては、学校と連携しながらこれらの取り組みを支援・推進していくことが重要である。

中学３年生　総回答数1110人（男性548人、女性550人、性別回答なし12人）

質問内容	非常に重要・非常に魅力的・非常に知りたい等						重要・魅力的・知りたい等						興味がない・重要ではない・参考にしない等						考えたことはない等					
回答1110人	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
進学先・夢の実現	269	49.1	211	38.4	487	43.9	240	43.8	293	53.3	538	48.5	24	4.4	21	3.8	45	4.1	15	2.7	25	4.5	40	3.6
進学先・雰囲気校風	308	56.2	357	64.9	672	60.5	214	39.1	185	33.6	403	36.3	20	3.6	7	1.3	27	2.4	6	1.1	1	0.2	8	0.7
進学先・部活充実	251	45.8	199	36.2	455	41.0	214	39.1	226	41.1	443	39.9	62	11.3	106	19.3	171	15.4	21	3.8	19	3.5	41	3.7
進学先・特色・行事	176	32.1	205	37.3	385	34.7	282	51.5	276	50.2	562	50.6	67	12.2	55	10.0	125	11.3	23	4.2	14	2.5	38	3.4
進学先・制服	65	11.9	224	40.7	292	26.3	174	31.8	211	38.4	388	35.0	211	38.5	93	16.9	310	27.9	98	17.9	22	4.0	120	10.8
進学先・通学しやすさ	302	55.1	292	53.1	601	54.1	214	39.1	219	39.8	437	39.4	26	4.7	34	6.2	61	5.5	6	1.1	5	0.9	11	1.0
進学先・施設	269	49.1	250	45.5	523	47.1	253	46.2	268	48.7	529	47.7	22	4.0	29	5.3	51	4.6	4	0.7	3	0.5	7	0.6
内容・大学に向けた学習	209	38.1	203	36.9	416	37.5	240	43.8	269	48.9	514	46.3	60	10.9	43	7.8	104	9.4	39	7.1	35	6.4	76	6.8
内容・資格取得	127	23.2	104	18.9	233	21.0	251	45.8	280	50.9	536	48.3	136	24.8	128	23.3	268	24.1	34	6.2	38	6.9	73	6.6
内容・探求学習	110	20.1	57	10.4	170	15.3	233	42.5	228	41.5	467	42.1	165	30.1	224	40.7	391	35.2	40	7.3	41	7.5	82	7.4
内容・ICT	115	21.0	53	9.6	172	15.5	248	45.3	227	41.3	481	43.3	140	25.5	216	39.3	358	32.3	45	8.2	54	9.8	99	8.9
内容・海外留学	102	18.6	106	19.3	210	18.9	161	29.4	179	32.5	344	31.0	193	35.2	178	32.4	376	33.9	92	16.8	87	15.8	180	16.2
進路・大学受験	240	43.8	264	48.0	510	45.9	235	42.9	219	39.8	457	41.2	46	8.4	31	5.6	78	7.0	27	4.9	36	6.5	65	5.9
進路・就職支援	178	32.5	160	29.1	343	30.9	277	50.5	273	49.6	554	49.9	56	10.2	65	11.8	122	11.0	37	6.8	52	9.5	91	8.2
進路・個別相談	193	35.2	198	36.0	394	35.5	269	49.1	274	49.8	548	49.4	55	10.0	47	8.5	104	9.4	31	5.7	31	5.6	64	5.8
進路・資格取得	158	28.8	145	26.4	307	27.7	254	46.4	286	52.0	543	48.9	92	16.8	70	12.7	164	14.8	44	8.0	49	8.9	96	8.6
進路・卒業生交流	102	18.6	92	16.7	197	17.7	262	47.8	269	48.9	533	48.0	134	24.5	130	23.6	268	24.1	50	9.1	59	10.7	112	10.1
力入れたい・学習	295	53.8	301	54.7	605	54.5	218	39.8	232	42.2	451	40.6	35	6.4	14	2.5	49	4.4	0	0	3	0.5	5	0.5
力入れたい・部活	295	53.8	216	39.3	517	46.6	171	31.2	208	37.8	381	34.3	66	12.0	111	20.2	179	16.1	16	2.9	15	2.7	33	3.0
力入れたい・友人	375	68.4	370	67.3	749	67.5	152	27.7	165	30.0	322	29.0	17	3.1	14	2.5	32	2.9	4	0.7	1	0.2	7	0.6
力入れたい・資格	133	24.3	110	20.0	247	22.3	243	44.3	291	52.9	536	48.3	146	26.6	120	21.8	270	24.3	26	4.7	29	5.3	57	5.1
力入れたい・ボラ	49	8.9	37	6.7	87	7.8	195	35.6	199	36.2	398	35.9	224	40.9	225	40.9	453	40.8	80	14.6	89	16.2	172	15.5
説明会・授業の様子	303	55.3	330	60.0	640	57.7	229	41.8	210	38.2	442	39.8	15	2.7	10	1.8	25	2.3	1	0.18	0	0	3	0.3
説明会・生徒の様子	314	57.3	361	65.6	683	61.5	205	37.4	178	32.4	384	34.6	27	4.9	10	1.8	38	3.4	2	0.4	1	0.2	5	0.5
説明会・部活の様子	354	64.6	308	56.0	668	60.2	153	27.9	162	29.5	317	28.6	33	6.0	68	12.4	103	9.3	8	1.5	12	2.2	22	2.0
説明会・進路実績	219	40.0	212	38.5	436	39.3	251	45.8	270	49.1	526	47.4	72	13.1	56	10.2	129	11.6	6	1.1	12	2.2	19	1.7
説明会・学校行事	305	55.7	360	65.5	670	60.4	212	38.7	162	29.5	377	34.0	27	4.9	24	4.4	54	4.9	4	0.7	4	0.7	9	0.8
説明会・卒業生活躍	127	23.2	83	15.1	212	19.1	242	44.2	270	49.1	515	46.4	147	26.8	166	30.2	318	28.6	32	5.8	31	5.6	65	5.9
参考・HP	305	55.7	354	64.4	667	60.1	223	40.7	191	34.7	417	37.6	17	3.1	3	0.5	20	1.8	3	0.5	2	0.4	6	0.5
参考・SNS	170	31.0	208	37.8	381	34.3	270	49.3	277	50.4	552	49.7	86	15.7	46	8.4	134	12.1	22	4.0	19	3.5	43	3.9
参考・学校説明会	416	75.9	446	81.1	871	78.5	123	22.4	99	18.0	225	20.3	8	1.5	2	0.4	10	0.9	1	0.2	3	0.5	4	0.4
参考・中学校の先生	158	28.8	139	25.3	302	27.2	322	58.8	347	63.1	674	60.7	46	8.4	40	7.3	87	7.8	22	4.0	24	4.4	47	4.2
参考・友人や先輩	195	35.6	207	37.6	408	36.8	277	50.5	284	51.6	563	50.7	52	9.5	32	5.8	87	7.8	24	4.4	27	4.9	52	4.7
決め手・夢に近づく	284	51.8	222	40.4	512	46.1	192	35.0	260	47.3	455	41.0	46	8.4	45	8.2	92	8.3	26	4.7	23	4.2	51	4.6
決め手・学校生活	409	74.6	456	82.9	876	78.9	128	23.4	92	16.7	221	19.9	5	0.9	1	0.18	6	0.5	6	1.1	1	0.2	7	0.6
決め手・サポート	203	37.0	212	38.5	421	37.9	288	52.6	299	54.4	592	53.3	40	7.3	32	5.8	73	6.6	17	3.1	7	1.3	24	2.2
決め手・特色	155	28.3	134	24.4	294	26.5	243	44.3	268	48.7	513	46.2	120	21.9	126	22.9	250	22.5	30	5.5	22	4.0	53	4.8
決め手・部活動	273	49.8	235	42.7	514	46.3	189	34.5	194	35.3	386	34.8	67	12.2	101	18.4	170	15.3	19	3.5	20	3.6	40	3.6
決め手・自分成長	330	60.2	265	48.2	601	54.1	197	35.9	251	45.6	452	40.7	16	2.9	20	3.6	36	3.2	5	0.9	14	2.5	21	1.9
決め手・制服	73	13.3	239	43.5	315	28.4	179	32.7	207	37.6	387	34.9	203	37.0	82	14.9	290	26.1	93	17.0	22	4.0	118	10.6
習志野高校の印象	82	15.0	64	11.6	147	13.2	212	38.7	196	35.6	412	37.1	176	32.1	215	39.1	393	35.4	78	14.2	75	13.6	158	14.2

中学３年生保護者　回答数６６０人（男性３３４人、女性２９９人、回答しない２７人）

質問内容	非常に重要・非常に魅力的・非常に知りたい等						重要・魅力的・知りたい等						興味がない・重要ではない・参考にしない等						考えたことはない等					
回答660人	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
進学先・夢の実現	173	51.8	145	48.5	333	50.5	149	44.6	139	46.5	300	45.5	9	2.7	7	2.3	16	2.4	3	0.9	7	2.3	10	1.5
進学先・雰囲気校風	180	53.9	162	54.2	358	54.2	152	45.5	133	44.5	296	44.8	2	0.6	2	0.7	4	0.6	0	0	1	0.3	1	0.2
進学先・部活充実	78	23.4	46	15.4	129	19.5	170	50.9	172	57.5	357	54.1	73	21.9	65	21.7	145	22.0	13	3.9	15	5.0	28	4.2
進学先・特色・行事	50	15.0	31	10.4	86	13.0	236	70.7	205	68.6	456	69.1	40	12.0	54	18.1	100	15.2	8	2.4	8	2.7	17	2.6
進学先・制服	7	2.1	35	11.7	46	7.0	91	27.2	146	48.8	246	37.3	190	56.9	100	33.4	302	45.8	46	13.8	17	5.7	65	9.8
進学先・通学しやすさ	173	51.8	156	52.2	344	52.1	157	47.0	136	45.5	305	46.2	3	0.9	6	2.0	9	1.4	1	0.3	0	0.0	1	0.2
進学先・施設	72	21.6	74	24.7	157	23.8	232	69.5	202	67.6	448	67.9	25	7.5	17	5.7	43	6.5	5	1.5	5	1.7	11	1.7
内容・大学に向けた学習	176	52.7	149	49.8	341	51.7	135	40.4	118	39.5	262	39.7	8	2.4	17	5.7	26	3.9	15	4.5	14	4.7	30	4.5
内容・資格取得	103	30.8	88	29.4	197	29.8	193	57.8	173	57.9	384	58.2	18	5.4	22	7.4	42	6.4	20	6.0	15	5.0	36	5.5
内容・探求学習	72	21.6	58	19.4	134	20.3	199	59.6	173	57.9	390	59.1	31	9.3	36	12.0	71	10.8	32	9.6	31	10.4	64	9.7
内容・ICT	56	16.8	39	13.0	98	14.8	202	60.5	189	63.2	411	62.3	37	11.1	37	12.4	77	11.7	39	11.7	33	11.0	73	11.1
内容・海外留学	29	8.7	38	12.7	69	10.5	140	41.9	144	48.2	297	45.0	84	25.1	63	21.1	154	23.3	81	24.3	53	17.7	139	21.1
進路・大学受験	178	53.3	154	51.5	348	52.7	129	38.6	115	38.5	254	38.5	11	3.3	19	6.4	30	4.5	16	4.8	10	3.3	27	4.1
進路・就職支援	58	17.4	68	22.7	133	20.2	150	44.9	128	42.8	291	44.1	58	17.4	48	16.1	108	16.4	68	20.4	54	18.1	127	19.2
進路・個別相談	147	44.0	116	38.8	273	41.4	162	48.5	165	55.2	344	52.1	16	4.8	12	4.0	28	4.2	9	2.7	5	1.7	14	2.1
進路・資格取得	77	23.1	70	23.4	151	22.9	201	60.2	180	60.2	399	60.5	37	11.1	28	9.4	69	10.5	19	5.7	20	6.7	40	6.1
進路・卒業生交流	49	14.7	32	10.7	87	13.2	201	60.2	181	60.5	396	60.0	39	11.7	38	12.7	82	12.4	45	13.5	47	15.7	94	14.2
力入れたい・学習	142	42.5	113	37.8	268	40.6	178	53.3	177	59.2	369	55.9	11	3.3	7	2.3	18	2.7	3	0.9	1	0.3	4	0.6
力入れたい・部活	77	23.1	46	15.4	129	19.5	180	53.9	178	59.5	373	56.5	60	18.0	56	18.7	122	18.5	17	5.1	18	6.0	35	5.3
力入れたい・友人	115	34.4	97	32.4	221	33.5	202	60.5	185	61.9	404	61.2	8	2.4	12	4.0	21	3.2	9	2.7	4	1.3	13	2.0
力入れたい・資格	40	12.0	46	15.4	90	13.6	227	68.0	188	62.9	431	65.3	46	13.8	43	14.4	93	14.1	21	6.3	21	7.0	45	6.8
力入れたい・ボラ	16	4.8	12	4.0	29	4.4	145	43.4	148	49.5	305	46.2	103	30.8	84	28.1	195	29.5	70	21.0	54	18.1	130	19.7
説明会・授業の様子	110	32.9	105	35.1	222	33.6	216	64.7	179	59.9	413	62.6	7	2.1	12	4.0	21	3.2	1	0.3	2	0.7	3	0.5
説明会・生徒の様子	158	47.3	160	53.5	331	50.2	172	51.5	133	44.5	319	48.3	4	1.2	4	1.3	8	1.2	0	0	1	0.3	1	0.2
説明会・部活の様子	112	33.5	85	28.4	203	30.8	179	53.6	164	54.8	359	54.4	34	10.2	37	12.4	75	11.4	9	2.7	12	4.0	22	3.3
説明会・進路実績	173	51.8	152	50.8	342	51.8	154	46.1	142	47.5	306	46.4	4	1.2	2	0.7	6	0.9	3	0.9	2	0.7	5	0.8
説明会・学校行事	75	22.5	81	27.1	161	24.4	241	72.2	204	68.2	465	70.5	13	3.9	10	3.3	24	3.6	5	1.5	3	1.0	9	1.4
説明会・卒業生活躍	90	26.9	83	27.8	182	27.6	207	62.0	183	61.2	404	61.2	26	7.8	22	7.4	51	7.7	11	3.3	10	3.3	22	3.3
参考・HP	127	38.0	120	40.1	258	39.1	204	61.1	165	55.2	383	58.0	3	0.9	11	3.7	16	2.4	0	0	2	0.7	2	0.3
参考・SNS	46	13.8	45	15.1	94	14.2	216	64.7	194	64.9	431	65.3	54	16.2	42	14.0	99	15.0	18	5.4	17	5.7	35	5.3
参考・学校説明会	182	54.5	168	56.2	366	55.5	148	44.3	129	43.1	288	43.6	3	0.9	0	0.0	3	0.5	1	0.3	1	0.3	2	0.3
参考・中学校の先生	69	20.7	59	19.7	136	20.6	242	72.5	206	68.9	466	70.6	12	3.6	22	7.4	35	5.3	11	3.3	11	3.7	22	3.3
参考・友人や先輩	102	30.5	84	28.1	197	29.8	217	65.0	187	62.5	417	63.2	4	1.2	17	5.7	23	3.5	11	3.3	10	3.3	22	3.3
決め手・夢に近づく	145	43.4	131	43.8	290	43.9	170	50.9	146	48.8	328	49.7	7	2.1	13	4.3	20	3.0	12	3.6	8	2.7	21	3.2
決め手・学校生活	216	64.7	205	68.6	440	66.7	114	34.1	91	30.4	213	32.3	2	0.6	1	0.3	3	0.5	2	0.6	1	0.3	3	0.5
決め手・サポート	161	48.2	153	51.2	331	50.2	164	49.1	138	46.2	312	47.3	1	0.3	3	1.0	4	0.6	8	2.4	4	1.3	12	1.8
決め手・特色	46	13.8	32	10.7	83	12.6	203	60.8	176	58.9	393	59.5	51	15.3	68	22.7	125	18.9	34	10.2	22	7.4	58	8.8
決め手・部活動	80	24.0	55	18.4	140	21.2	167	50.0	161	53.8	342	51.8	65	19.5	63	21.1	135	20.5	22	6.6	19	6.4	42	6.4
決め手・自分成長	174	52.1	164	54.8	354	53.6	151	45.2	127	42.5	289	43.8	2	0.6	4	1.3	6	0.9	7	2.1	3	1.0	10	1.5
決め手・制服	7	2.1	34	11.4	43	6.5	85	25.4	141	47.2	235	35.6	183	54.8	98	32.8	294	44.5	59	17.7	25	8.4	87	13.2
習志野高校の印象	35	10.5	34	11.4	70	10.6	139	41.6	127	42.5	274	41.5	113	33.8	88	29.4	214	32.4	47	14.1	49	16.4	101	15.3

習志野高校生　回答数６６０人（男性３９２人、女性２５７人、回答しない１１人）

質問内容	非常に重要・とても満足等						重要・満足等						興味がない・重要ではない・普通等						考えたことはない・不満等						どちらとも言えない					
回答660人	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）	男性（人）	男性（%）	女性（人）	女性（%）	全体（人）	全体（%）
進学先・夢の実現	62	15.8	31	12.1	97	14.7	191	48.7	136	52.9	328	49.7	92	23.5	61	23.7	154	23.3	47	12.0	29	11.3	81	12.3	—	—	—	—	—	—
進学先・雰囲気校風	80	20.4	78	30.4	163	24.7	229	58.4	150	58.4	382	57.9	56	14.3	25	9.7	83	12.6	27	6.9	4	1.6	32	4.8	—	—	—	—	—	—
進学先・部活充実	269	68.6	178	69.3	452	68.5	99	25.3	59	23.0	160	24.2	19	4.8	16	6.2	38	5.8	5	1.3	4	1.6	10	1.5	—	—	—	—	—	—
進学先・特色・行事	71	18.1	53	20.6	126	19.1	196	50.0	133	51.8	332	50.3	92	23.5	55	21.4	151	22.9	33	8.4	16	6.2	51	7.7	—	—	—	—	—	—
進学先・制服	18	4.6	12	4.7	32	4.8	49	12.5	37	14.4	86	13.0	197	50.3	162	63.0	363	55.0	128	32.7	46	17.9	179	27.1	—	—	—	—	—	—
進学先・通学しやすさ	106	27.0	66	25.7	177	26.8	169	43.1	109	42.4	279	42.3	93	23.7	71	27.6	166	25.2	24	6.1	11	4.3	38	5.8	—	—	—	—	—	—
進学先・施設	45	11.5	22	8.6	70	10.6	175	44.6	114	44.4	292	44.2	133	33.9	102	39.7	237	35.9	39	9.9	19	7.4	61	9.2	—	—	—	—	—	—
習高選択・夢の実現	50	12.8	34	13.2	86	13.0	188	48.0	126	49.0	316	47.9	106	27.0	71	27.6	178	27.0	48	12.2	26	10.1	80	12.1	—	—	—	—	—	—
習高選択・雰囲気校風	82	20.9	77	30.0	161	24.4	215	54.8	145	56.4	365	55.3	64	16.3	28	10.9	94	14.2	31	7.9	7	2.7	40	6.1	—	—	—	—	—	—
習高選択・部活充実	269	68.6	189	73.5	462	70.0	95	24.2	53	20.6	153	23.2	19	4.8	11	4.3	32	4.8	9	2.3	4	1.6	13	2.0	—	—	—	—	—	—
習高選択・特色・行事	66	16.8	57	22.2	125	18.9	194	49.5	130	50.6	327	49.5	99	25.3	60	23.3	162	24.5	33	8.4	10	3.9	46	7.0	—	—	—	—	—	—
習高選択・制服	14	3.6	4	1.6	19	2.9	47	12.0	18	7.0	65	9.8	208	53.1	183	71.2	394	59.7	123	31.4	52	20.2	182	27.6	—	—	—	—	—	—
習高選択・通学しやすさ	104	26.5	64	24.9	172	26.1	163	41.6	105	40.9	270	40.9	100	25.5	75	29.2	177	26.8	25	6.4	13	5.1	41	6.2	—	—	—	—	—	—
習高選択・施設	40	10.2	19	7.4	60	9.1	170	43.4	98	38.1	272	41.2	143	36.5	121	47.1	266	40.3	39	9.9	19	7.4	62	9.4	—	—	—	—	—	—
習高満足度・授業	65	16.6	35	13.6	101	15.3	190	48.5	136	52.9	330	50.0	122	31.1	83	32.3	211	32.0	15	3.8	3	1.2	18	2.7	—	—	—	—	—	—
習高満足度・先生	81	20.7	53	20.6	137	20.8	193	49.2	125	48.6	324	49.1	116	29.6	79	30.7	197	29.8	2	0.5	0	0.0	2	0.3	—	—	—	—	—	—
習高満足度・友人	157	40.1	104	40.5	266	40.3	171	43.6	100	38.9	274	41.5	59	15.1	51	19.8	113	17.1	5	1.3	2	0.8	7	1.1	—	—	—	—	—	—
習高満足度・行事	104	26.5	74	28.8	179	27.1	186	47.4	120	46.7	311	47.1	91	23.2	60	23.3	156	23.6	11	2.8	3	1.2	14	2.1	—	—	—	—	—	—
習高満足度・部活	187	47.7	111	43.2	300	45.5	142	36.2	91	35.4	238	36.1	52	13.3	47	18.3	101	15.3	11	2.8	8	3.1	21	3.2	—	—	—	—	—	—
習高満足度・進路指導	68	17.3	41	16.0	110	16.7	187	47.7	116	45.1	308	46.7	132	33.7	99	38.5	236	35.8	5	1.3	1	0.4	6	0.9	—	—	—	—	—	—
習高満足度・ICT環境	62	15.8	37	14.4	102	15.5	166	42.3	111	43.2	280	42.4	157	40.1	107	41.6	269	40.8	7	1.8	2	0.8	9	1.4	—	—	—	—	—	—
習高満足度・施設	60	15.3	30	11.7	90	13.6	162	41.3	94	36.6	259	39.2	134	34.2	103	40.1	242	36.7	36	9.2	30	11.7	69	10.5	—	—	—	—	—	—
習高満足度・交通	80	20.4	29	11.3	110	16.7	138	35.2	88	34.2	228	34.5	157	40.1	120	46.7	283	42.9	17	4.3	20	7.8	39	5.9	—	—	—	—	—	—
習高満足度・資格サポ	60	15.3	36	14.0	98	14.8	154	39.3	90	35.0	247	37.4	169	43.1	128	49.8	303	45.9	9	2.3	3	1.2	12	1.8	—	—	—	—	—	—
習高満足度・放課後	93	23.7	55	21.4	151	22.9	156	39.8	108	42.0	267	40.5	131	33.4	85	33.1	220	33.3	12	3.1	9	3.5	22	3.3	—	—	—	—	—	—
習高満足度・制服	33	8.4	7	2.7	41	6.2	70	17.9	27	10.5	97	14.7	227	57.9	115	44.7	346	52.4	62	15.8	108	42.0	176	26.7	—	—	—	—	—	—
習高満足度・校則	76	19.4	25	9.7	103	15.6	141	36.0	61	23.7	202	30.6	166	42.3	155	60.3	328	49.7	9	2.3	16	6.2	27	4.1	—	—	—	—	—	—
習高を勧めたいか	65	16.6	56	21.8	121	18.3	219	55.9	147	57.2	371	56.2	30	7.7	19	7.4	52	7.9	6	1.5	1	0.4	9	1.4	72	18.4	34	13.2	107	16.2
他校より優れ・授業	35	8.9	8	3.1	43	6.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他校より優れ・面倒見	32	8.2	17	6.6	49	7.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他校より優れ・部活	383	97.7	251	97.7	645	97.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他校より優れ・進学	74	18.9	55	21.4	131	19.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他校より優れ・就職	25	6.4	11	4.3	36	5.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他校より優れ・先生	46	11.7	26	10.1	72	10.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他校より優れ・校風	75	19.1	43	16.7	118	17.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他校より優れ・雰囲気	120	30.6	87	33.9	210	31.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他校より優れ・行事	71	18.1	64	24.9	135	20.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他校より優れ・ICT	7	1.8	2	0.8	9	1.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他校より優れ・制服	6	1.5	5	1.9	12	1.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他校より優れ・特にない	4	1.0	0	0.0	4	0.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
入学前とのギャップ	70	17.9	47	18.3	119	18.0	238	60.7	161	62.6	404	61.2	39	9.9	24	9.3	65	9.8	45	11.5	24	9.3	72	10.9	—	—	—	—	—	—
身についた力・社会性	225	57.4	155	60.3	389	58.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
身についた力・学力	53	13.5	28	10.9	83	12.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
身についた力・資格	50	12.8	31	12.1	82	12.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
身についた力・ICT	10	2.6	6	2.3	18	2.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
身についた力・プレゼン	17	4.3	5	1.9	22	3.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
身についた力・主体性	108	27.6	74	28.8	183	27.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
身についた力・リーダー	46	11.7	28	10.9	76	11.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
身についた力・忍耐力	228	58.2	156	60.7	389	58.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
身についた力・特にない	32	8.2	19	7.4	51	7.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
身についた力・その他	3	0.8	3	1.2	7	1.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
制服・今のまま	114	29.1	57	22.2	173	26.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
制服・アイテム追加	162	41.3	82	31.9	249	37.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
制服・一新	90	23.0	111	43.2	205	31.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
制服・廃止し私服	20	5.1	2	0.8	22	3.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
制服・その他	6	1.5	5	1.9	11	1.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中が選ぶ理由・公立私立	256	65.3	139	54.1	401	60.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中が選ぶ理由・偏差値	262	66.8	172	66.9	441	66.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中が選ぶ理由・通学時間	225	57.4	143	55.6	376	57.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中が選ぶ理由・学区	55	14.0	44	17.1	104	15.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中が選ぶ理由・学科	91	23.2	65	25.3	160	24.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中が選ぶ理由・制服	115	29.3	120	46.7	242	36.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中が選ぶ理由・友達動向	51	13.0	31	12.1	84	12.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中が選ぶ理由・部活	290	74.0	186	72.4	481	72.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部講師・参加するか	26	6.6	6	2.3	33	5.0	124	31.6	100	38.9	232	35.2	181	46.2	124	48.2	305	46.2	50	12.8	22	8.6	74	11.2	11	2.8	5	1.9	16	2.4
補習希望・国算	94	24.0	59	23.0	155	23.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
補習希望・英語	113	28.8	61	23.7	178	27.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
補習希望・小論プレ	110	28.1	83	32.3	197	29.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
補習希望・検定対策	110	28.1	74	28.8	189	28.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
補習希望・特にない	112	28.6	71	27.6	185	28.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
補習希望・その他	11	2.8	4	1.6	17	2.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部講師は魅力アップ	84	21.4	48	18.7	135	20.5	256	65.3	165	64.2	427	64.7	39	9.9	43	16.7	84	12.7	13	3.3	1	0.4	14	2.1	—	—	—	—	—	—
部活動・満足	214	54.6	127	49.4	345	52.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
部活動・やや満足	113	28.8	80	31.1	196	29.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
部活動・どちらとも	36	9.2	29	11.3	65	9.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
部活動・やや不満	9	2.3	12	4.7	22	3.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
部活動・不満	7	1.8	3	1.2	11	1.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
部活動・無所属	13	3.3	6	2.3	21	3.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

報 告 事 項（3）

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について、別紙のとおり報告する。

令和8年10月28日報告

習志野市教育委員会

教育長　小　熊　　隆

令和８年　第 10 回　教育委員会定例会
令和８年 10 月 28 日(水)　学習指導課

令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果

（調査結果を受けて　今後の取組）

１．調査の概要

（１）調査実施日

教科に関する調査（中学校英語以外）：令和８年４月 23 日（木）
中学校英語　生徒質問調査　　：令和８年４月 20 日（月）～23 日（木）
（読むこと・書くこと・聞くこと）
中学校英語（話すこと）　　：令和８年４月 28 日（火）～5 月 29 日（金）
児童質問調査、後日実施の期間　　：令和８年４月 24 日（金）～5 月　8 日（金）

（２）調査対象：小学校第６学年、中学校第３学年

本市の実施状況	実施校数	実施した児童生徒数(名)			
		国語	算数・数学	英語	質問調査
小学校	16 校	1,463	1,463		1,476
中学校	7 校	1,248	1,250	1,245	1,223

※上記より各調査結果における N 値表記は省略

（３）調査方法

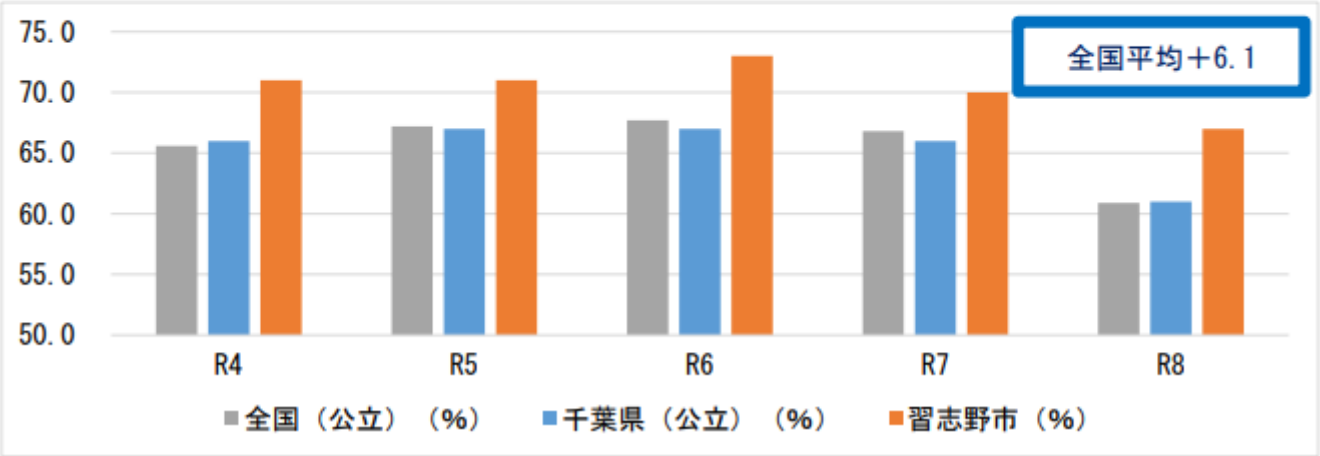
小学校　①教科に関する調査【国語・算数】：冊子を用いた筆記方式
②児童質問調査：オンライン方式
中学校　①教科に関する調査【国語・数学】：冊子を用いた筆記方式
②教科に関する調査【英語】・生徒質問調査：MEXCBT を用いたオンライン方式
※ＭＥＸＣＢＴ(文部科学省ＣＢＴシステム)とは
ＧＩＧＡスクール構想により児童生徒１人１台タブレット端末の環境が整備されたことを踏まえ、児童生徒が学校や家庭において、国や地方自治体等の公共機関等が作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアセスメントができる公的ＣＢＴプラットフォーム。

２．【小学校】教科に関する調査の結果

小学校　国語

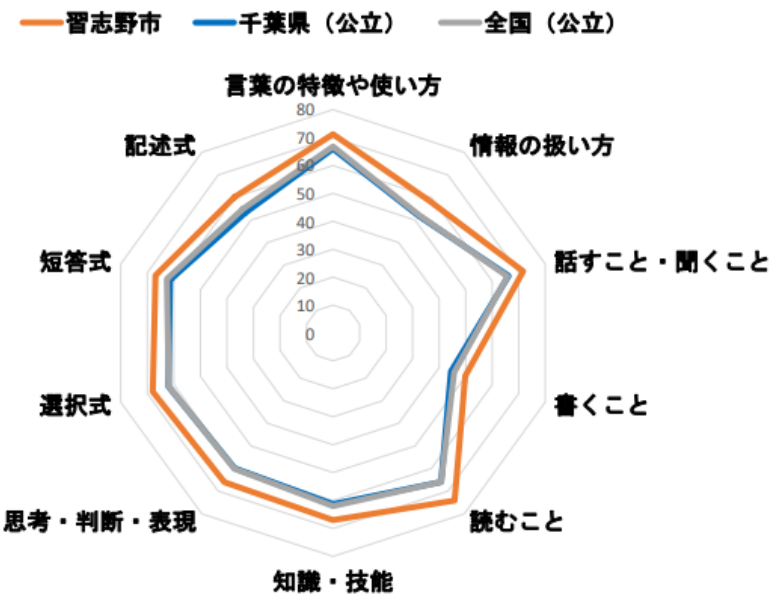
（１）平均正答率と経年変化

	R4	R5	R6	R7	R8
全国（公立）（%）	65.6	67.2	67.7	66.8	60.9
千葉県（公立）（%）	66.0	67.0	67.0	66.0	61.0
習志野市（%）	**71.0**	**71.0**	**73.0**	**70.0**	**67.0**



（２）学習指導要領・評価の観点・問題形式ごと平均正答率

分類		区分	対象問題数（問）	平均正答率（%） 習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）
全体			13	**67.0**	61.0	60.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	**71.2**	66.0	66.8
		(2)情報の扱い方に関する事	2	**58.6**	52.0	52.3
		(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	**71.7**	66.2	65.8
		B 書くこと	2	**49.8**	44.5	45.7
		C 読むこと	2	**74.2**	65.9	65.9
評価の観点		知識・技能	6	**67.0**	61.3	62.0
		思考・判断・表現	7	**66.1**	59.9	60.1
問題形式		選択式	9	**67.9**	62.0	61.9
		短答式	2	**66.9**	61.4	62.6
		記述式	2	**60.1**	53.3	54.9



（３）結果の分析〔思考力、判断力、表現力等の内容〕

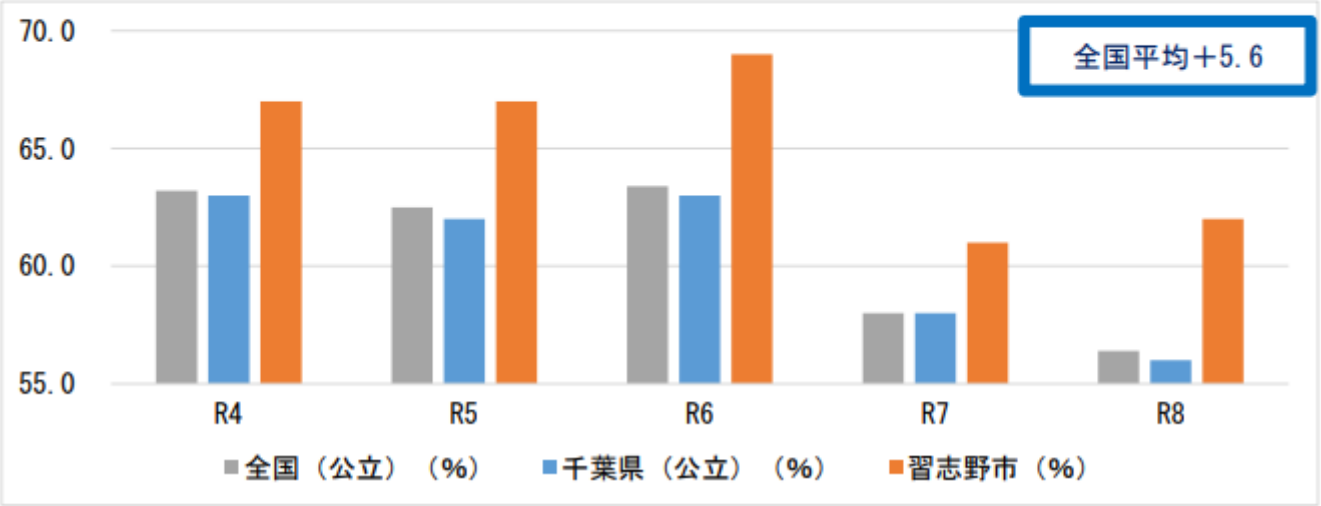
〇文章を読んで理解したことを、自分の経験と結び付けて考えをまとめる力が身に付いている。

△必要な情報を引用し、自分の考えが伝わるように書き表すことに課題がある。

小学校　算数

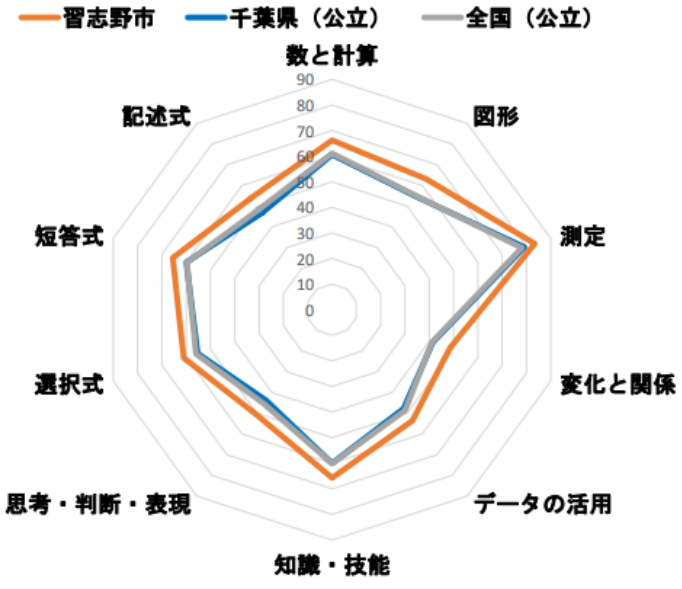
（１）平均正答率と経年変化

	R4	R5	R6	R7	R8
全国（公立）（%）	63.2	62.5	63.4	58.0	56.4
千葉県（公立）（%）	63.0	62.0	63.0	58.0	56.0
習志野市（%）	**67.0**	**67.0**	**69.0**	**61.0**	**62.0**



（２）学習指導要領・評価の観点・問題形式ごと平均正答率

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%） 習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）
全体		16	**62.0**	56.0	56.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	**66.2**	60.6	61.1
	B 図形	4	**63.0**	55.0	55.3
	C 測定	1	**83.4**	79.1	78.1
	C 変化と関係	3	**48.5**	41.4	41.1
	D データの活用	4	**53.6**	47.7	48.6
評価の観点	知識・技能	12	**65.7**	60.0	60.1
	思考・判断・表現	4	**50.5**	43.8	45.4
問題形式	選択式	5	**61.0**	55.3	56.0
	短答式	8	**65.5**	59.9	59.7
	記述式	3	**53.9**	46.7	48.5



（３）結果の分析

〇日常生活の場面から必要な情報を読み取り、数量を求める力が身に付いている。

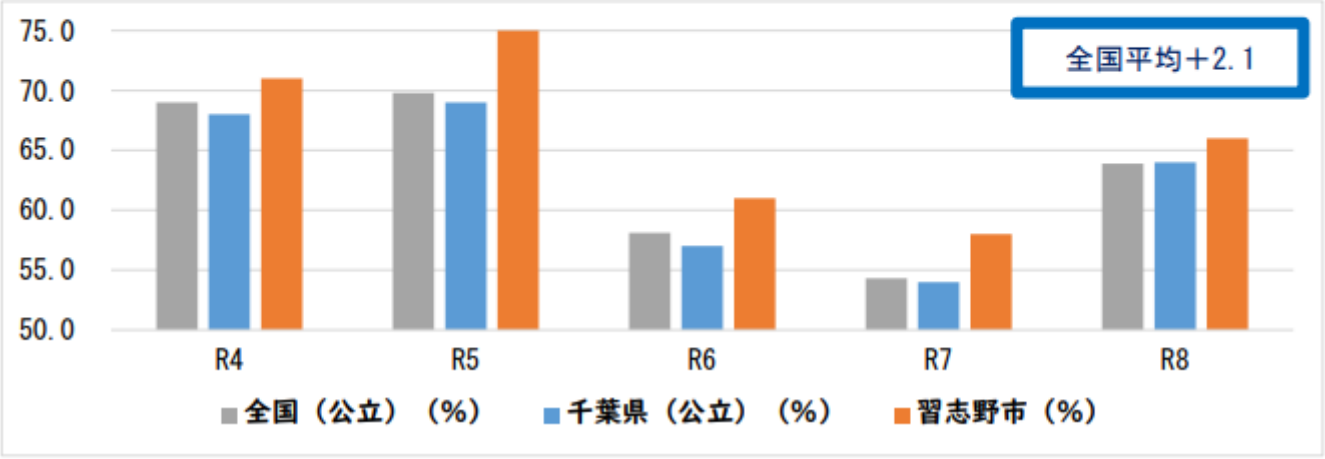
△二次元の表から条件に合う情報を読み取ることや、割合の関係を図で表すことに課題がある。

３．【中学校】教科に関する調査の結果

中学校　国語

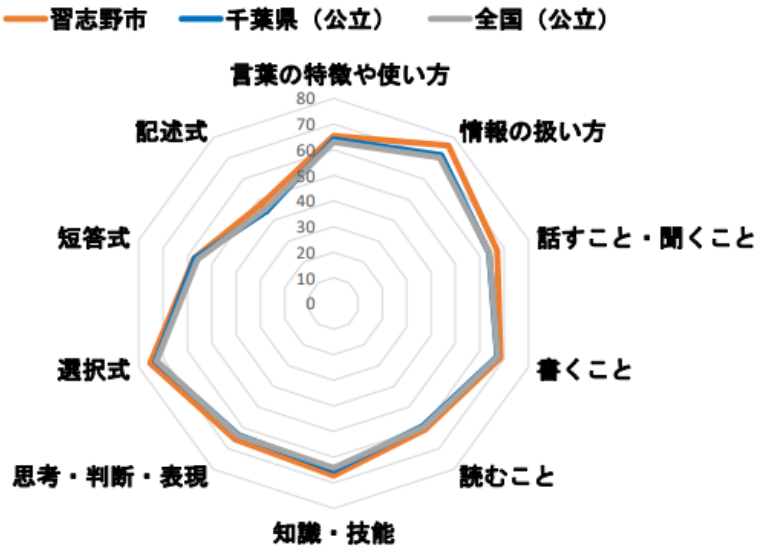
（１）平均正答率と経年変化

	R4	R5	R6	R7	R8
全国（公立）（%）	69.0	69.8	58.1	54.3	63.9
千葉県（公立）（%）	68.0	69.0	57.0	54.0	64.0
習志野市（%）	**71.0**	**75.0**	**61.0**	**58.0**	**66.0**



（２）学習指導要領・評価の観点・問題形式ごと平均正答率

分類		区分	対象問題数（問）	平均正答率（%） 習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）
全体			15	66.0	64.0	63.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	65.4	64.0	63.0
		(2)情報の扱い方に関する事	1	76.2	71.6	70.4
		(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	67.1	63.8	63.9
		B 書くこと	3	68.5	67.2	67.4
		C 読むこと	3	60.8	59.2	59.7
評価の観点		知識・技能	6	67.2	65.2	64.2
		思考・判断・表現	9	65.5	63.4	63.7
問題形式		選択式	9	75.3	73.1	72.7
		短答式	3	57.2	56.9	55.8
		記述式	3	47.9	44.5	45.5



（３）結果の分析〔思考力、判断力、表現力等の内容〕

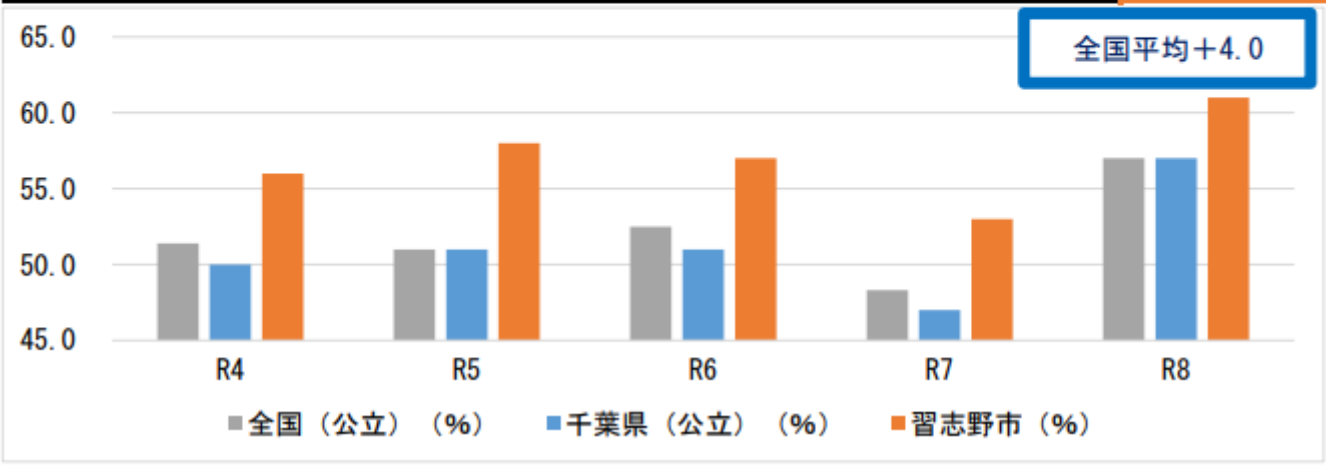
〇漢字や表現の工夫、話合いに関する力が身に付いている。

△文章の文脈から語句の意味を捉えることや、文章を読んで自分の考えを説明することに課題がある。

中学校　数学

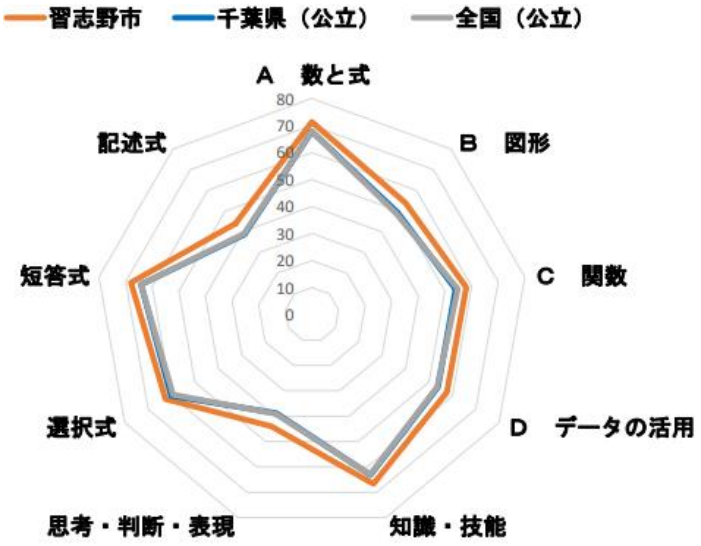
（１）平均正答率と経年変化

	R4	R5	R6	R7	R8
全国（公立）（%）	51.4	51.0	52.5	48.3	57.0
千葉県（公立）（%）	50.0	51.0	51.0	47.0	57.0
習志野市（%）	**56.0**	**58.0**	**57.0**	**53.0**	**61.0**



（２）学習指導要領・評価の観点・問題形式ごと平均正答率

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%） 習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）
全体		16	**61.0**	57.0	57.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	**71.3**	67.8	67.8
	B 図形	4	**53.9**	49.3	48.7
	C 関数	3	**58.0**	54.0	54.8
	D データの活用	4	**57.6**	53.8	53.5
評価の観点	知識・技能	12	**66.7**	63.2	63.0
	思考・判断・表現	4	**44.0**	38.8	39.1
問題形式	選択式	3	**62.6**	60.1	59.3
	短答式	9	**68.0**	64.2	64.2
	記述式	4	**44.0**	38.8	39.1



（３）結果の分析

〇基礎的な知識・技能や図形、データの活用で良好な結果が見られる。

△根拠を明確にして、数学的な表現で説明する力の育成が必要である。

（１）平均正答率と経年変化

中学校　英語

①R5（平均正答率）　　※3 年に一度実施

全国（公立）（%）	千葉県（公立）（%）	習志野市（%）
45.6	46.0	**52.0**

R8（ＩＲＴスコア）

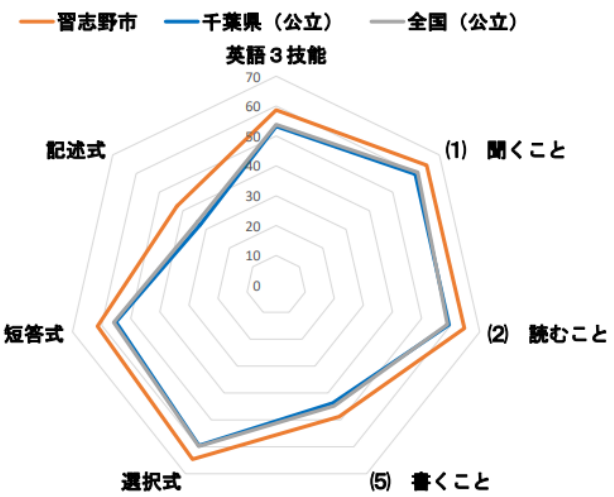
全国（公立）	千葉県（公立）	習志野市
499.0	499.0	**516.0**

全国平均＋17

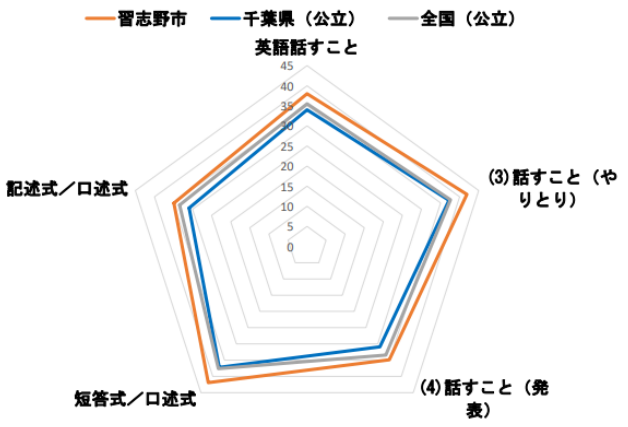
※IRT スコア・・IRT に基づいた各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表します。導入する年の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

（２）学習指導要領・評価の観点・問題形式ごと平均正答率

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%） 習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）
英語３技能（公開問題のみ）		16	59.0	53.0	53.8
学習指導要領の領域	（１）聞くこと	5	61.4	59.7	60.7
	（２）読むこと	5	63.3	59.4	58.9
	（５）書くこと	6	50.5	43.8	44.8
問題形式	選択式	10	62.4	59.5	59.8
	短答式	2	61.4	55.1	55.8
	記述式	4	39.5	32.5	33.8



分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%） 習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）
話すこと（公開問題のみ）		7	38.0	34.0	35.5
学習指導要領の領域	（３）話すこと（やり取り）	3	41.9	37.2	37.6
	（４）話すこと（発表）	4	34.9	30.9	33.4
問題形式	短答式／口述式	3	41.9	37.2	37.6
	記述式／口述式	4	34.9	30.9	33.4



（３）結果の分析

〇必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりすることができている。

△まとまりのある英文を読み、要点を捉えて自分の考えや理由を書くことに課題がある。

４．児童生徒質問調査の結果（抜粋）〔単位％〕

（１）朝食を毎日食べていますか【生活習慣】

【小学校】

	習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）	R7 習志野市
当てはまる	87.2	83.0	83.1	87.2
どちらかといえば、当てはまる	8.7	10.0	10.2	8.3
どちらかといえば、当てはまらない	3.0	5.0	4.9	3.3
当てはまらない	0.9	1.8	1.6	1.2
無回答	0.1	0.3	0.2	0.0

【中学校】

	習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）	R7 習志野市
当てはまる	82.1	77.2	78.4	82.5
どちらかといえば、当てはまる	10.3	13.0	12.5	9.8
どちらかといえば、当てはまらない	5.2	6.4	6.1	4.9
当てはまらない	2.2	3.2	2.8	2.7
無回答	0.2	0.2	0.2	0.1

（２）学校の授業以外に普段（平日）、１日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか【学習習慣】

【小学校】

	習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）	R7 習志野市
3 時間以上	14.0	11.1	10.5	14.1
2 時間以上、3 時間より少ない	12.0	10.7	11.1	13.1
1 時間以上、2 時間より少ない	29.3	26.2	28.3	28.2
30 分以上、1 時間より少ない	28.2	29.0	29.1	27.2
30 分より少ない	12.7	15.8	14.5	11.7
全くしない	3.5	6.3	5.7	5.4
無回答	0.5	0.8	0.7	0.1

【中学校】

	習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）	R7 習志野市
3 時間以上	12.3	10.3	8.9	12.3
2 時間以上、3 時間より少ない	23.5	22.7	21.1	23.6
1 時間以上、2 時間より少ない	33.3	31.5	31.5	32.8
30 分以上、1 時間より少ない	15.6	17.4	19.5	15.2
30 分より少ない	8.7	10.6	11.5	8.5
全くしない	5.9	6.9	6.9	7.0
無回答	0.7	0.5	0.4	0.7

（３）学校の授業以外に普段(平日)、１日あたりどれくらいの時間、読書をしますか【読書等】

【小学校】

	習志野市	千葉県(公立)	全国(公立)	R7 習志野市
2 時間以上	**4.8**	5.5	5.0	7.2
1 時間以上、2 時間より少ない	**8.1**	7.3	6.9	11.2
30 分以上、1 時間より少ない	**15.8**	14.6	14.2	18.3
10 分以上、30 分より少ない	**21.2**	20.1	20.0	22.3
10 分より少ない	**12.2**	15.0	15.1	15.5
全くしない	**21.8**	25.2	26.3	25.2
無回答	**16.1**	12.4	12.4	0.4

【中学校】

	習志野市	千葉県(公立)	全国(公立)	R7 習志野市
2 時間以上	**3.4**	3.3	3.0	3.3
1 時間以上、2 時間より少ない	**7.0**	5.4	4.9	7.7
30 分以上、1 時間より少ない	**13.2**	10.7	10.1	10.4
10 分以上、30 分より少ない	**16.6**	17.9	15.6	23.1
10 分より少ない	**11.2**	13.5	12.9	13.2
全くしない	**35.2**	37.0	40.7	38.6
無回答	**13.4**	12.3	12.9	3.8

回答の傾向：本市の回答率は全体として全国平均・県平均を上回る傾向にありますが、読書に関する項目では下回る結果が見られます。加えて、昨年度と比較して一部の質問で数値の低下が見られます。

（４）自分には、よいところがあると思いますか【自己有用感等】

【小学校】

	習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）	R7 習志野市
当てはまる	41.6	43.0	43.6	44.6
どちらかといえば、当てはまる	43.2	42.3	42.0	40.3
どちらかといえば、当てはまらない	10.8	9.9	9.8	9.7
当てはまらない	4.1	4.4	4.3	5.3
無回答	0.3	0.3	0.3	0.0

【中学校】

	習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）	R7 習志野市
当てはまる	35.1	39.4	41.0	37.6
どちらかといえば、当てはまる	44.1	43.1	43.0	46.5
どちらかといえば、当てはまらない	16.5	12.1	11.3	12.7
当てはまらない	4.1	5.0	4.5	3.0
無回答	0.2	0.3	0.2	0.2

（５）先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか【自己有用感等】

【小学校】

	習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）	R7 習志野市
当てはまる	44.8	50.5	53.4	44.7
どちらかといえば、当てはまる	44.6	40.0	38.0	43.5
どちらかといえば、当てはまらない	7.4	6.7	6.1	9.2
当てはまらない	3.0	2.4	2.1	2.4
無回答	0.2	0.5	0.5	0.1

【中学校】

	習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）	R7 習志野市
当てはまる	37.5	45.5	46.7	41.1
どちらかといえば、当てはまる	51.3	44.7	44.2	49.0
どちらかといえば、当てはまらない	8.3	6.8	6.4	7.5
当てはまらない	2.2	2.5	2.3	1.7
無回答	0.6	0.4	0.3	0.8

回答の傾向：いずれの質問においても、本市の『当てはまる』の回答率は全国平均・県平均を下回っています。

（６）あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか【ICTを活用した学習状況】

【小学校】

	習志野市	千葉県(公立)	全国(公立)	R7 習志野市
とてもそう思う	46.0	48.1	49.5	35.0
そう思う	31.2	30.1	29.6	41.4
あまりそう思わない	10.9	10.7	10.0	17.8
そう思わない	4.1	4.2	3.8	5.7
無回答	7.7	6.9	7.1	0.1

【中学校】

	習志野市	千葉県(公立)	全国(公立)	R7 習志野市
とてもそう思う	46.0	50.8	52.6	31.8
そう思う	36.1	32.9	32.2	49.5
あまりそう思わない	10.4	9.4	8.7	14.0
そう思わない	4.4	3.2	2.9	4.0
無回答	3.2	3.7	3.6	0.8

（７）あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか【ICTを活用した学習状況】

【小学校】

	習志野市	千葉県(公立)	全国(公立)	R7 習志野市
とてもそう思う	30.8	31.8	32.8	23.4
そう思う	35.4	36.4	36.7	41.3
あまりそう思わない	20.0	19.1	17.9	29.1
そう思わない	6.2	5.2	4.8	6.1
無回答	7.6	7.5	7.8	0.1

【中学校】

	習志野市	千葉県(公立)	全国(公立)	R7 習志野市
とてもそう思う	24.4	29.6	32.0	16.8
そう思う	35.6	36.7	37.4	36.6
あまりそう思わない	27.2	23.3	20.9	34.7
そう思わない	9.7	6.4	5.7	10.3
無回答	3.1	4.0	4.0	1.5

回答の傾向：いずれの質問においても、本市の『当てはまる』の回答率は全国平均・県平均を下回っています。ただし、昨年度と比較すると、いずれも改善が見られ、より高い数値となっています。

（８）５年生（中学２年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか【主体的・対話的で深い学び】

【小学校】

	習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）	R7 習志野市
当てはまる	26.4	27.1	28.3	25.5
どちらかといえば、当てはまる	50.1	49.4	49.3	54.6
どちらかといえば、当てはまらない	18.6	18.2	17.4	17.3
当てはまらない	3.8	3.2	2.8	2.5
無回答	1.1	2.1	2.2	0.2

【中学校】

	習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）	R7 習志野市
当てはまる	21.6	25.9	27.0	18.5
どちらかといえば、当てはまる	52.4	52.2	51.8	55.8
どちらかといえば、当てはまらない	21.4	18.1	17.4	21.0
当てはまらない	3.4	2.8	2.9	3.5
無回答	1.1	1.1	0.9	1.1

（９）学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか【主体的・対話的で深い学び】

【小学校】

	習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）	R7 習志野市
当てはまる	41.5	41.4	43.5	36.8
どちらかといえば、当てはまる	43.5	43.2	42.2	45.5
どちらかといえば、当てはまらない	11.3	11.3	10.6	13.5
当てはまらない	2.7	2.7	2.4	3.3
学級の友達との間で話し合う活動を行っていない	0.7	0.8	0.7	0.7
無回答	0.3	0.6	0.6	0.2

【中学校】

	習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）	R7 習志野市
当てはまる	34.3	37.4	39.6	33.9
どちらかといえば、当てはまる	50.8	48.7	47.4	46.0
どちらかといえば、当てはまらない	11.1	9.8	9.1	13.7
当てはまらない	1.8	2.4	2.3	3.0
学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない	1.6	1.0	1.1	1.8
無回答	0.5	0.7	0.5	1.6

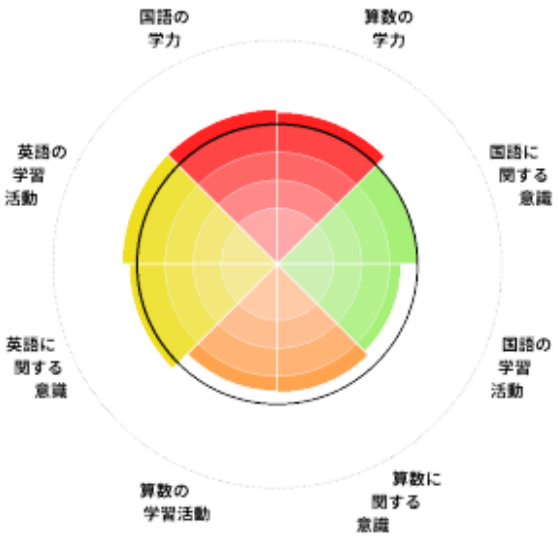
回答の傾向：いずれの質問においても、本市の『当てはまる』の回答率は全国平均・県平均を下回っています。ただし、昨年度と比較すると、いずれも改善が見られ、より高い数値となっています。

５．調査結果のまとめ

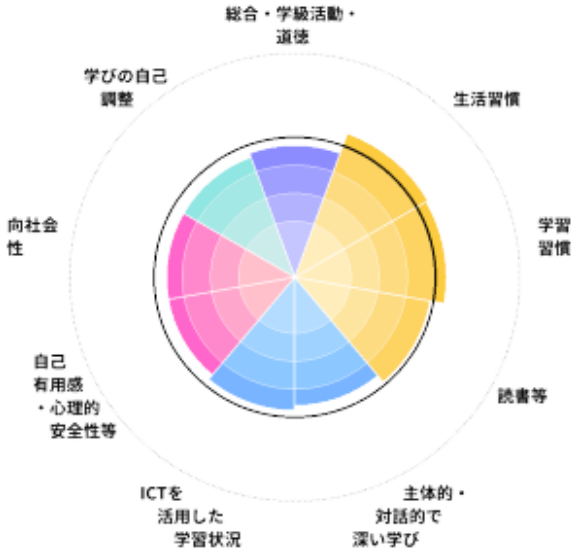
教科（国語、算数・数学、英語）に係る調査＝赤色、生徒質問調査=その他の色をチャートにまとめました。
・内側の円（点線）は全国平均を示しています。
・各領域に共通点がある場合などは便宜的に同色で示しています。

【全国学力・学習状況調査の結果チャート（**小学校**）】

［教科を中心とした学力・学習状況］
（全国基準）

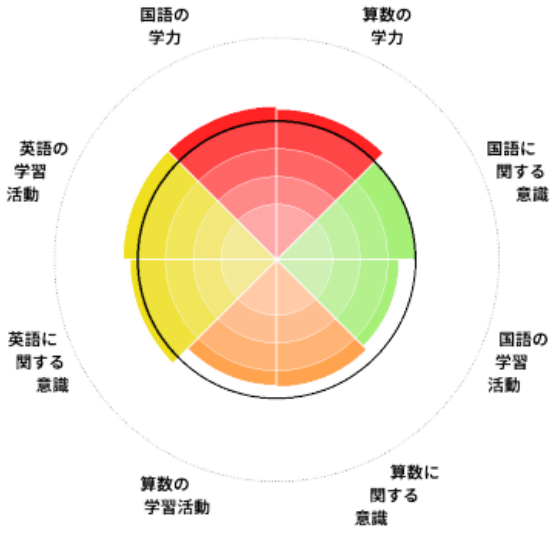


［その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）］
（全国基準）

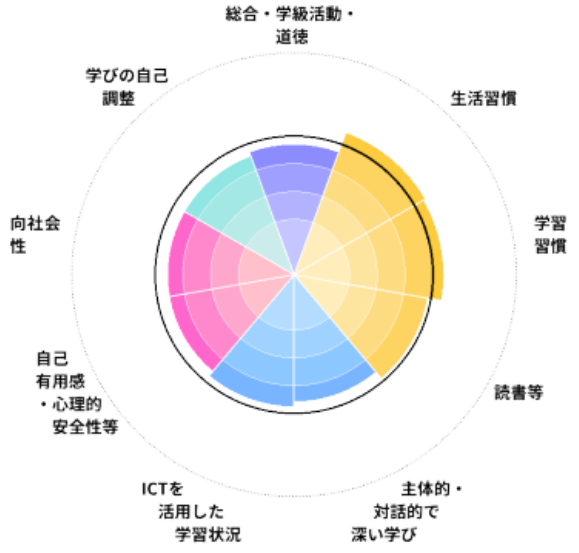


【全国学力・学習状況調査の結果チャート（**中学校**）】

［教科を中心とした学力・学習状況］
（全国基準）



［その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）］
（全国基準）



・小学校、中学校ともに以下のおおよそ似た傾向を示している。
・学力（赤色）、生活習慣・読書等は全国平均を上回っている。
・一方、その他の質問調査の項目が全国平均を下回る傾向がある。**＝課題**

６．全国平均と比較し、学力が高いが自己有用感が低いという相関関係

（１）近隣市との数値比較（令和７年度全国学力・学習状況調査）

比較指標・項目	習志野市	浦安市	市川市	船橋市	全国公立平均（基準値）
小学校国語（平均正答率）	70.0	72.0	68.0	67.0	66.8
小学校算数（平均正答率）	61.0	66.0	58.0	59.0	58.0
中学校国語（平均正答率）	58.0	58.0	55.0	55.0	54.3
中学校算数（平均正答率）	53.0	55.0	49.0	50.0	48.3
中学校理科（IRT）（平均正答率）	515	514	492	502	503

（２）質問紙調査（自己有用感・承認実感・自己評価）

自治体名	（令和７年度）質問調査項目および公表数値	データから読み取れる背景と構造的特徴
習志野市	「自分には良いところがある」 小 44.6%（全国 47.3%） 中 37.6%（全国 40.7%） 「先生に認められている」 小 44.7%（全国 55.3%） 中 41.1%（全国 46.6%）	【高学力×自己有用感の慎重差】 全教科で高学力を堅持しながらも、自己有用感・承認実感の最高肯定率が全国平均を下回る（船橋市・市川市と共通）
浦安市	「学んだことを生かし自分の考えをまとめる活動」 肯定層正答率 小国 74.9%　小算 70.1% 否定層 小国 63.0%　小算 53.0%	【まとめ活動と学力の相関】 自ら思考をまとめる活動を行う児童生徒ほど正答率が 10～17pt 高く、主体的・対話的学びが直接連動
市川市	「国語が得意だ」 「授業内容がよく分かる」 肯定的割合が全国以下 「課題解決に向け自分で考えを取り組んだ」 小 76.9%（全国 80.3%）	【自己評価の控えめさ】 学力成績は良好（下位層が少ない）でありながら、自身の理解度や主体的な取り組みに関する自己評価数値が慎重
船橋市	「先生は自分のよいところを認めてくれている」 最高肯定「当てはまる」 小学校 46.4%（全国 55.3%比▲8.9pt）	【承認実感の数値ギャップ】 学力は全国平均以上であるにもかかわらず、先生からの承認実感の最高肯定率が全国を大きく下回る構造が明示

※八千代市：全体数値が未公表のため除外。
※質問項目：各公表している共通指標（承認感・自己有用感）を摘出して比較。

（３）自己有用感と学力の多層的分析

（１）の近隣市との数値比較および（２）の質問調査結果を踏まえ、令和 8 年 4 月調査結果（「習志野学びモデル」導入前のベースラインデータ）を、１．本市の傾向　２．自治体レベルの傾向　３．学校レベルの実態という 3 つの視点から整理・分析しました。

１．本市の傾向（令和 8 年度）

学力の水準

本市の全教科の平均正答率は以下の通りで、全国平均を大幅に上回る高い水準を維持しています。

小学校：国語 67.0%、算数 62.0%
中学校：国語 66.0%、数学 61.0%、英語 IRT516.0

自己有用感の状況

児童生徒質問調査における「自分には、よいところがある」という自己有用感の最肯定回答率（「当てはまる」）は以下の通りで、全国平均を下回る傾向が見られます。

小学校：41.6%（全国平均 43.6%）
中学校：35.1%（全国平均 41.0%）

学力と自己有用感の関連性

市全体のクロス分析では、自己肯定的な回答をしている児童生徒群ほど、平均正答率・スコアが高いという明確な正の相関関係が確認されています。

２．自治体レベルの傾向

地域的な共通構造

本市をはじめ、浦安市・市川市・船橋市などの近隣高学力都市では、全教科で全国平均を大きく上回る高い学力を維持しています。一方で、自己有用感や先生からの承認感の最肯定率（「当てはまる」）が全国平均を下回る傾向が共通して見られます。

意識ギャップの背景

これらの地域では、高い学習水準や家庭の教育関心の高さを背景に、児童生徒の自己評価基準（ハードル）が厳しく・慎重になりやすいという心理的傾向が存在していると考えられます。

３．学校レベルでの実態

市内の各小中学校・学級のデータを詳細に分析すると、市全体の傾向にとどまらず、以下の 3 つの実態タイプが存在していることが確認されました。

①「学力が高く、自己有用感も高い学校」
②「自己有用感は高いが、学力に課題がある学校」
③「学力は高いが、自己有用感に課題がある学校」

【まとめと指導改善への示唆】

市全体の数値のみで一律に判断するのではなく、自治体レベルでの地域的傾向を考慮した上で、学校ごとの多様な実態（「高学力・高自己有用感」から「高自己有用感・学力課題あり」まで）に応じたきめ細かなアプローチが必要です。

令和 8 年 6 月に全校配布した「習志野学びモデル」の 4 領域（見通し・学びへの参加・相互作用・自己調整）を軸として授業改善を全校へ展開し、すべての学校において「確かな学力」と「豊かな自己有用感」の一体的育成を図ります。

７．調査結果からの課題に対する取り組み

<table>
<tr><th>区分</th><th>内容</th><th>具体的な取り組み</th></tr>
<tr><td>昨年度の対応</td><td>○R8 ならしの学力向上プランに基づき、自己有用感や学びの充実を目指した取組を推進</td><td>・総合的な学習の時間でのメッセージ共有・承認活動
・全校スローガンと連動した個人目標の設定と行事後の振り返り
・縦割り班活動による役割・貢献の場の拡大
・自主学習ノート等での温かい言葉掛け（プロセス承認）
・SKYMENU Cloud による思考の可視化</td></tr>
<tr><td>今年度の対応</td><td>○学校間・学級間の課題を解決するため、習志野学びモデル（R8 年 6 月配布）を活用し、体系的な指針を共有

○自己有用感を高めるリーフレットを毎学期作成し、各学校に配布及び学期末に教員に対して振り返りを行う。
実施期間
（令和 8 年 11 月～令和 9 年 7 月）

○R9 ならしの学力向上プラン作成・推進</td><td>
<table>
<tr><th></th><th>具体的な取り組み</th></tr>
<tr><td>6 月</td><td>習志野学びモデル配付
（共通指針）
「見通し」
「学びへの参加」
「相互作用（プロセスの言語化承認）」
自己調整」
4 領域を軸に全校へ波及・定着を図る</td></tr>
<tr><td>11 月</td><td>リーフレット 1 号の配付
「指導実践ガイド」
テーマ「言葉がけ」</td></tr>
<tr><td>12 月</td><td>リーフレットの教職員向け振り返り</td></tr>
<tr><td>R9
1 月</td><td>リーフレット 2 号の配付
（今後作成）</td></tr>
<tr><td>3 月</td><td>リーフレットの教職員向け振り返り

R9 ならしの学力向上プランの配付</td></tr>
<tr><td>4 月</td><td>リーフレット 3 号の配付
（今後作成）
全国学力・学習調査の実施</td></tr>
<tr><td>7 月</td><td>リーフレットの教職員向け振り返り</td></tr>
<tr><td>8 月</td><td>全国学力・学習調査の結果・集計</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

８．課題解決に向けた「習志野学びモデル」の活用

（１）学力面の成果に加え、主体的に学ぶ態度や自己有用感の向上を目指し、授業改善の共通の視点として「習志野学びモデル」の活用を推進しています。本モデルは、授業づくりを４領域で整理し、ICT や特別支援教育の視点も含めて授業改善を進めるための枠組みです。

【構想と重点】

視点	ねらい	重点
見通し（構造化）	学ぶ内容と到達点を明確にする	めあて・流れ・評価の見える化
学びへの参加（個別最適）	一人一人が学びに関わり続ける	考える時間の確保と支援の工夫
相互作用（対話と協働）	対話と協働で思考を深める	対話・説明・具体的な賞賛
自己調整（振り返りと自己決定）	振り返りを次の学びにつなげる	振り返りと自己決定の充実

【4つの視点と自己有用感】

視点	主体的に学ぶ態度につながる学習環境の例	自己有用感との関係
見通し（構造化）	・本時の流れを簡潔に示す ・「できたら何が変わる」を伝える ・思考の型を板書・資料で示す ・児童生徒の言葉を拾い、めあてを共有する	見通しがあることで安心感が生まれ、参加感を支え、「自分にもできる」という実感につながる。
学びへの参加（個別最適）	・課題に段階を設ける ・表現方法を選べるようにする ・支援ツールを活用する ・学び直しの手立てを用意する	参加しやすい環境があることで役割をもちやすくなり、成功体験や貢献体験を積み重ねることができる。
相互作用（対話と協働）	・理由や根拠、共通点や相違点を話し合う ・共有前に考えを整理する時間を確保 ・比較の視点を板書で固定 ・工夫や努力を具体的に評価する	「自分の考えが授業を動かした」「自分の工夫が認められた」という経験が自己有用感を高める。
自己調整（振り返りと自己決定）	・振り返りの視点を示す ・次の課題を選ばせる ・誤答を教材化し次の学びに生かす ・学び方の手順を選択させる	自己調整が働くことで「自分で次に進める」という実感が生まれ、主体性の土台となる。

【モデル構造図】



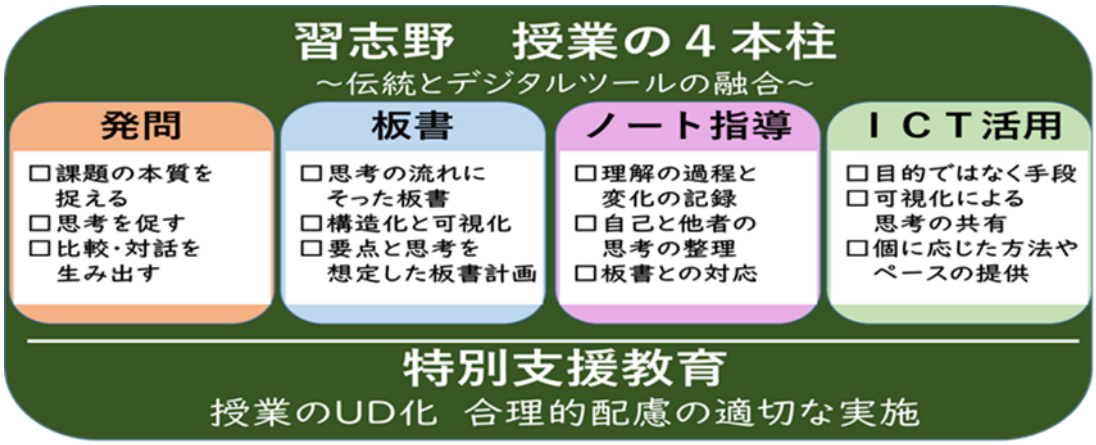
（２）習志野 授業の４本柱

本市では、これまで授業づくりの基盤としてきた「発問」「板書」「ノート指導」に、「ICT の活用」を加え、授業の４本柱としています。

４本柱は、習志野学びモデルの４領域（見通し・学びへの参加・相互作用・自己調整）を具体化するための手段であり、実践の柱となります。

【習志野 授業の４本柱 一覧】

柱	目的	４領域との関わりの具体例
発問	思考を促し、比較・説明・対話を生み、理解を深める。	**見通し**：今日の課題の本質を問う **参加**：選択肢を含む問い、全員が答えられる問い **相互作用**：根拠・比較・反例を問う **自己調整**：自分の考えの変化や次の行動を問う
板書	学習の流れ・思考の過程・比較軸を可視化し、思考の道筋と学びの位置を明確にする。	**見通し**：学習の流れ、評価の視点を示す **参加**：意見を書き込む場、複数の考えの提示 **相互作用**：比較表、分類図、因果関係、対立構造の明示 **自己調整**：まとめの型、振り返りの観点を示す
ノート指導	思考の過程を可視化し、変容を自覚させて自己調整につなげる。	**見通し**：本時の目標や学習課題を明記 **参加**：自分の考えを書く場、選択して書ける工夫 **相互作用**：友達の意見、共通点・相違点の整理 **自己調整**：考えの変容、できたこと・課題・次に生かすことの記録
ＩＣＴの活用	参加機会を広げ、相互作用を可視化し、自己調整を支援する。	**見通し**：学習の流れや評価基準の視覚的提示 **参加**：即時回答、理解度別問題提示、発言機会の保障 **相互作用**：他者の考えの可視化、意見共有、共同作業 **自己調整**：学習履歴の確認、誤答傾向の把握、振り返りフォームの活用



（３）基盤となるユニバーサルデザイン化・合理的配慮

〇授業のユニバーサルデザイン化

すべての児童生徒が理解しやすく、参加しやすい授業環境を整えます。

授業づくりの段階から、学習内容の示し方、活動方法、振り返りの在り方を工夫し、学びの成立を支えます。

〇合理的配慮の適切な実施

障害のある児童生徒の教育的ニーズに応じて、学習上の困難を軽減するために行う個別の支援です。

授業のユニバーサルデザイン化を基本としつつ、個別の教育支援計画等を踏まえて適切に提供します。

【授業のユニバーサルデザイン化と合理的配慮の具体例】

視点	ユニバーサルデザイン化の具体例	合理的配慮の具体例
見通し （構造化）	指示を短く具体的に伝える 視覚的な教材や図表を活用 学習のポイントを板書等で構造化	個別の手順表を用意 予定や予定変更を事前に個別に伝える 教科の観点を図や具体例で示す
学びへの参加 （個別最適）	全員が考えを持てる問いを設定 活動の選択肢を用意 静かな学習環境の確保 （書く・話す・図で表す 等） 役割を明確化した学習活動の設定 ICT を活用して参加方法を多様化	視機能や聴覚過敏等に配慮した座席配置の工夫 端末入力や音声入力を認める 読み上げ機能や拡大機能を提供する 課題の分割や休憩時間を設定する
相互作用 （対話と協働）	少人数での対話活動 比較や理由を問う発問で思考を促進 発言順や役割の明確化 話合いの観点の提示 意見を板書や ICT で共有 多様な表現方法の活用 （口頭・記述・ICT 等）	少人数やペアでの対話を設定する 文字やカードなど口頭以外の表現方法の保障 発表内容を文字や画面で表示
自己調整 （振り返りと 自己決定）	振り返りの観点や自己評価の機会を提示 理解の過程を評価 努力や工夫を評価 学習の進み具合を確認できる仕組み 理解の変化や気付きの記録を行う	選択式や音声入力での振り返り 個別のチェックリストを用意する 選択肢の絞り込みや教師との相談 学習の進み方に応じた評価方法を工夫

９.「習志野学びモデル」を活用した今後の授業改善と推進体制

「習志野学びモデル」は、授業づくり、校内研究、授業研究を通して活用する授業改善の共通モデルです。4 領域を意識した実践により、主体的な学びと自己有用感の向上を図るとともに、発問・板書・ノート指導・ICT の活用を柱として授業改善を進めていきます。あわせて、ICT や AI 型教材、授業のユニバーサルデザイン化、合理的配慮の適切な提供を通して、すべての児童生徒が学びやすい授業環境の整備を進めていきます。

【活用と推進の整理】

項目	内容	具体例・視点
日々の授業づくり	4 領域を意識して主体的な学びと自己有用感を育む授業を構成する。	**導入**：学習課題・流れ・評価の視点を示す **参加**：全員が参加できる活動 **相互作用**：比較・対話で思考を深める **振り返り**：振り返りで学びを調整
校内研究	校内研究の視点として 4 領域を位置付け、授業改善の方向性を共有する。	**導入**：目的や流れを研究する **参加**：参加方法を研究する **相互作用**：対話・協働を研究する **振り返り**：振り返りを研究する
授業研究の協議	協議の観点を 4 領域に沿って設定し、授業の成果と課題を整理する。	**見通し**：目的が理解されていたか **参加**：全員が活動できたか **相互作用**：学び合いが生まれたか **自己調整**：振り返りの場面があったか
推進体制	教育委員会と学校が連携し、モデルを活用した授業改善を進める。	**見通し**：指導助言で流れを整える **参加**：全員参加の授業を進める **相互作用**：協働を深める授業を進める **自己調整**：振り返りを重視する
授業改善の柱	発問・板書・ノート指導・ICT の活用を柱に授業改善を進める。	**見通し**：発問・板書で流れを示す **参加**：ノート指導で参加を促す **相互作用**：対話で意見を共有する **自己調整**：振り返りで評価する
推進の重点	4 領域を踏まえた授業改善を進める。	**見通し**：流れを明確にする **参加**：主体的参加を促す **相互作用**：対話で理解を深める **自己調整**：振り返りを充実させる
学習環境の整備	個別最適な学びと協働的な学びを支える環境を整える。	**見通し**：流れを視覚化する **参加**：ＩＣＴで参加を支援する **相互作用**：協働を促進する環境 **自己調整**：個別学びを支える環境

報 告 事 項（4）

秋津野球場及び秋津サッカー場のネーミングライツパートナーの決定について

秋津野球場及び秋津サッカー場のネーミングライツパートナーの決定について、別紙のとおり報告する。

令和8年10月28日報告

習志野市教育委員会
教育長　小　熊　　隆

秋津野球場及び秋津サッカー場のネーミングライツパートナーの決定について

1.ネーミングライツの概要

ネーミングライツ（命名権）は、企業や団体が公共施設やイベントに対して一定期間、名称を付与する権利を購入する制度である。本市では、自主財源を確保し、スポーツ施設の維持管理等に充てることで市民サービスの向上を図るため、平成27年度より導入している。

2.公募内容と選定経緯

（1）公募内容

【対 象 施 設】 秋津野球場、秋津サッカー場、東部体育館

【応募金額の下限】 秋津野球場・秋津サッカー場 年額 150万円（税込）

東部体育館 年額 50万円(税込)

【契 約 期 間】 令和9年４月１日 ～ 令和11年３月31日（2年間）

（2） 選定経緯

7月1日	募集要項の公表
8月3日	募集締め切り 応募件数：秋津野球場 3件、秋津サッカー場 2件 ※東部体育館への応募はありませんでした。
8月18日	広告掲出審査委員会による審査
9月3日	優先候補者の決定
10月21日	契約締結

3. 決定内容

（1）秋津野球場

【ネーミングライツパートナー】 第一カッター興業株式会社

【名称】第一カッター球場

【ネーミングライツ料】 年額 200万円（税込）

（2）秋津サッカー場

【ネーミングライツパートナー】増田運輸株式会社

【名称】 増田運輸フィールド

【ネーミングライツ料】 年額 155万円（税込）

議 案 第 36 号

令和8年度末及び令和9年度習志野市立幼稚園教職員人事異動方針の制定について

令和8年度末及び令和9年度習志野市立幼稚園教職員人事異動方針を別記のとおり制定する。

令和8年10月28日提出

習志野市教育委員会
教育長　小　熊　　隆

提　案　理　由

令和8年度末及び令和9年度習志野市立幼稚園教職員人事異動を適正円滑に実施するため、本市教育委員会として異動方針を定めるものである。

令和8年度末及び令和9年度習志野市立幼稚園教職員人事異動方針

習志野市教育委員会

令和8年度末及び令和9年度における習志野市立幼稚園の教職員の人事異動は、本市幼児教育の振興を図り幼稚園教職員組織の充実強化を期するため、次の方針によって行なう。

第1　一般方針

1　教育効果を高め、調和的かつ効率的な幼稚園運営が行なわれるように、適材適所の人事を推進し、教職員構成の適正化に努める。

2　本市教育の進展に資する人材の育成を意図した人事を推進する。

3　組織的・機動的な体制づくりを推進し、働き方改革を核とする幼稚園運営の充実・適正を図るため、組織マネジメント力等を有する適任者を管理職等へ積極的に登用及び配置する。

4　市立幼稚園とこども園及び保育所間の異動を積極的に行い、様々な経験を積むことができる環境とする。

第2　実施事項

1　管理職については、幼稚園の教育体制を強化するため、勤務の実績等を検討し、適正配置に努める。

2　次の者については、積極的に配置換えを行なう。

（1）同一の幼稚園に原則として5年以上勤務する者

（2）勤務実績を検討し、配置換えを必要とする者

3　同一の幼稚園勤務年数が2年未満の者については、原則として配置換えは行なわない。

4　園長の具申及び個人の希望をできるだけ尊重するとともに、全市的視野にたって十分検討し、適正な配置に努める。

5　欠員等が生じた場合には、速やかに代替教員を確保するように努める。

6　管理監督職勤務上限年齢制に該当する者のうち、公務の運営に著しい支障が生ずることがあると任命権者が認めるとき、当該異動期間を延長し、引き続き当該管理監督職を占めたまま勤務をさせることができる。

習志野市立幼稚園教職員人事異動方針新旧対照表

改正後〈令和８年度末及び令和９年度〉（案）	現行〈令和７年度末及び令和８年度〉
令和8年度末及び令和9年度習志野市立幼稚園教職員人事方針 習志野市教育委員会 令和8年度末及び令和9年度における習志野市立幼稚園の教職員の人事異動は、本市幼児教育の振興を図り幼稚園教職員組織の充実強化を期するため、次の方針によって行なう。 第１　一般方針　略 第２　実施事項　略	令和7年度末及び令和8年度習志野市立幼稚園教職員人事方針 習志野市教育委員会 令和7年度末及び令和8年度における習志野市立幼稚園の教職員の人事異動は、本市幼児教育の振興を図り幼稚園教職員組織の充実強化を期するため、次の方針によって行なう。 第１　一般方針　略 第２　実施事項　略

議 案 第 37 号

令和8年度末及び令和9年度習志野市立小学校及び中学校教職員人事異動方針の制定について

令和8年度末及び令和9年度習志野市立小学校及び中学校教職員人事異動方針を別記のように制定する。

令和8年10月28日提出

習志野市教育委員会
教育長 小 熊　 隆

提 案 理 由

令和8年度末及び令和9年度習志野市立小学校及び中学校教職員人事異動を適正円滑に実施するため、千葉県教育委員会の異動方針に基づき、本市教育委員会として異動方針を定めるものである。

令和８年度末及び令和９年度習志野市立小学校及び中学校教職員人事異動方針

習志野市教育委員会

令和８年度末及び令和９年度における習志野市立小学校及び中学校教職員の人事異動は、千葉県教育委員会の方針に基づき、本市の教職員構成の実態と特質を踏まえて実施し、学校組織の充実強化を期するため、次の方針によって行う。

第１ 一般方針

１　各学校において、教育効果が高まり、調和的かつ効率的な学校運営が行われるよう、適材適所の人事を推進し、職員構成の適正化に努める。

２　「千葉県・千葉市教員等育成指標」を踏まえ、本市教育の進展に資する人材の育成を意図した人事を推進する。

３　千葉県教育委員会の推進する広域人事交流を積極的に推進する。

４　組織的・機動的な体制づくりを推進し、働き方改革を核とする学校運営の充実・適正化を図るため、組織マネジメント力等を有する適任者を管理職等へ積極的に登用及び配置する。

５　障害のある職員については、障害の特性に十分に配慮しながら積極的な配置に努める。

第２ 実施要項

１ 適正配置について

（１）小中学校間の交流を推進し、教育活動の活性化を図る。

（２）全ての職員の特別支援教育に関する理解を深め、専門性を向上させるため、特別支援教育を担う人材育成を意図した人事配置を推進する。

（３）小学校の教科別担任制の導入を視野に入れた配置を推進し、教科指導の専門性を高める。

（４）次の者については、強力に配置換えを行う。

ア　同一の学校に永年勤続する者

イ　学校の配当定数、教科担当者数の調整上必要のある者

ウ　勤務実績を検討し、配置換えを必要とする者

（５）職員としての適格性に乏しく、勤務実績の上がらない者等勤務に支障のある者については、降任又は退職を求める。

２ 広域人事について

（１）本市教職員構成の現状に立って、広域人事交流を積極的に進める。

（２）上記の異動は、他の人事異動及び新規採用に優先してこれを行う。

３ 管理職等への登用及び降任について

（１）管理職については、特に責任感と管理能力、識見、勤務実績等をより一層重視して、人格、力量ともに優れた人材の登用に努める。

（２）管理監督職勤務上限年齢制（役職定年制）に該当する者のうち、管理職として豊富な経験や優れた組織マネジメント力等を有する適任者を、管理職に特例で任用する。

（３）管理職の希望による降任を認める。

４　人事の更新について

千葉県教育委員会の方針に従って実施する。

５　主幹教諭への登用等について

（１）教諭等としての経験、識見、勤務実績等を踏まえて、適任者の登用に努める。

（２）主幹教諭の希望による降任を認める。

６　新規採用について

（１）教職員の新規採用にあたっては、優れた教員の確保に努める。

（２）学校規模、教職員構成の実態を考慮して質的均等配置に努める。

７　校長の意見具申及び個人の希望について

校長の意見具申及び個人の希望については、本市教育の向上及び、各学校間の質的均等配置を考慮したうえで、それを尊重する。

８　幹部職員について

幹部職員については、本市の教育現状を踏まえて、年齢・性別等にとらわれず適材適所の配置換えを積極的に推進する。

９　教育委員会事務局との交流について

千葉県教育庁、習志野市教育委員会事務局及び、学校以外の教育関係機関等との人事交流を推進する。

10　代替教員の確保について

出産休暇者、育児休業者、療養休暇者、看護休暇者等の代替教員は、日常の教育活動に支障をきたさないようその確保に努める。

11　再任用について

（１）千葉県教育委員会「職員の定年等に関する条例」の定めるところにより、意欲と能力のある人材を再任用する。

（２）管理職としての豊富な経験や、優れた組織マネジメント力等を有する適任者を、管理職に再任用する。

（３）配置については、学校及び地域の実情等を踏まえて、計画的に行う。

12　その他

本要項の運用については、必要に応じて教育委員会が別に定める。

令和８年度末及び令和９年度習志野市立小学校及び中学校教職員人事異動方針の変更点

令和８年度末及び令和９年度	令和７年度末及び令和８年度
令和８年度末及び令和９年度における習志野市立小学校及び中学校教職員の人事異動は、千葉県教育委員会の方針に基づき、本市の教職員構成の実態と特質を踏まえて実施し、学校組織の充実強化を期するため、次の方針によって行う。 （以下略） 第１　一般方針 １～６（略） 第２　実施要項 １　適正配置について （１）小中学校間の交流を推進し、教育活動の活性化を図る。 （２）略 （３）小学校の教科別担任制の導入を視野に入れた配置を推進し、教科指導の専門性を高める。 （４）次の者については、強力に配置換えを行う。 ア　同一の学校に永年勤続する者 イ　学校の配当定数、教科担当者数の調整上必要のある者 ウ　勤務実績を検討し、配置換えを必要とする者 （５）職員としての適格性に乏しく、勤務実績の上がらない者等勤務に支障のある者については、降任又は退職を求める。 ２～６　（略）	令和７年度末及び令和８年度における習志野市立小学校及び中学校教職員の人事異動は、千葉県教育委員会の方針に基づき、本市の教職員構成の実態と特質を踏まえて実施し、学校組織の充実強化を期するため、次の方針によって行う。 （以下略） 第１　一般方針 １～６（略） 第２　実施要項 １　適正配置について （１）開かれた学校づくりや異校種間の連携を推進するため、異校種交流を含めた適正配置に努める。 （２）全ての職員が、特別支援教育に関する理解を深め、専門性を向上させるため、特別支援教育を担う人材育成を意図した人事配置を推進する。 （３）次の者については、強力に配置換えを行う。 ア　同一の学校に永年勤続する者 イ　学校の配当定数、教科担当者数の調整上必要のある者 ウ　勤務実績を検討し、配置換えを必要とする者 （４）職員としての適格性に乏しく、勤務実績の上がらない者等勤務に支障のある者については、降任又は退職を求める。 ２～６　（略）

議 案 第 38 号

令和8年度末及び令和9年度習志野市立高等学校教職員人事異動方針の制定について

令和8年度末及び令和9年度習志野市立高等学校教職員人事異動方針を別記のように制定する。

令和8年10月28日提出

習志野市教育委員会
教育長　小　熊　　隆

提　案　理　由

令和8年度末及び令和9年度習志野市立高等学校教職員人事異動を適正円滑に実施するため、千葉県教育委員会の異動方針に準じ、本市教育委員会として異動方針を定めるものである。

令和８年度末及び令和９年度習志野市立高等学校教職員人事異動方針

習志野市教育委員会

令和８年度末及び令和９年度における習志野市立高等学校の人事異動は、県教育委員会の人事異動方針に準じ、本市教育の振興を図り教職員組織の充実強化を期するため、次の方針によって行う。

第１　一般方針

１　各学校において、教育効果が高まり、調和的かつ効率的な学校運営が行われるように適材適所の人事を推進し、職員構成の適正化に努める。

２　「千葉県・千葉市教員等育成指標」を踏まえ、優れた人材を確保し、本市教育の進展に資する人材の育成を意図した人事を推進する。

３　県教育委員会の推進する広域人事交流を積極的に推進する。

４　組織的・機動的な体制づくりを推進し、働き方改革を核とする学校運営の充実・適正化を図るため、組織マネジメント力等を有する適任者の管理職等へ積極的に登用及び配置に努める。

５　障がいのある職員については、十分に配慮した人事配置に努める。

第２　実施要項

１　適正配置について

（１）開かれた学校づくりや異校種間の連携を推進するため、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校それぞれの交流及び兼務を含めた適正配置に努める。

（２）全ての職員が、特別支援教育に関する理解を深め、専門性を向上できるよう、人材育成に努める。また、学科・課程間の積極的な配置換えを行う。

（３）次の者については、強力に配置換えを行う。

ア　永年勤続する者

イ　学校の配当定数、教科担当者数の調整上必要のある者

ウ　勤務実績を検討し、配置換えを必要とする者

（４）学校組織の一層の充実を図り、円滑な運営に資するため、必要に応じて、主幹教諭を配置する。

２　人事の更新について

教職員としての適格性に乏しく、勤務に支障のある者については、服務監督に努める。

３　交流人事について

市立学校については、年齢構成上の不均衡及び同一校勤務の長期化等を是正し職員構成の適正化を図るため、県立学校等との配置換えを行う。

４　管理職への登用等について

管理職については、特に責任感と管理能力、識見、勤務実績をより一層重視して人格、力量ともに優れた人材の登用に努める。

５　主幹教諭の登用等について

教諭等としての経験、識見、勤務実績等を踏まえて、必要に応じて適任者の登用に努める。

６　教育機関等との交流について

教育委員会及びその他の教育機関との人事交流についても積極的に進めるよう努める。

７　代替教員の確保について

産休・育休・事故休者の代替教員の確保については、可能な限り措置できるよう努める。

８　新規採用職員について

年齢構成の均衡を考慮し、計画的な採用に努める。

令和８年度末及び令和９年度習志野市立高等学校教職員人事異動方針の変更点

令和８年度末及び令和９年度	令和７年度末及び令和８年度
令和８年度末及び令和９年度における習志野市立高等学校の人事異動は、県教育委員会の人事異動方針に準じ、本市教育の振興を図り教職員組織の充実強化を期するため、次の方針によって行う。 （以下略） 第１　一般方針 ３　県教育委員会の推進する広域人事交流を積極的に推進する	令和７年度末及び令和８年度における習志野市立高等学校の人事異動は、県教育委員会の人事異動方針に準じ、本市教育の振興を図り教職員組織の充実強化を期するため、次の方針によって行う。 （以下略） 第１　一般方針 ３　県教育委員会の推進する広域人事交流を積極的に進める